

# がん検診受診率実態調査事業

## 報 告 書

令和 3 年 1 月

株式会社北海道二十一世紀総合研究所

## <目 次>

1. 調査概要 .....	1
1. 1 調査の目的 .....	1
1. 2 アンケート調査 .....	1
2. アンケート調査の結果 .....	2
2. 1 単純集計 .....	2
2. 2 性別によるクロス集計 .....	32
2. 3 就労状況別（就労の有無別）によるクロス集計 .....	50
2. 4 医療保険の種類別（国民健康保険と国民健康保険以外）によるクロス集計 .....	74
3. 統計解析 .....	98
3. 1 性別ごとの各項目とがん検診受診率の関連性（ $\chi^2$ 検定） .....	98
3. 2 性別ごとの各項目とがん検診受診率の関連性（ロジスティック回帰分析） .....	108
4. 本調査の結果と他政令市、政令市平均値の受診率との比較 .....	118
4. 1 肺がん検診 .....	118
4. 2 大腸がん検診 .....	123
4. 3 胃がん検診 .....	128
4. 4 子宮がん（子宮頸がん）検診 .....	133
4. 5 乳がん検診 .....	135
資料編 本調査におけるアンケート集計結果（単純集計）の詳細 .....	138

## 1. 調査概要

### 1. 1 調査の目的

現在、日本人の2人に1人は生涯のうちのがんと診断され、3人に1人が、がんによって死亡すると推計されており、札幌市においても、がんは昭和51年から死因の第1位となっている。

一方、直近の国民生活基礎調査によると、国が推奨する胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診の本市における受診率はいずれも50%未満となっており、全国や他政令指定都市と比較して低い傾向にあり、受診率の向上が課題となっている。

本調査は、札幌市民を対象としたアンケート調査を実施し、がん検診の受診の実態と受診率に関連する要因を分析することで、今後の受診率向上を図るための施策につなげる基礎資料とすることを目的に実施したものである。

### 1. 2 アンケート調査

#### (1) 対象者

札幌市のがん検診制度の対象となる40～69歳の男性と20～69歳の女性を対象として、男性3,000人、女性4,000人を無作為抽出により選定して、アンケート調査を実施した。

#### (2) 調査方法と回収率

アンケート調査は郵送により対象者に発送し、調査票に同封した返信用封筒を用いることで、郵送による回収を行った。また、回答の利便性を高めるため、Web上の専用の回答用ページを作成し、Webでの回答も併用した。

アンケート調査は令和2年8～10月にかけて実施し、男女全体で7,000件を発送した。転居先不明等の事情により14件の返送があったものの、全体で2,265件の回答（回収率32.4%）を得た。（うちweb回答357件）。

本アンケート調査の回収数及び回収率

	男性	女性	全体
発送数	3,000	4,000	7,000
回収数	906	1,357	2,265
回収率	30.2%	33.9%	32.4%

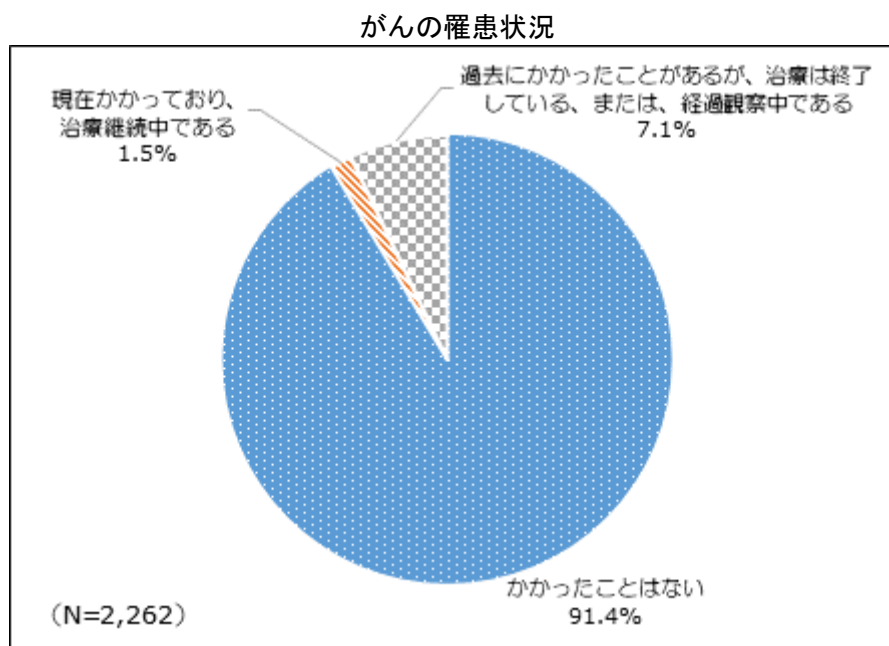
## 2. アンケート調査の結果

### 2. 1 単純集計

#### (1) 回答者自身について

##### ア) がんの罹患状況

回答者自身のがんの罹患状況をみると、「かかったことはない」が **91.4%**と最も多く、全体の 9 割以上を占めている。次いで、「過去にかかったことがあるが、治療は終了している、または、経過観察中である」が **7.1%**、「現在かかっており、治療継続中である」が **1.5%**となっている。



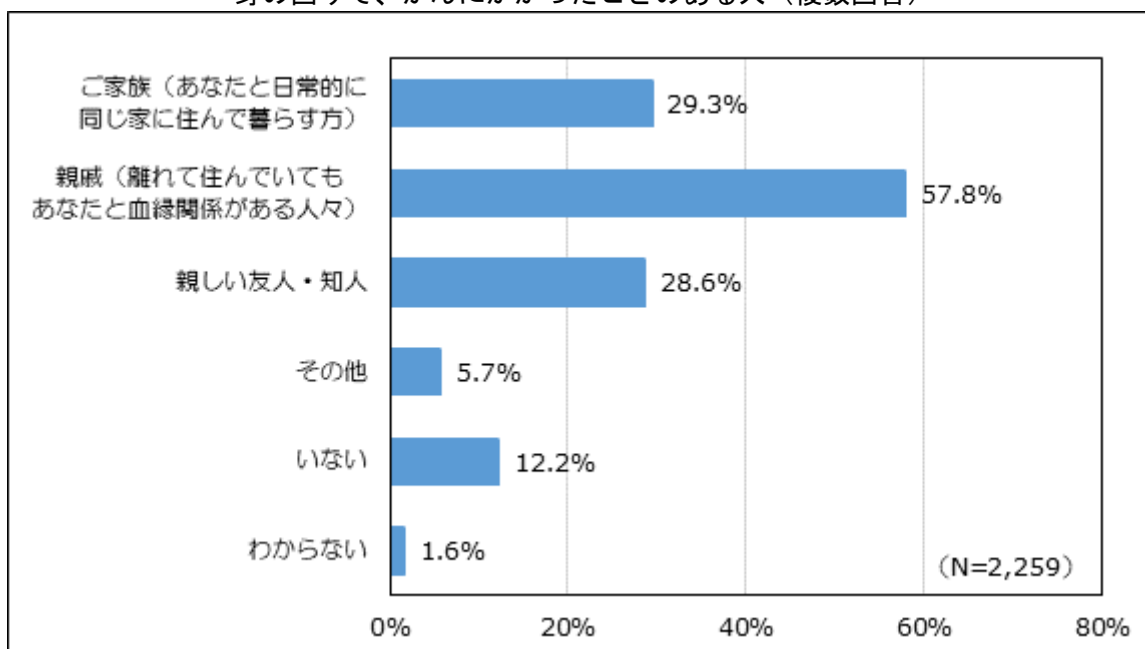
※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

##### イ) 身の周りでのがんの罹患状況

回答者の身の回りで、がんにかかったことのある人について尋ねたところ、「親戚（離れて住んでいてもあなたと血縁関係がある人々）」が **57.8%**と最も多く、全体の 6 割近くを占めている。次いで、「ご家族（あなたと日常的に同じ家に住んで暮らす方）」が **29.3%**、「親しい友人・知人」が **28.6%**と続いている。

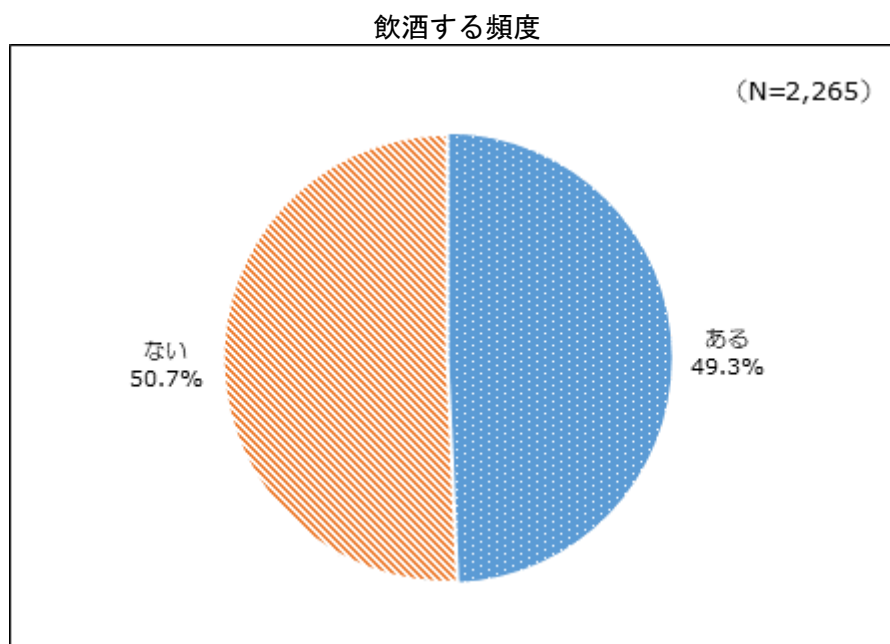
一方、「いない」や「わからない」とする回答はそれぞれ **12.2%**、**1.6%**にとどまっていることから、自身の身の回りでがんにかかった人がいることを把握している回答者は全体の 8 割以上を占めている。

### 身の回りで、がんにかかったことのある人（複数回答）



### ウ) 飲酒する頻度

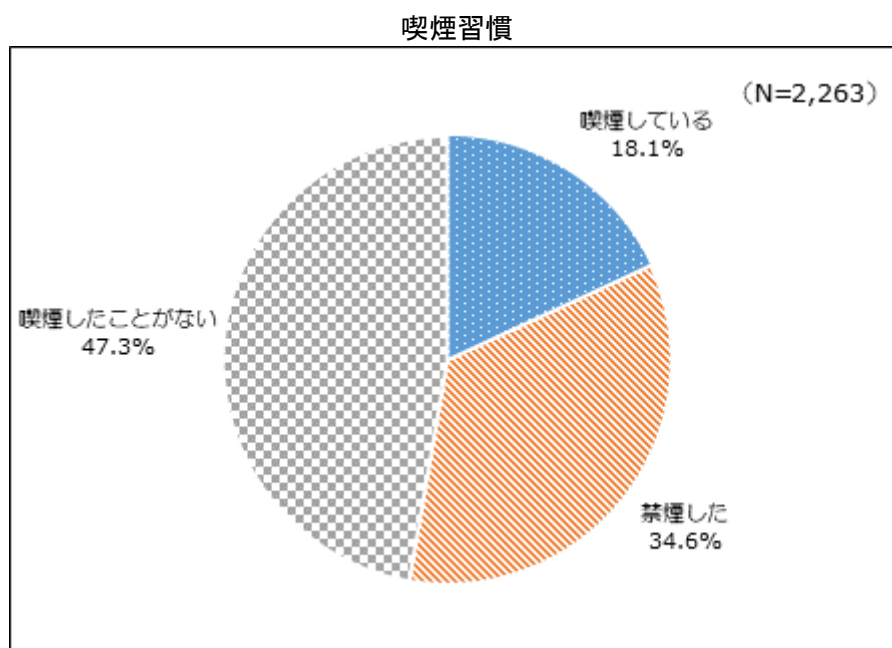
回答者に週1回以上飲酒する機会があるかどうかを尋ねたところ、「ある」が49.3%、「ない」が50.7%となっており、ほぼ半々の回答割合となっている。



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## エ) 喫煙習慣

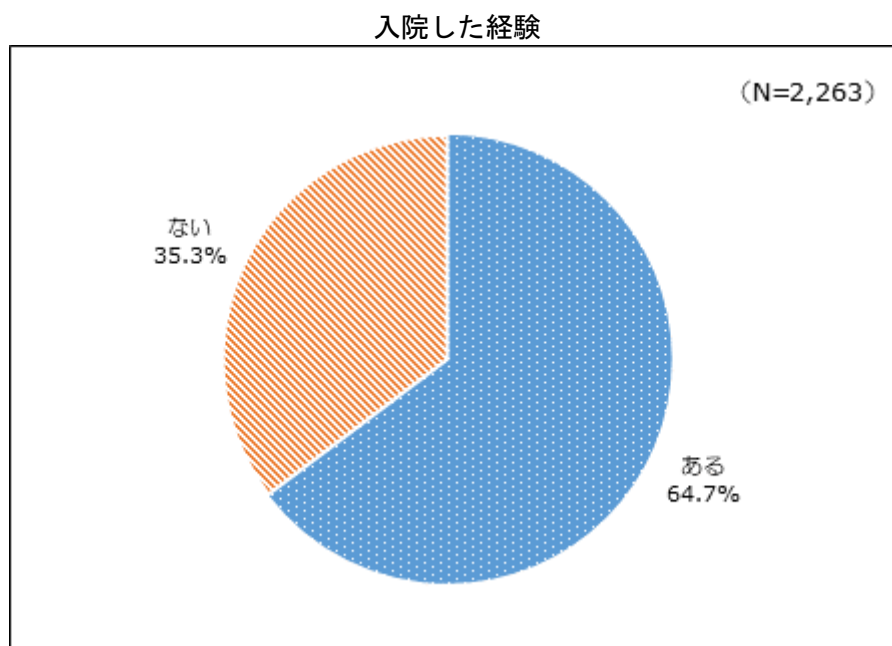
回答者の喫煙習慣をみると、「喫煙したことがない」が 47.3%と最も多く、全体の半数近くを占めている。次いで、「禁煙した」が 34.6%、「喫煙している」が 18.1%となっている。



※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## オ) 入院した経験

回答者が過去に病気や怪我での入院した経験があるかどうかを尋ねたところ、「ある」が 64.7%、「ない」が 35.3%となっており、入院経験のある回答者が全体の 3 分の 2 近くを占めている。

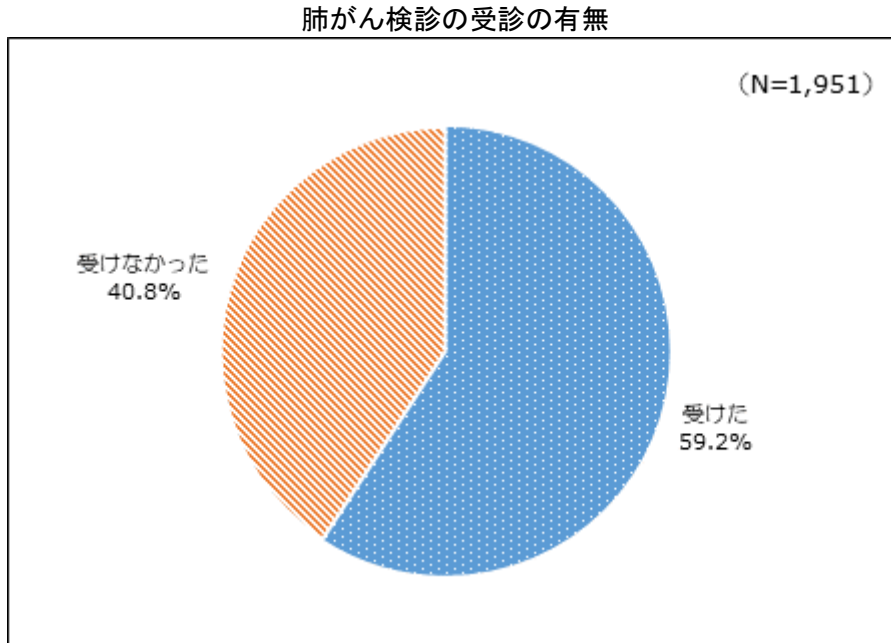


※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## (2) 肺がん検診について

### ア) 検診受診の有無

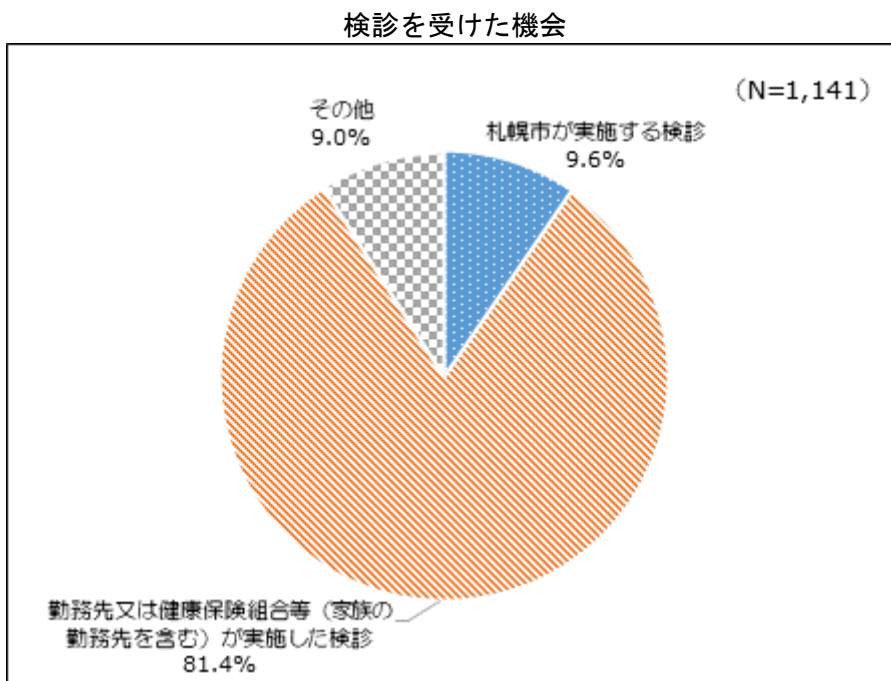
40 歳以上の回答者に過去 1 年間で肺がん検診受診の有無を尋ねたところ、「受けた」が 59.2%、「受けなかった」が 40.8%となっており、対象者のほぼ 6 割が検診を受診している。



※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

肺がん検診を受診した回答者について、どのような機会に検診を受けたのかを尋ねたところ、「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が 81.4%と最も多く、全体の 8 割以上を占めている。次いで、「札幌市が実施する検診」が 9.6%、「その他」が 9.0%となっている。

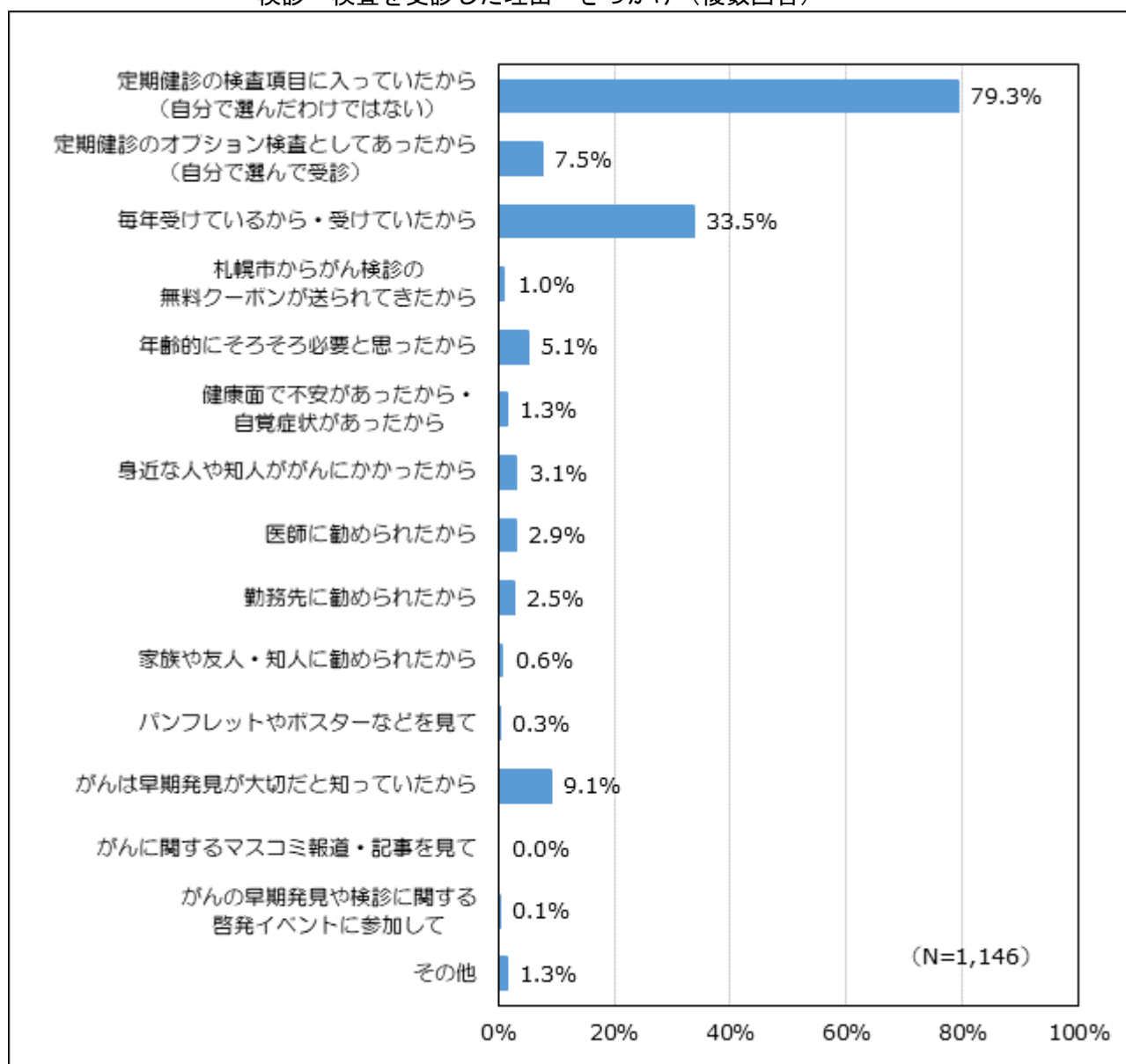


※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

肺がん検診を受診した回答者について、検診・検査を受診した理由・きっかけを尋ねたところ、「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が79.3%と最も多く、全体のほぼ8割を占めている。次いで、「毎年受けているから・受けていたから」が33.5%、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が9.1%、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」が7.5%と続いている。

検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

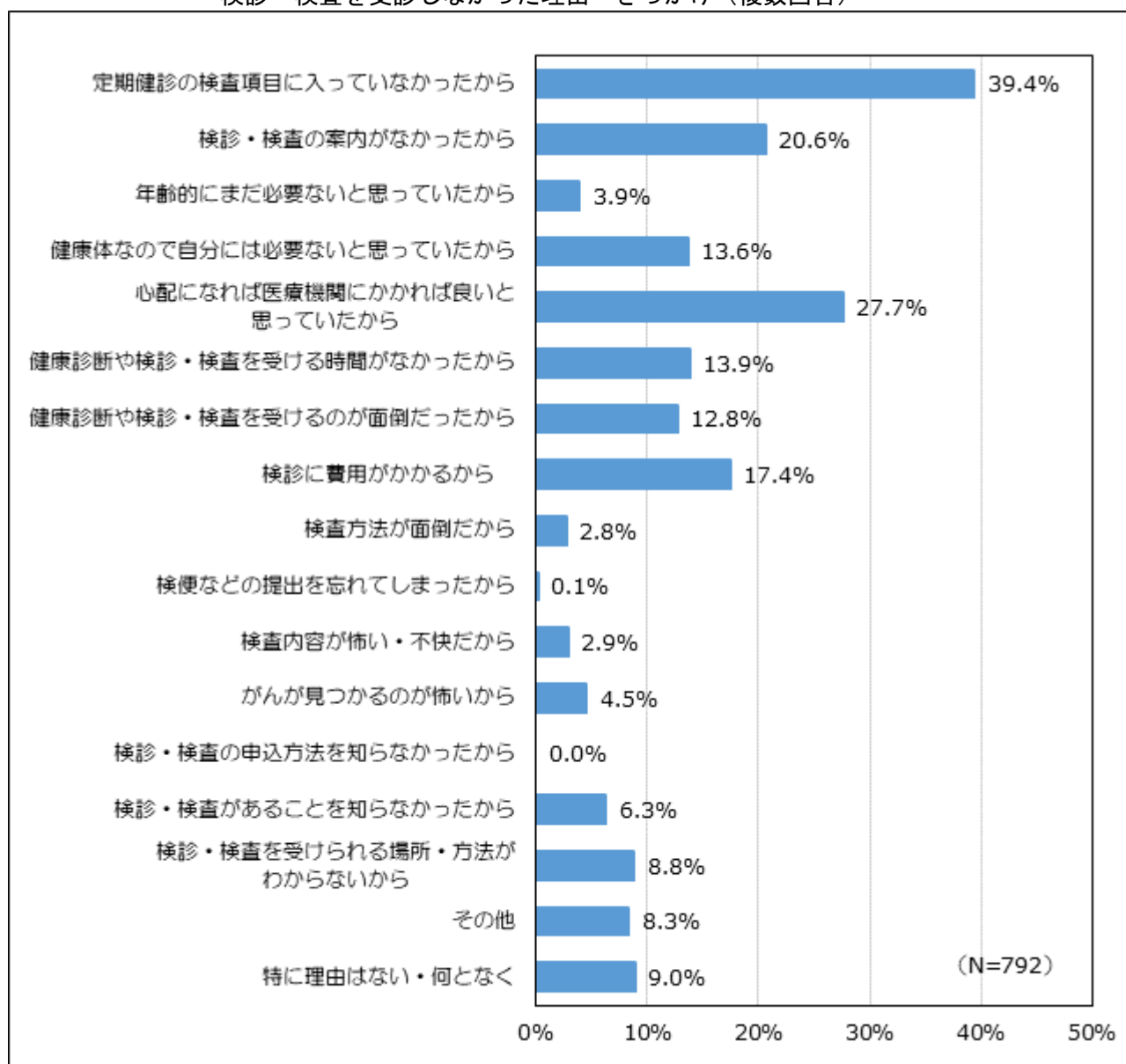




## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

肺がん検診を受診しなかった回答者について、検診・検査を受診しなかった理由・きっかけを尋ねたところ、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が 39.4%と最も多く、全体のほぼ 4 割を占めている。次いで、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が 27.7%、「検診・検査の案内がなかったから」が 20.6%、「検診に費用がかかるから」が 17.4%と続いている。

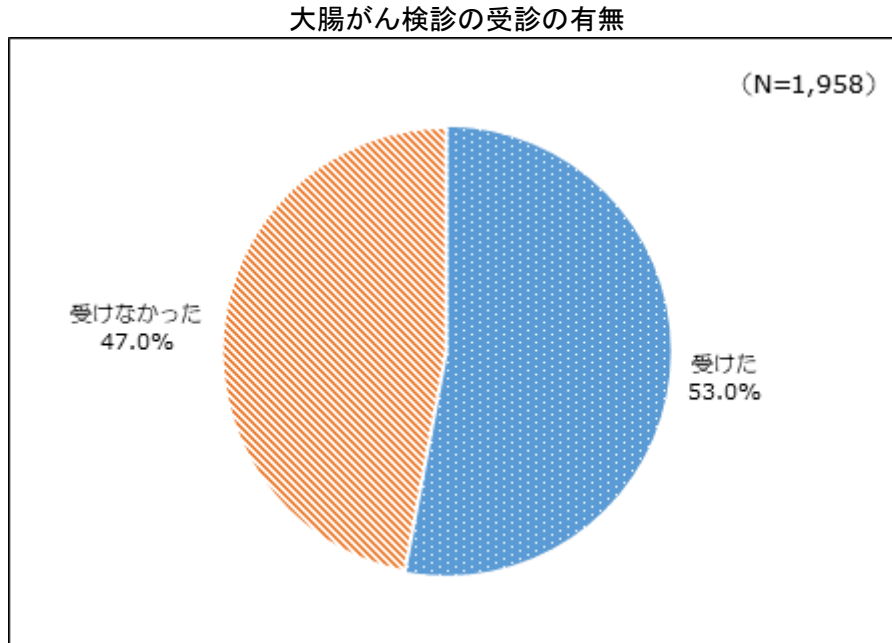
検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）



### (3) 大腸がん検診について

#### ア) 検診受診の有無

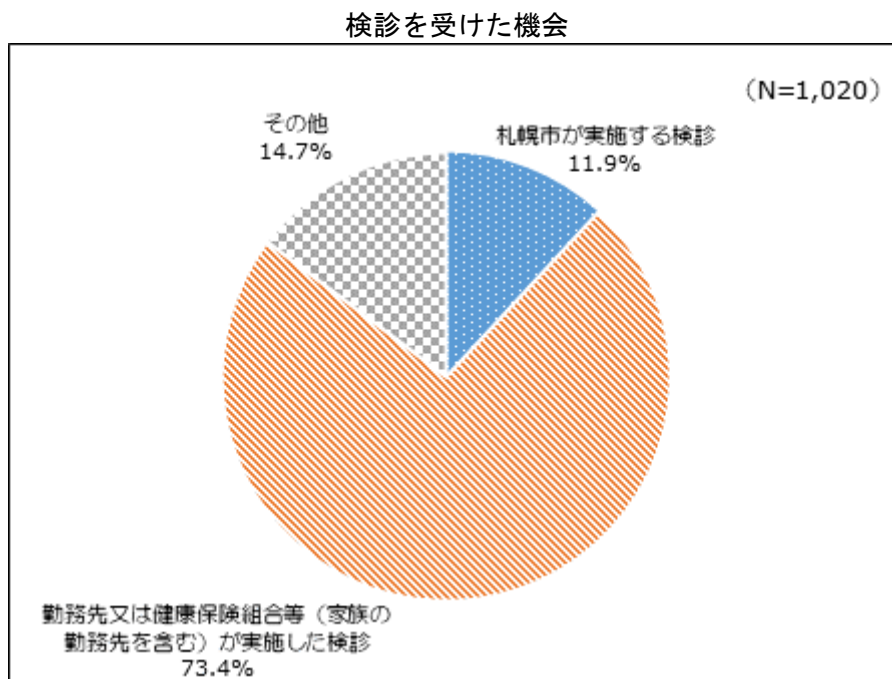
40 歳以上の回答者に過去 1 年間での大腸がん検診受診の有無を尋ねたところ、「受けた」が 53.0%、「受けなかった」が 47.0%となっており、対象者の半数以上が検診を受診している。



※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

#### イ) 検診を受けた機会

大腸がん検診を受診した回答者について、どのような機会に検診を受けたのかを尋ねたところ、「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が 73.4%と最も多く、全体の 7 割以上を占めている。次いで、「その他」が 14.7%、「札幌市が実施する検診」が 11.9%となっている。

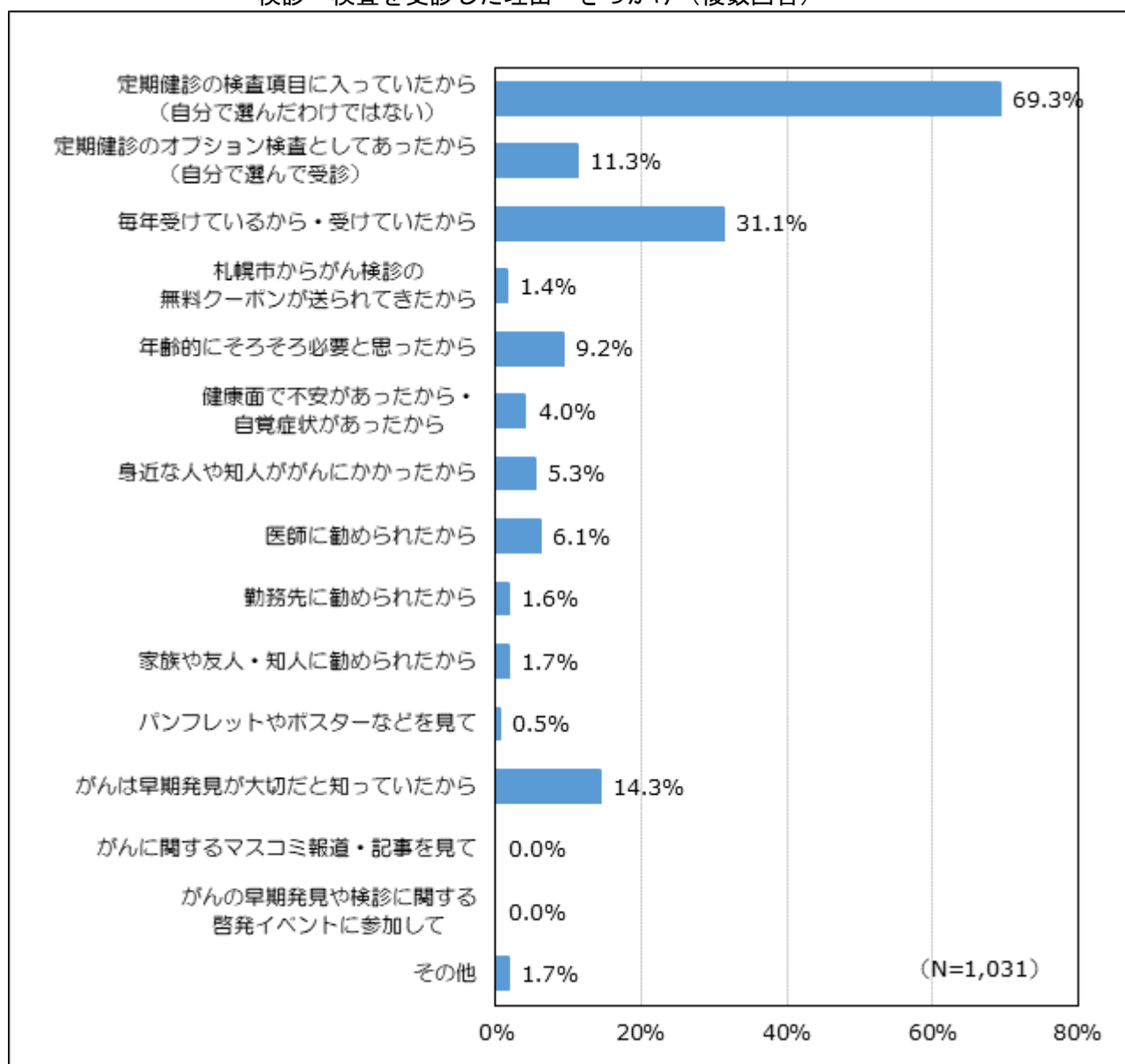


※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

大腸がん検診を受診した回答者について、検診・検査を受診した理由・きっかけを尋ねたところ、「定期健診の検査項目に入っていたから(自分で選んだわけではない)」が69.3%と最も多く、全体のほぼ7割を占めている。次いで、「毎年受けているから・受けていたから」が31.1%、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が14.3%、「定期健診のオプション検査としてあったから(自分で選んで受診)」が11.3%と続いている。

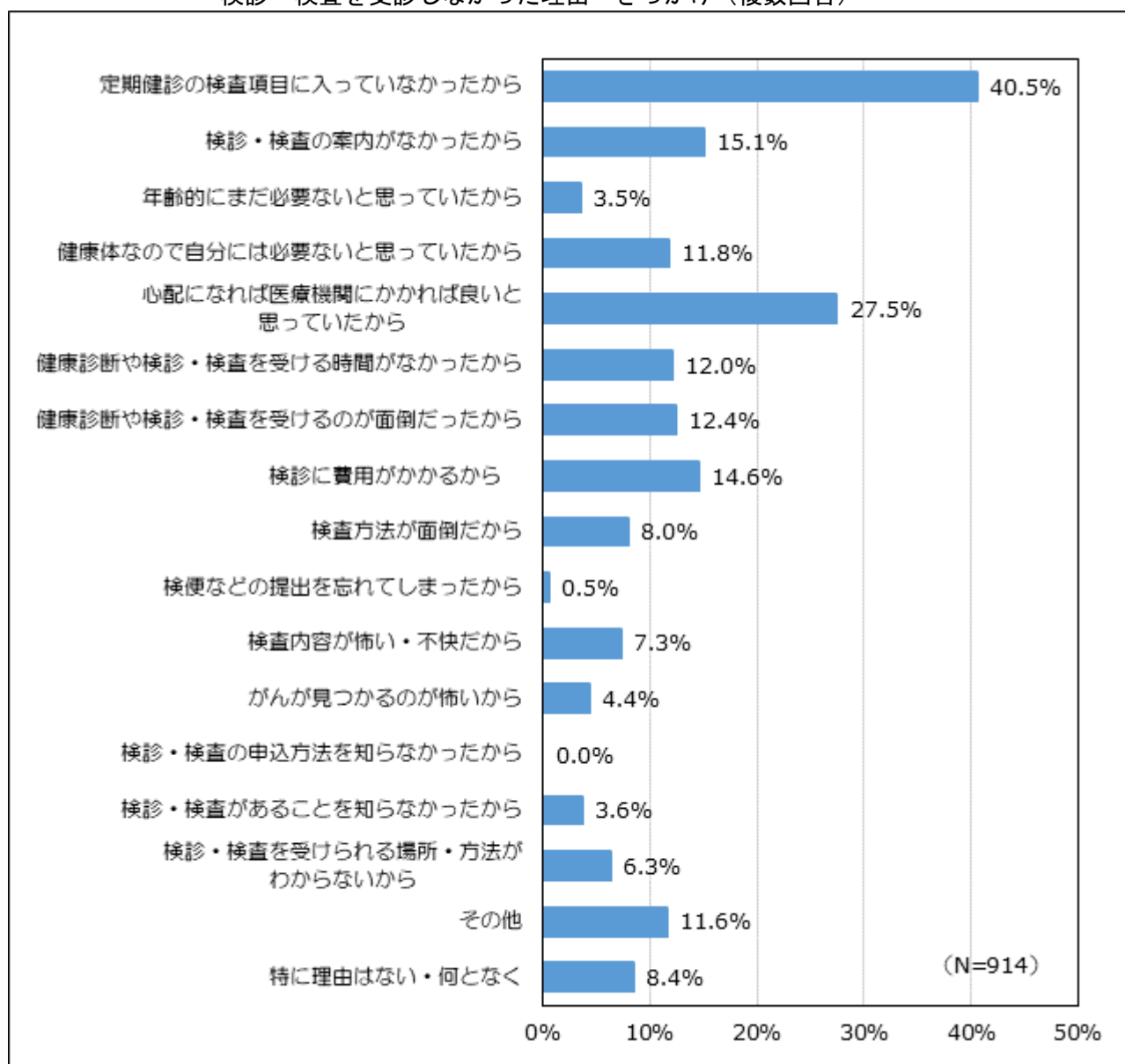
検診・検査を受診した理由・きっかけ(複数回答)



## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

大腸がん検診を受診しなかった回答者について、検診・検査を受診しなかった理由・きっかけを尋ねたところ、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が40.5%と最も多く、全体のほぼ4割を占めている。次いで、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が27.5%、「検診・検査の案内がなかったから」が15.1%、「検診に費用がかかるから」が14.6%と続いている。

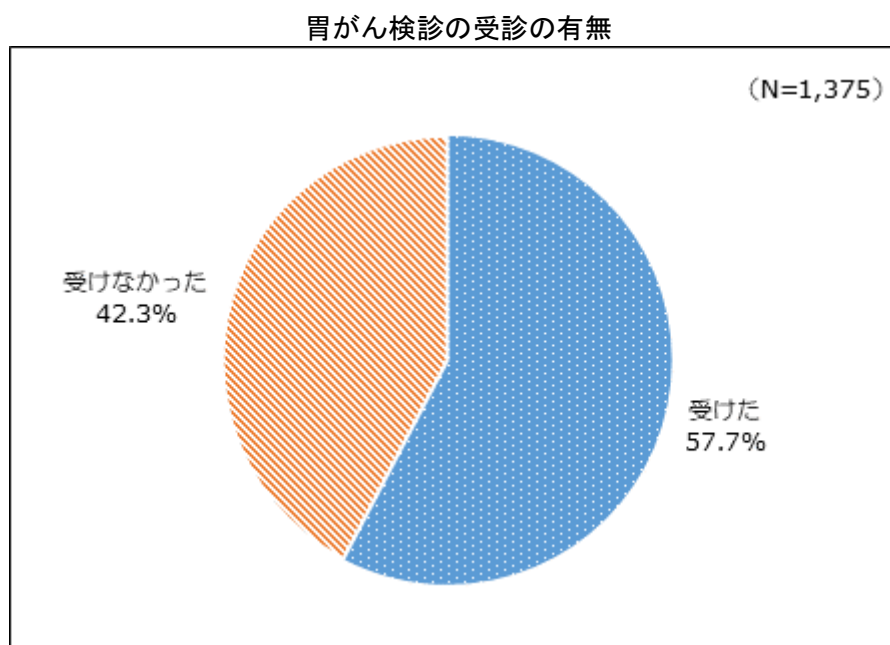
検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）



#### (4) 胃がん検診について

##### ア) 検診受診の有無

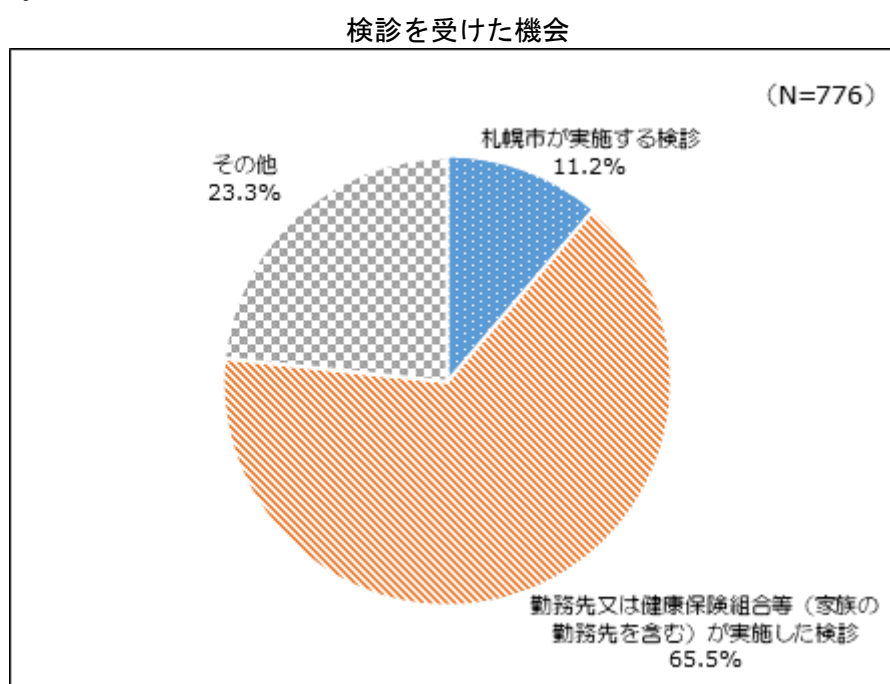
50 歳以上の回答者に過去 2 年間で胃がん検診受診の有無を尋ねたところ、「受けた」が 57.7%、「受けなかった」が 42.3%となっており、対象者の 6 割近くが検診を受診している。



※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

##### イ) 検診を受けた機会

胃がん検診を受診した回答者について、どのような機会に検診を受けたのかを尋ねたところ、「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が 65.5%と最も多く、全体の 6 割台半ばを占めている。次いで、「札幌市が実施する検診」が 23.3%、「その他」が 11.2%となっている。

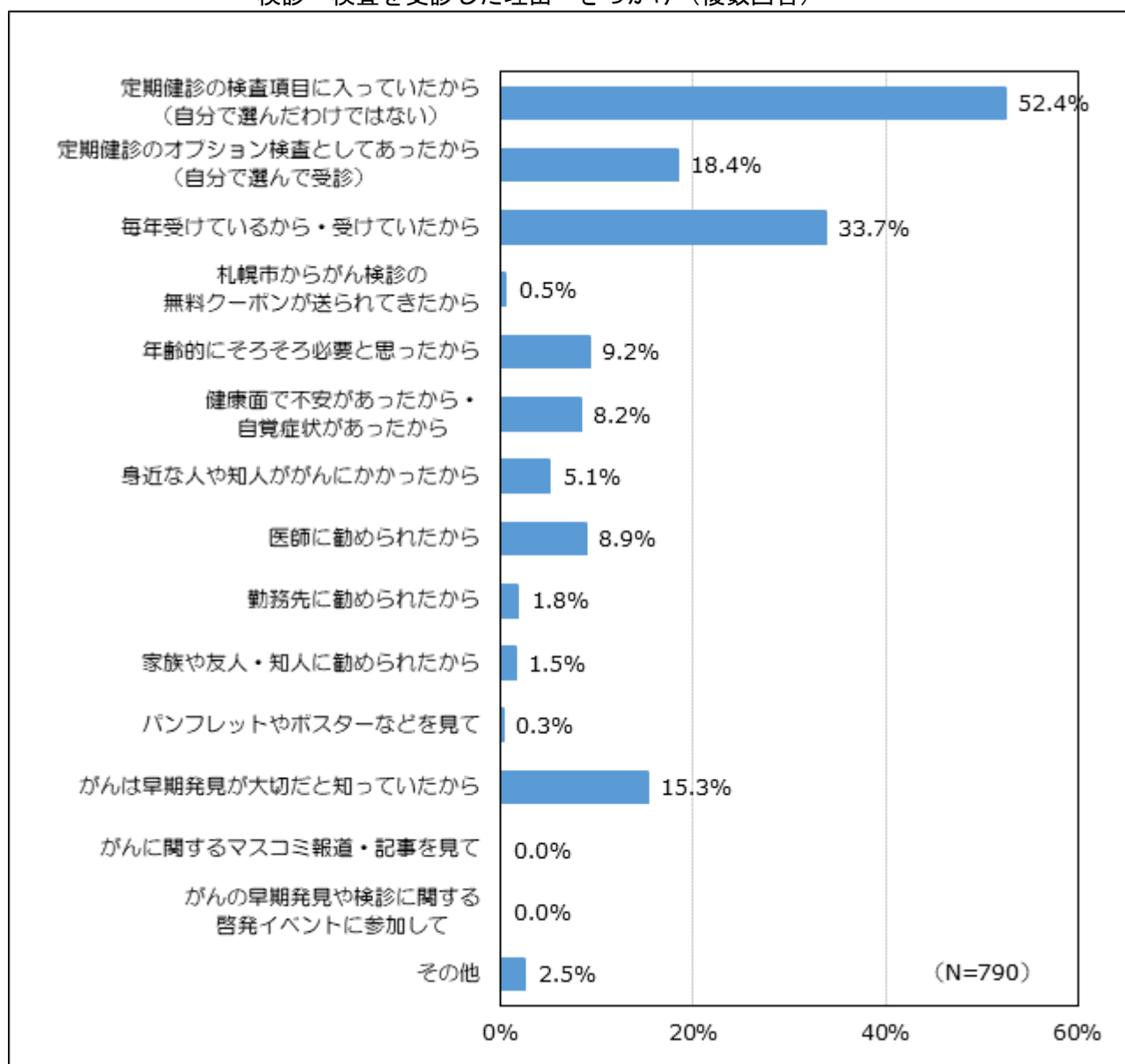


※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

胃がん検診を受診した回答者について、検診・検査を受診した理由・きっかけを尋ねたところ、「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が 52.4%と最も多く、全体の 5 割以上を占めている。次いで、「毎年受けているから・受けていたから」が 33.7%、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」が 18.4%、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が 15.3%と続いている。

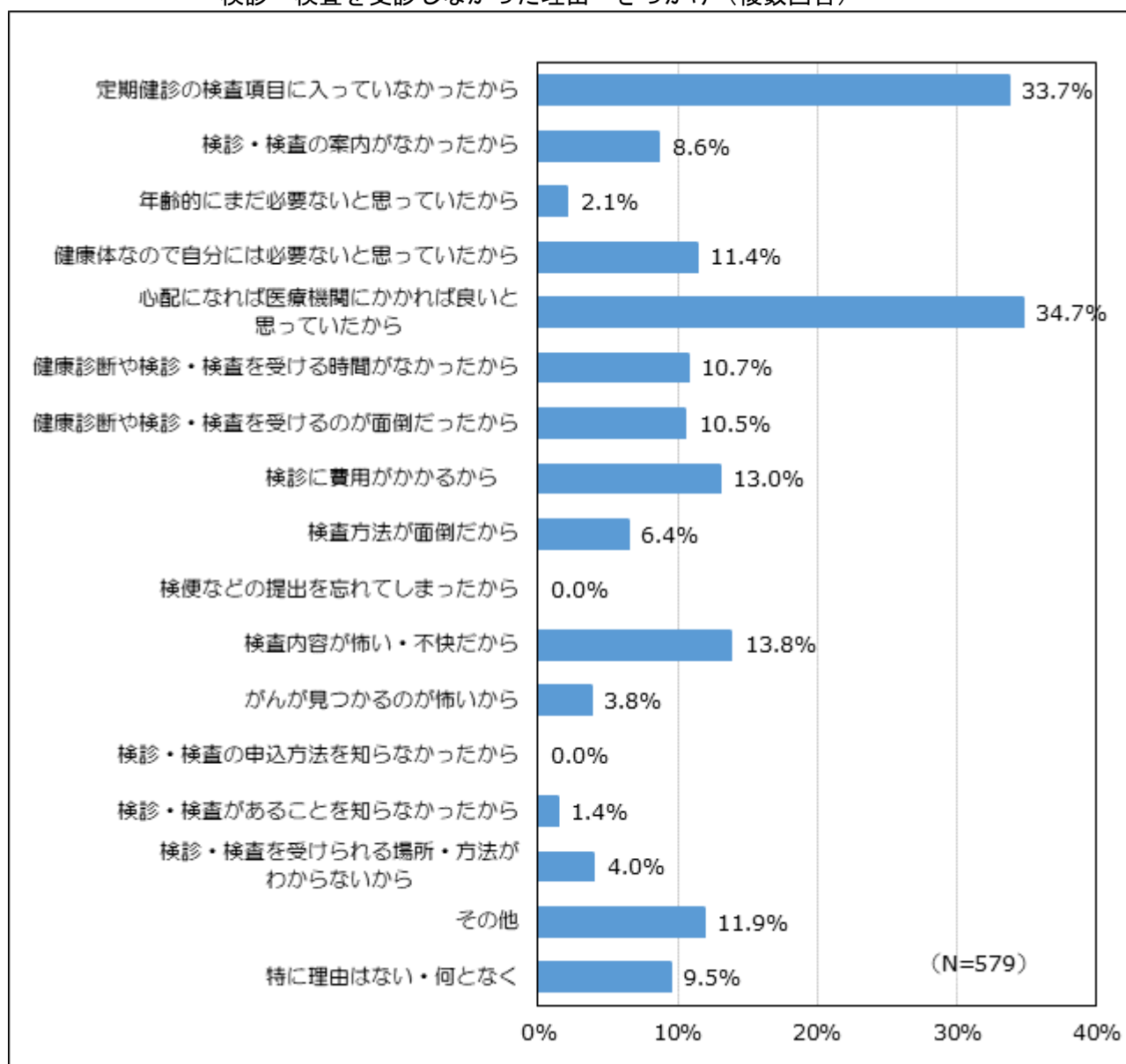
検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）



## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

胃がん検診を受診しなかった回答者について、検診・検査を受診しなかった理由・きっかけを尋ねたところ、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が 34.7%と最も多く、全体の 3 割台半ばを占めている。次いで、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が 33.7%、「検査内容が怖い・不快だから」が 13.8%、「検診に費用がかかるから」が 13.0%と続いている。

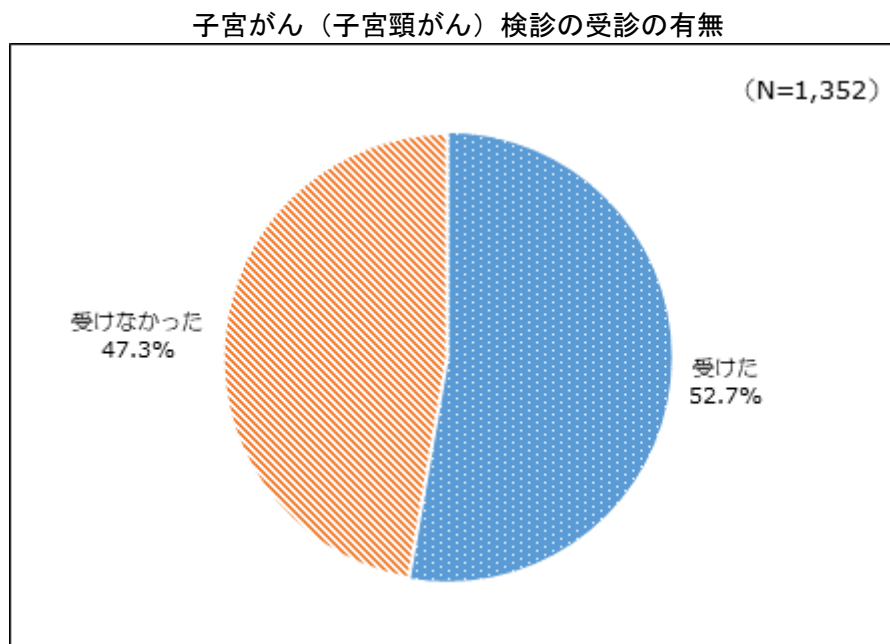
検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）



## (5) 子宮がん（子宮頸がん）検診について

### ア) 検診受診の有無

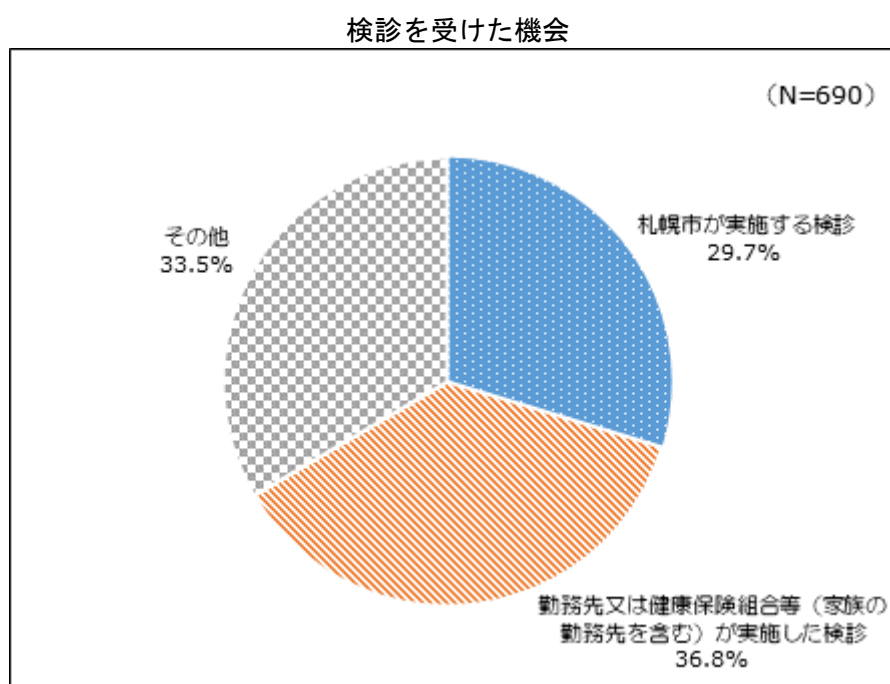
女性の回答者に過去2年間で子宮がん（子宮頸がん）検診受診の有無を尋ねたところ、「受けた」が52.7%、「受けなかった」が47.3%となっており、対象者の半数以上が検診を受診している。



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

子宮がん（子宮頸がん）検診を受診した回答者について、どのような機会に検診を受けたのかを尋ねたところ、「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が36.8%と最も多く、次いで、「その他」が33.5%、「札幌市が実施する検診」が29.7%となっている。



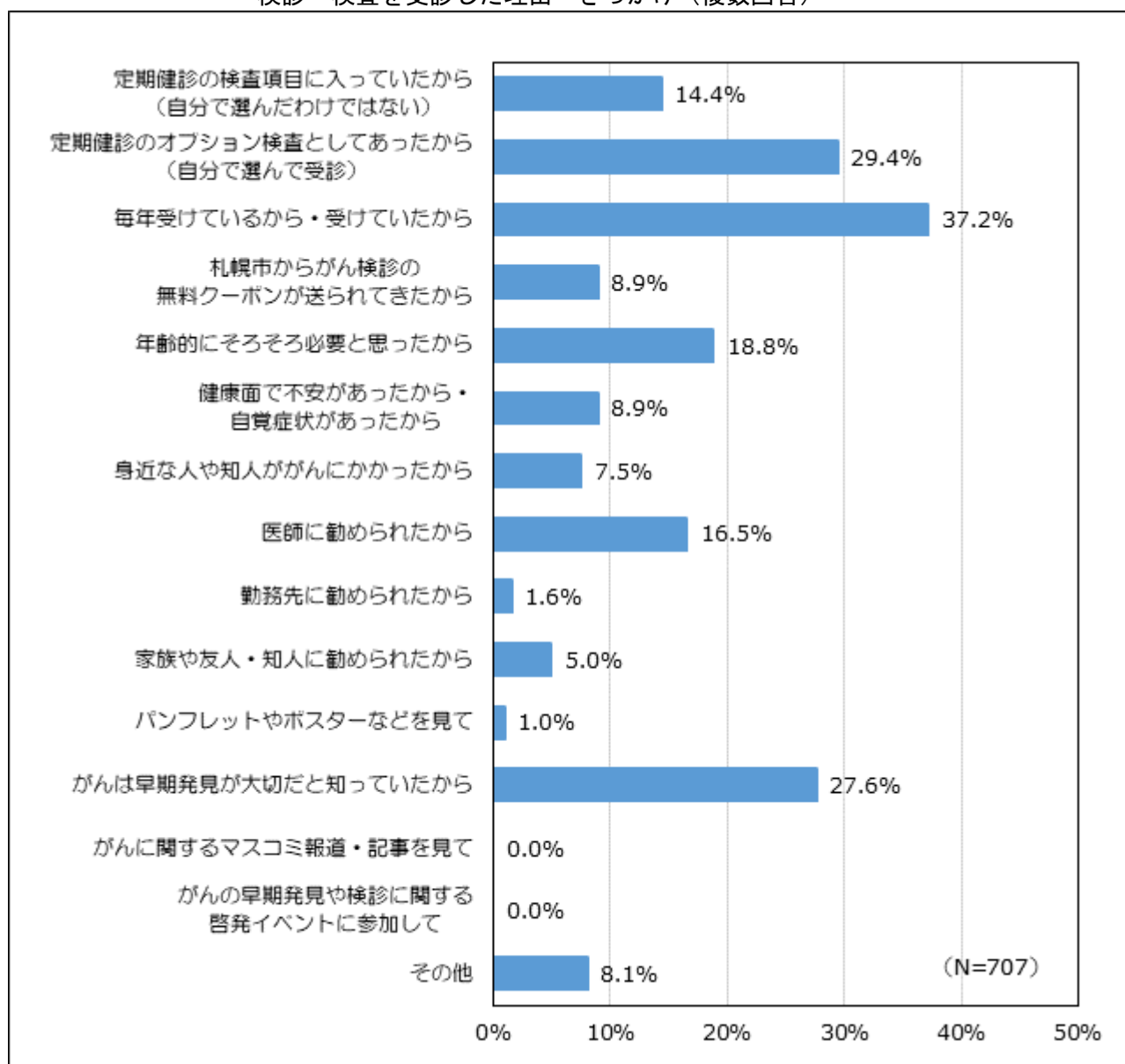
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。



### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

子宮がん（子宮頸がん）検診を受診した回答者について、検診・検査を受診した理由・きっかけを尋ねたところ、「毎年受けているから・受けていたから」が37.2%と最も多く、全体の4割近くを占めている。次いで、「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が29.4%、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が27.6%、「年齢的にそろそろ必要と思ったから」が18.8%と続いている。

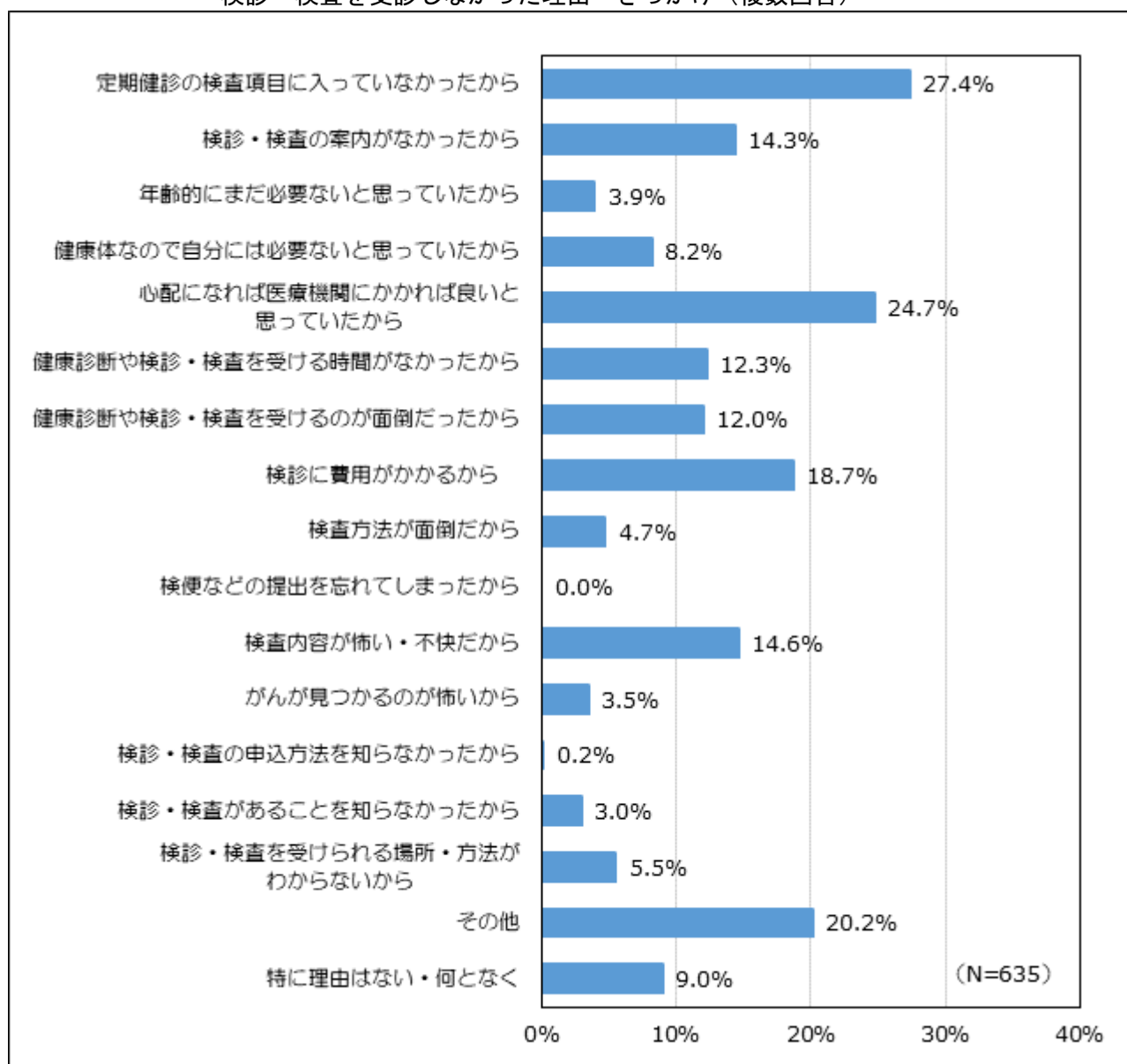
検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）



## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

子宮がん（子宮頸がん）検診を受診しなかった回答者について、検診・検査を受診しなかった理由・きっかけを尋ねたところ、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が 27.4%と最も多く、全体の 3 割近くを占めている。次いで、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が 24.7%、「その他」が 20.2%、「検診に費用がかかるから」が 18.7%と続いている。

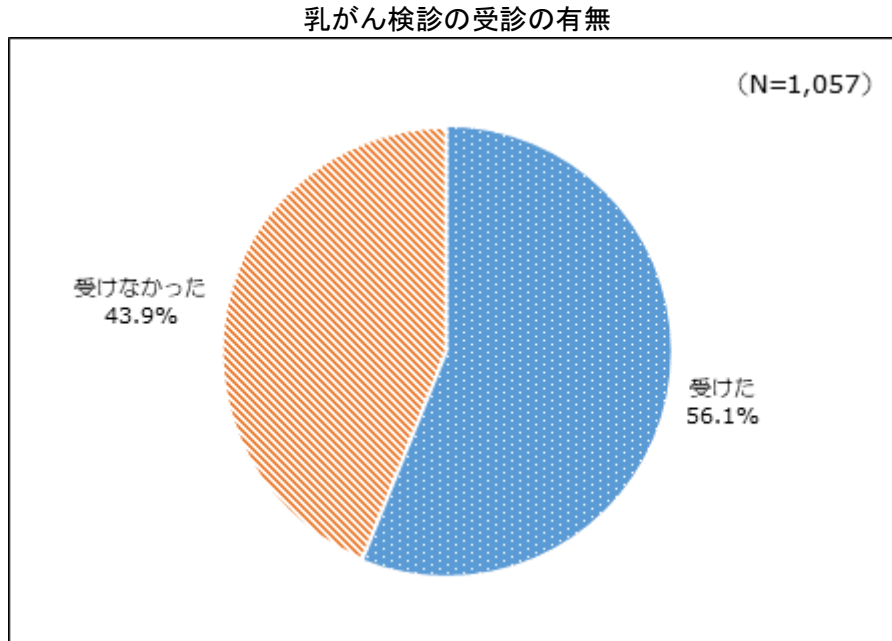
検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）



## (6) 乳がん検診について

### ア) 検診受診の有無

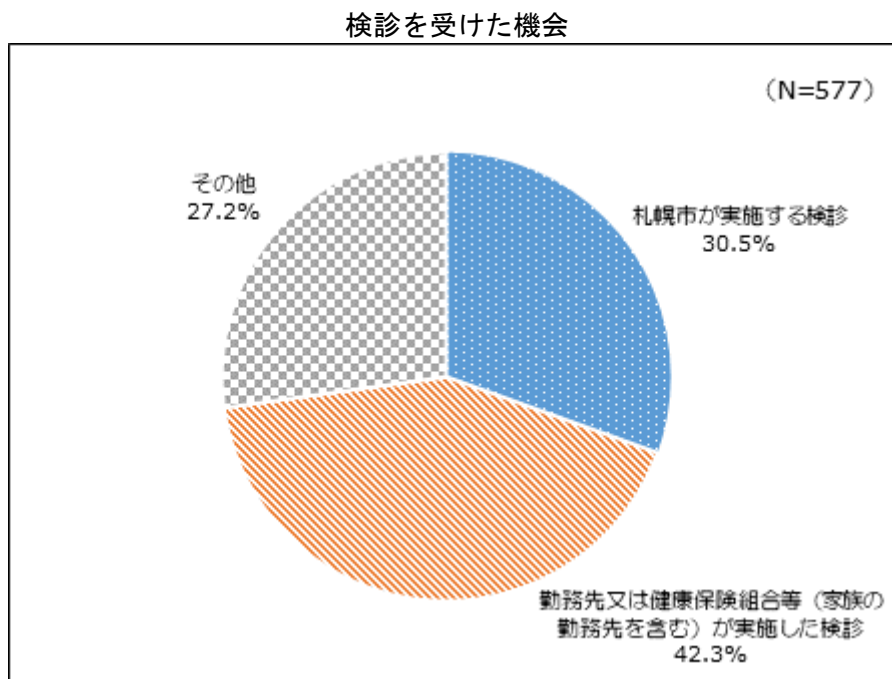
40歳以上の女性の回答者に過去2年間で乳がん検診受診の有無を尋ねたところ、「受けた」が56.1%、「受けなかった」が43.9%となっており、対象者の5割台半ばが検診を受診している。



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

乳がん検診を受診した回答者について、どのような機会に検診を受けたのかを尋ねたところ、「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が42.3%と最も多く、全体の4割以上を占めている。次いで、「札幌市が実施する検診」が30.5%、「その他」が27.2%となっている。

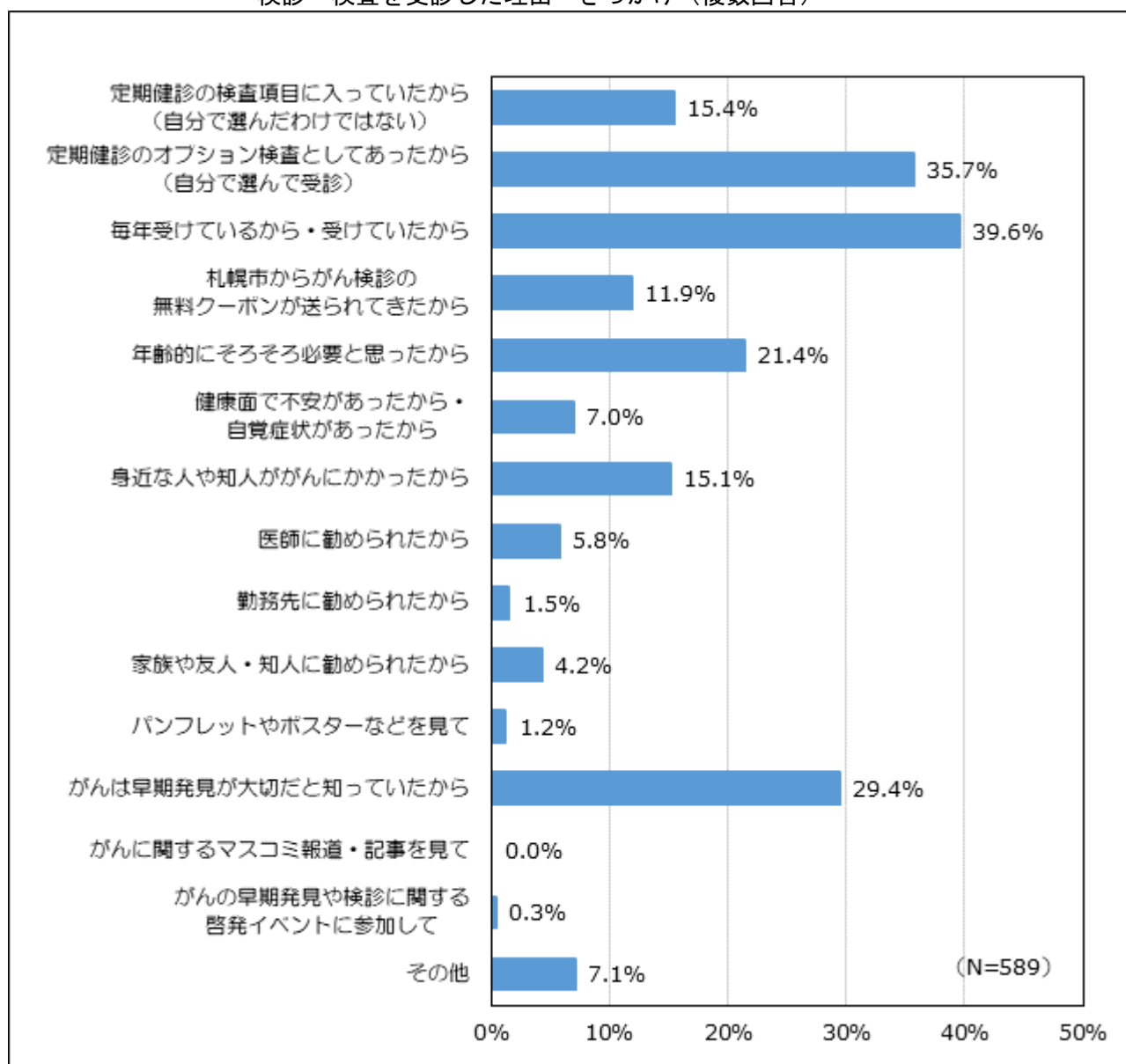


※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

乳がん検診を受診した回答者について、検診・検査を受診した理由・きっかけを尋ねたところ、「毎年受けているから・受けていたから」が**39.6%**と最も多く、全体の**4割**を占めている。次いで、「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が**35.7%**、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が**29.4%**、「年齢的にそろそろ必要と思ったから」が**21.4%**と続いている。

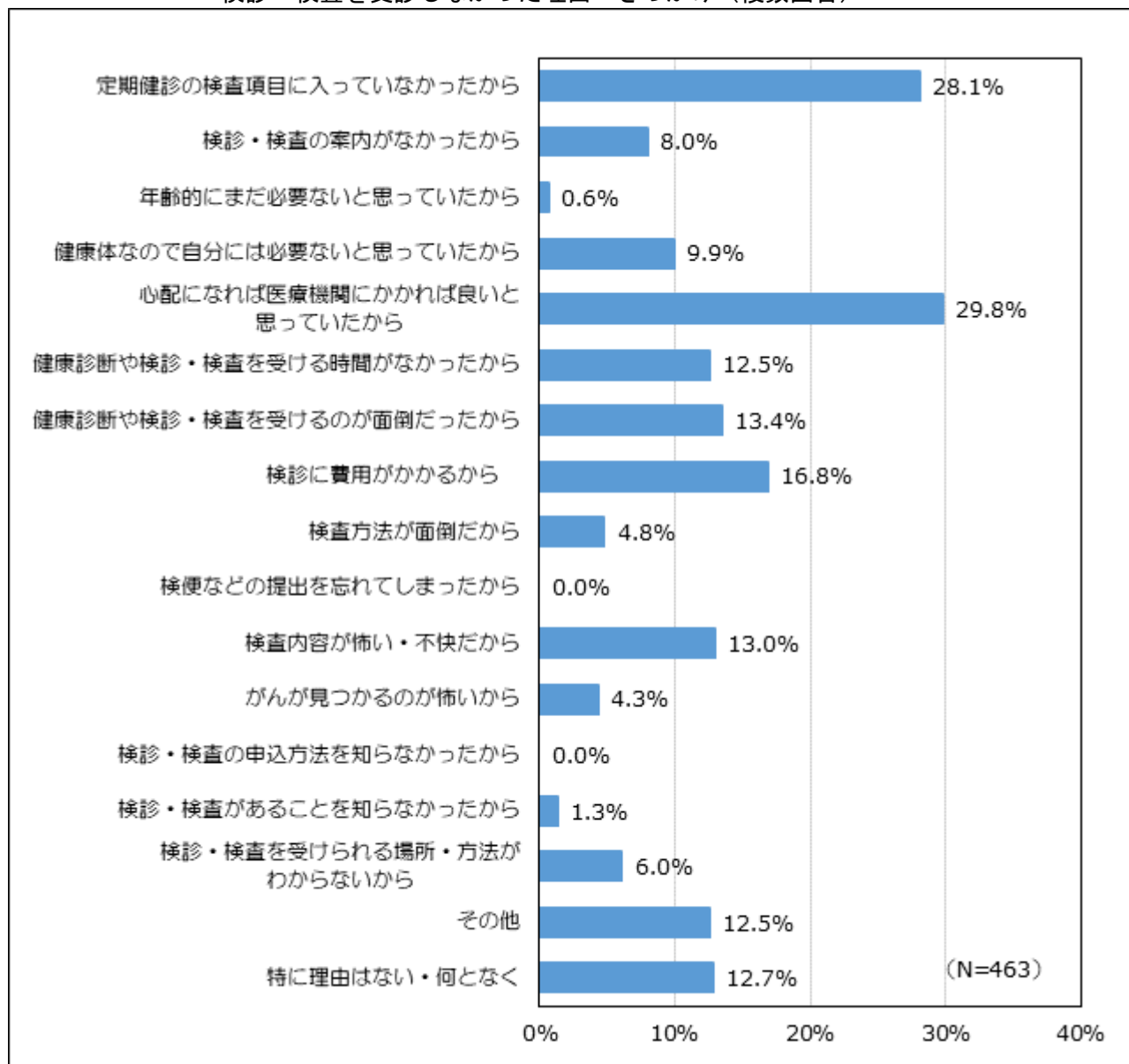
検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）



## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

乳がん検診を受診しなかった回答者について、検診・検査を受診しなかった理由・きっかけを尋ねたところ、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が29.8%、と最も多く、全体の3割を占めている。次いで、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が28.1%、「検診に費用がかかるから」が16.8%、「検査内容が怖い・不快だから」が13.0%と続いている。

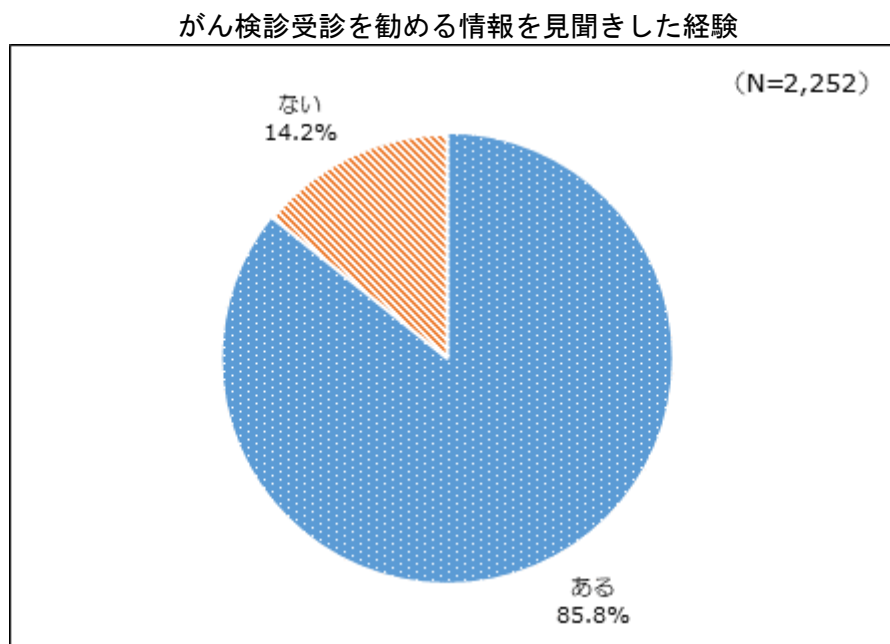
検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）



## (7) がん検診全般について

### ア) がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験

がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験を尋ねたところ、「ある」が 85.8%、「ない」が 14.2%となっており、全体の 8 割台半ばの回答者が情報を見聞きした経験があると回答している。

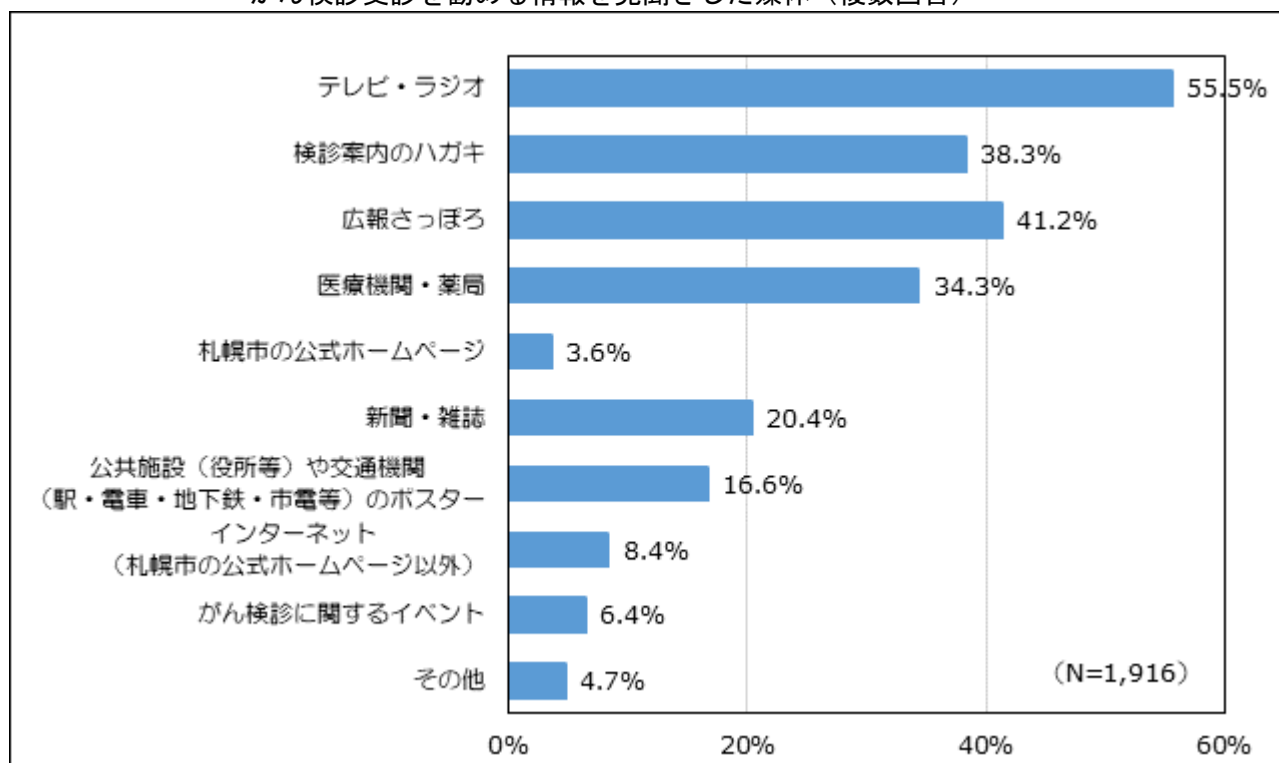


※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### イ) がん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体

がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験のある回答者に、その情報を見聞きした媒体を尋ねたところ、「テレビ・ラジオ」が 55.5%と最も多く、全体の 5 割台半ばを占めている。次いで、「広報さっぽろ」が 41.2%、「検診案内のハガキ」が 38.3%、「医療機関・薬局」が 34.3%と続いている。

がん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体（複数回答）

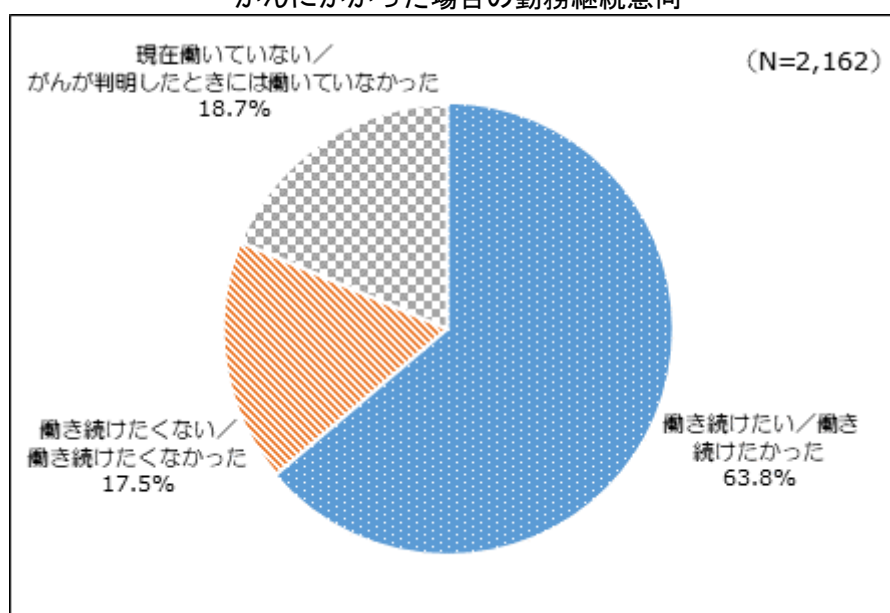


（８）がんにかかった場合の対応等について

ア）がんにかかった場合の勤務継続意向

がんにかかった場合に働き続けたいかを尋ねたところ、「働き続けたい／働き続けたかった」が63.8%と最も多く、回答者の6割以上を占めている。次いで、「現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった」が18.7%、「働き続けたくない／働き続けなくなかった」が17.5%となっている。

がんにかかった場合の勤務継続意向

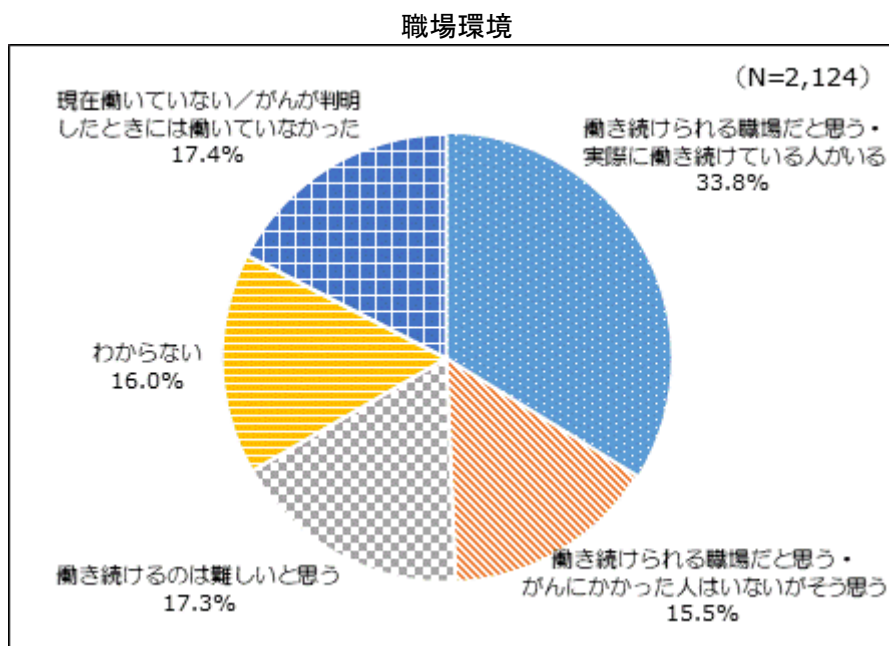


※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## イ) 職場環境

回答者の職場について、がんにかかっても働き続けることができる職場かどうかを尋ねたところ、「働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる」、「働き続けられる職場だと思う・がんにかかった人はいないがそう思う」といった肯定的な意見はそれぞれ **33.8%**、**15.5%** を占めており、全体のほぼ半数を占めている。

一方、「働き続けるのは難しいと思う」といった否定的な意見は **17.3%**と 2 割以下にとどまっているものの、「わからない」とする回答も **16.0%**みられた。



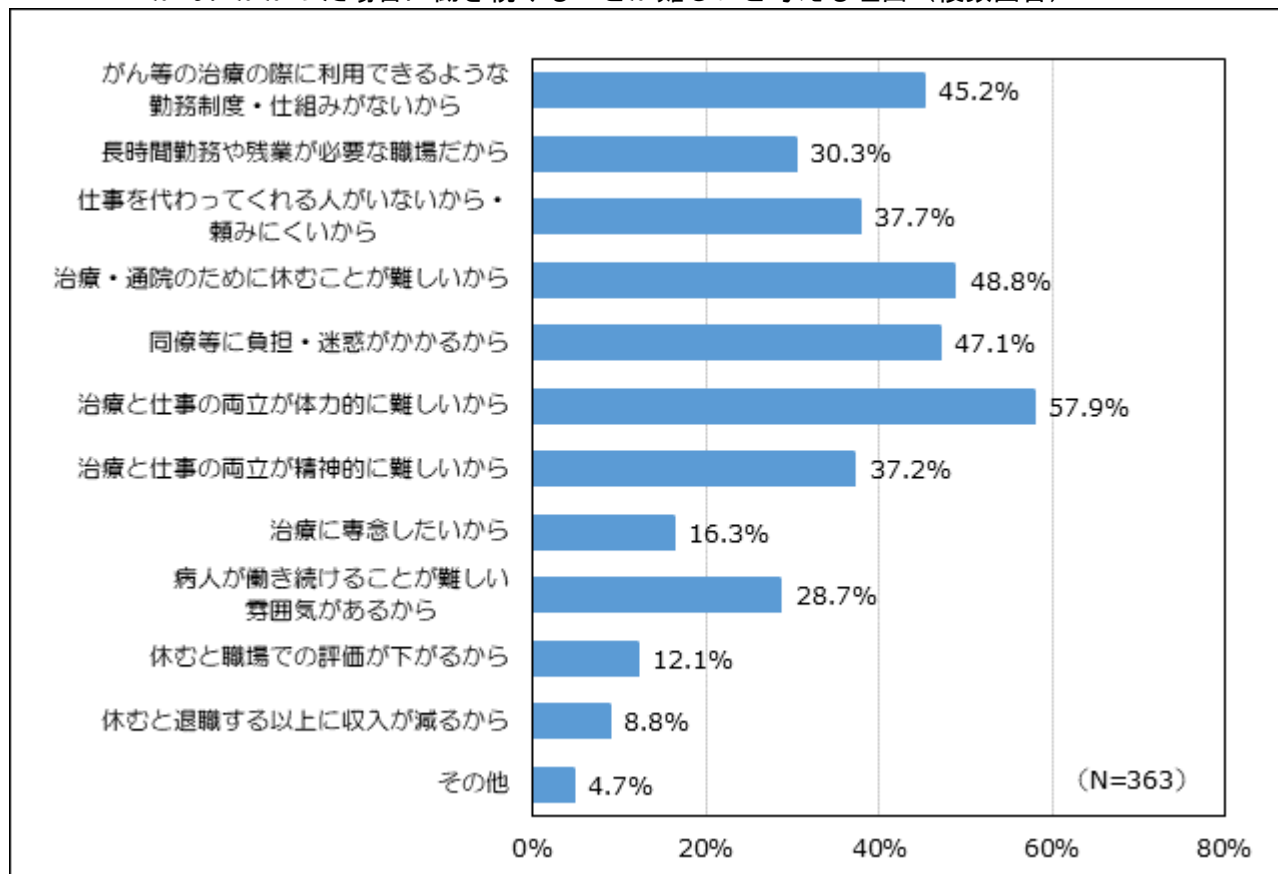
※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## ウ) がんにかかった場合に働き続けることが難しいと考える理由

現在の職場について、がんにかかった場合に「働き続けるのは難しいと思う」と回答した場合に、その理由を尋ねたところ、「治療と仕事の両立が体力的に難しいから」が **57.9%**となっており、全体の 6 割近くを占めている。次いで、「治療・通院のために休むことが難しいから」が **48.8%**、「同僚等に負担・迷惑がかかるから」が **47.1%**、「がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから」が **45.2%**と続いている。

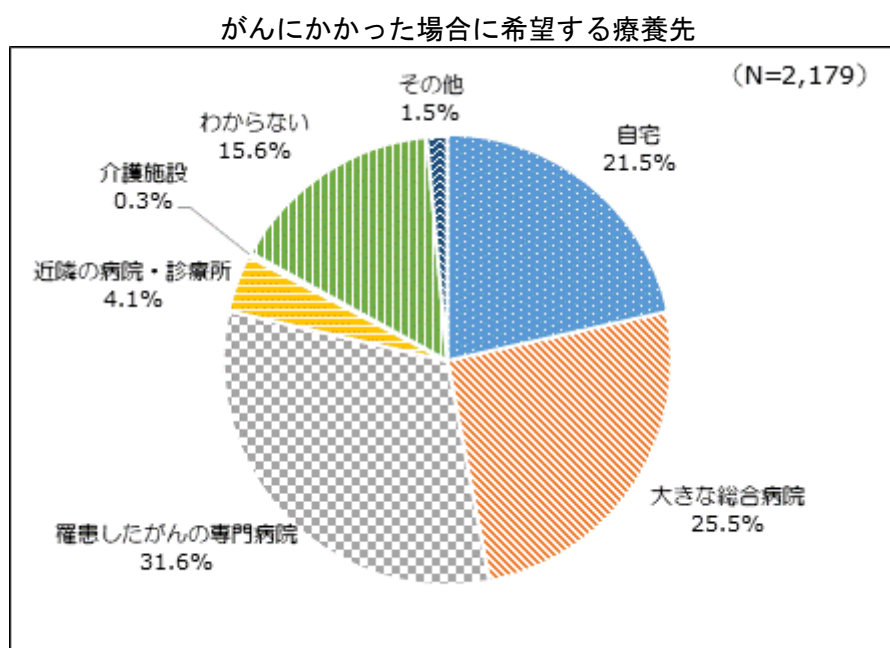


がんにかかった場合に働き続けることが難しいと考える理由（複数回答）



エ) がんにかかった場合に希望する療養先

がんにかかった場合に希望する療養先をみると、「罹患したがんの専門病院」が 31.6%と最も多く、次いで、「大きな総合病院」が 25.5%、「自宅」が 21.5%となっている。

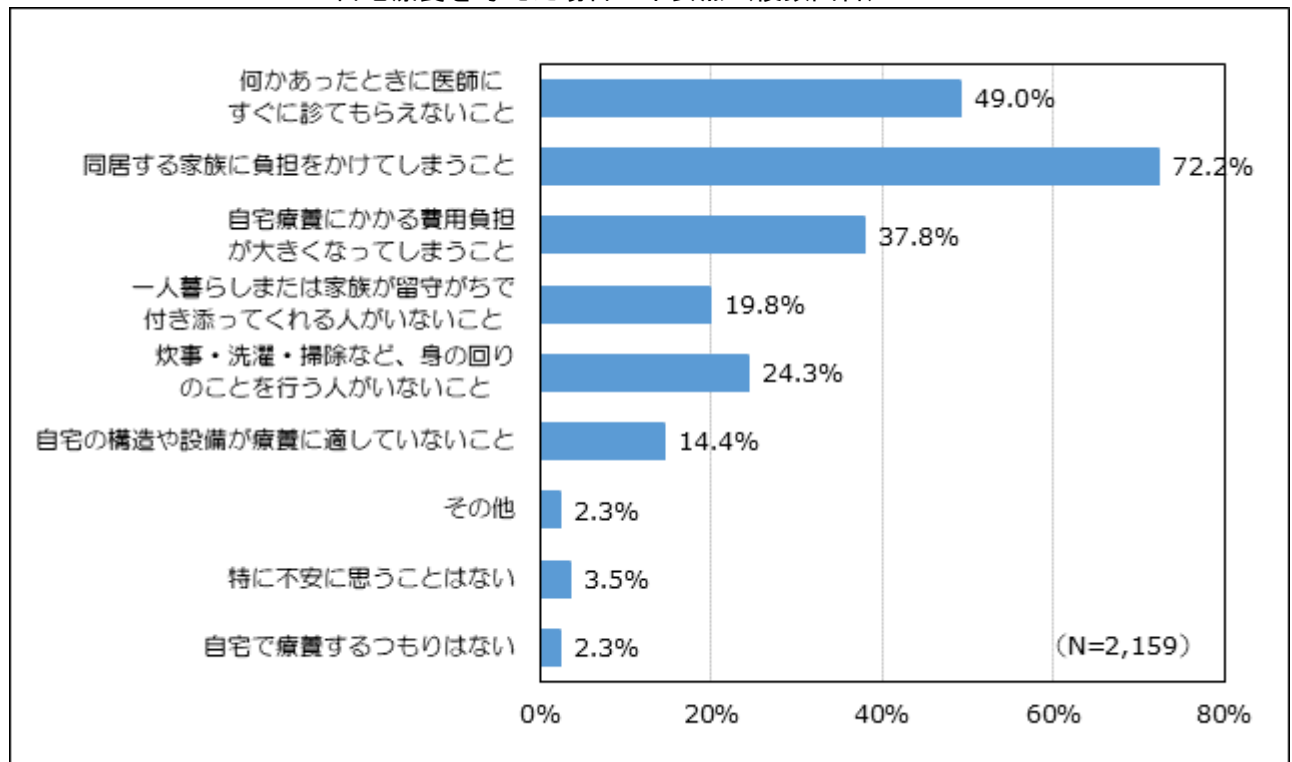


※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### オ) 自宅療養を考えた場合の不安点

がんにかかったときに、自宅療養する場合の不安点について尋ねたところ、「同居する家族に負担をかけてしまうこと」が72.2%と最も多く、全体の7割以上を占めている。次いで、「何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと」が49.0%、「自宅療養にかかる費用負担が大きくなってしまうこと」が37.8%、「炊事・洗濯・掃除など、身の回りのことを行う人がいないこと」が24.3%と続いている。

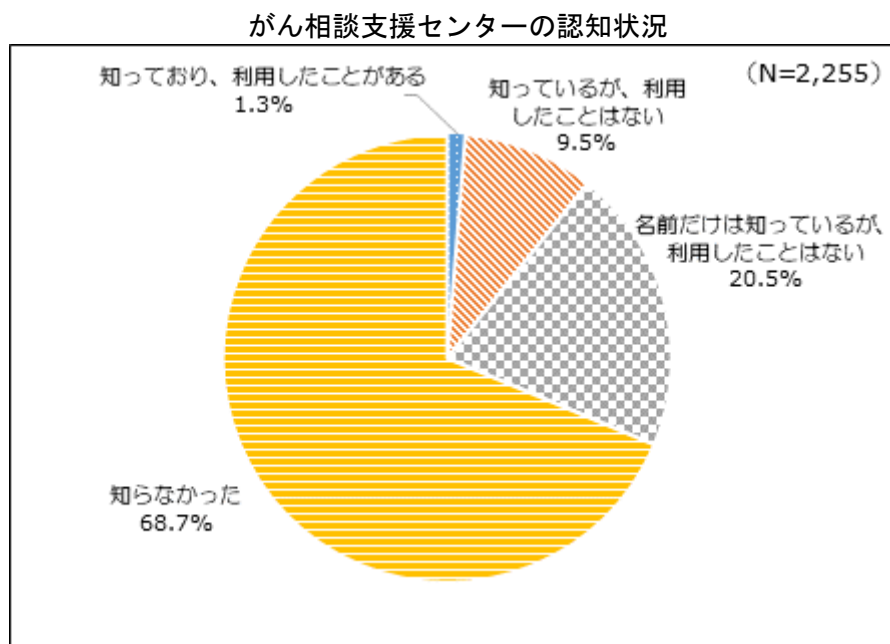
自宅療養を考えた場合の不安点（複数回答）



### (9) がん患者支援に関する質問について

#### ア) がん相談支援センターの認知状況

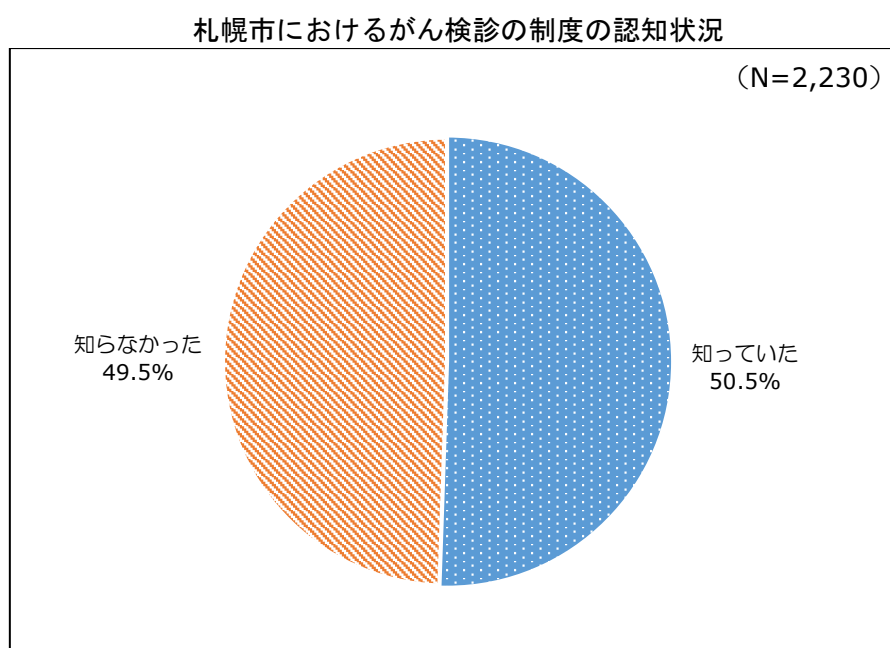
がん相談支援センターの認知状況をみると、「知らなかった」が 68.7%となっており、全体の7割近くを占めている。次いで、「名前だけは知っているが、利用したことはない」が 20.5%、「知っているが、利用したことはない」が 9.5%となっている。



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

#### イ) 札幌市におけるがん検診の制度の認知状況

札幌市におけるがん検診の制度の認知状況をみると、「知っていた」が 50.5%、「知らなかった」が 49.5%となっており、制度を知っている回答者と知らなかった回答者がほぼ半々となっている。

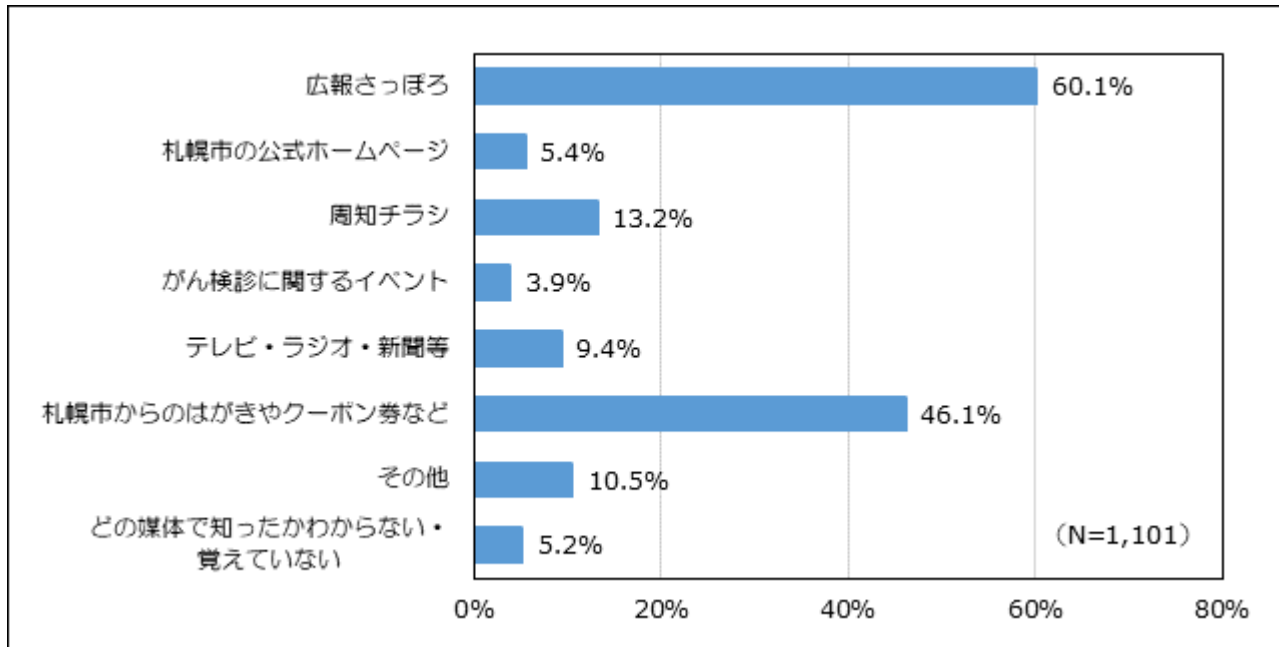


※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) 札幌市のがん検診の制度を知った媒体

札幌市のがん検診の制度を知っていた回答者に、情報を知った媒体を尋ねたところ、「広報さっぽろ」が60.1%と最も多く、全体の6割を占めている。次いで、「札幌市からののがきやクーポン券など」が46.1%、「周知チラシ」が13.2%となっている。

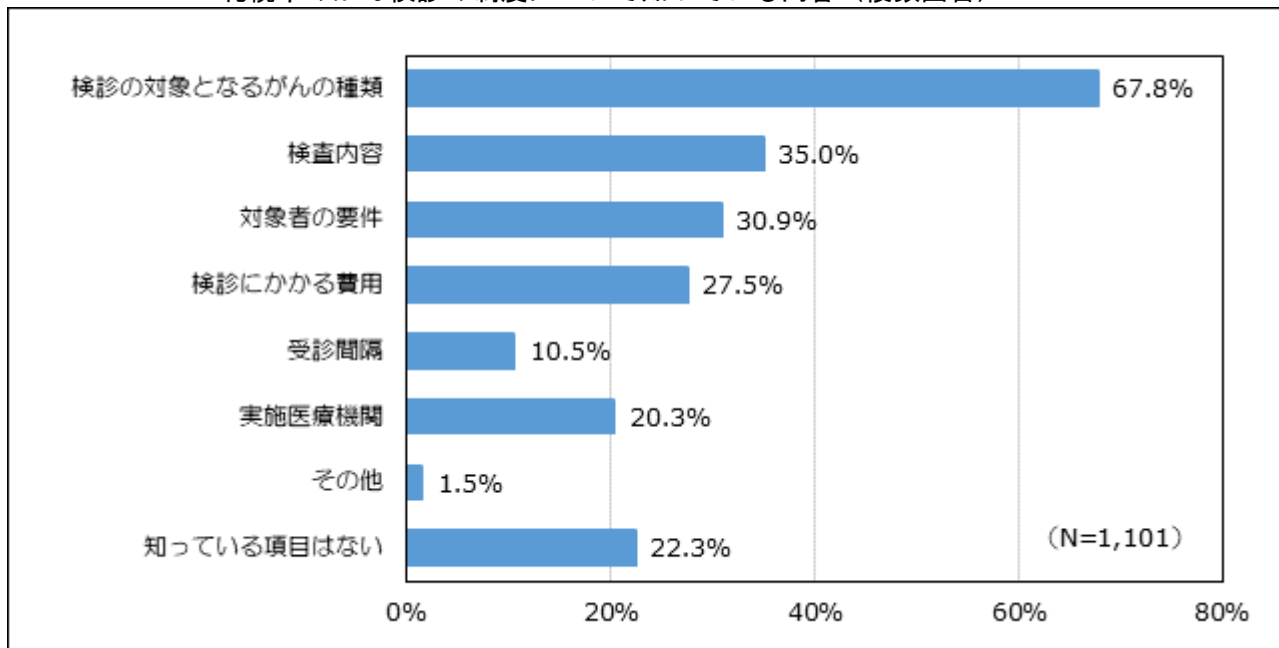
札幌市のがん検診の制度を知った媒体（複数回答）



### エ) 札幌市のがん検診の制度について知っている内容

札幌市のがん検診の制度を知っていた回答者に、知っている制度の内容を尋ねたところ、「検診の対象となるがんの種類」が67.8%と最も多く、全体の7割近くを占めている。次いで、「検査内容」が35.0%、「対象者の要件」が30.9%、「検診にかかる費用」が27.5%となっている。

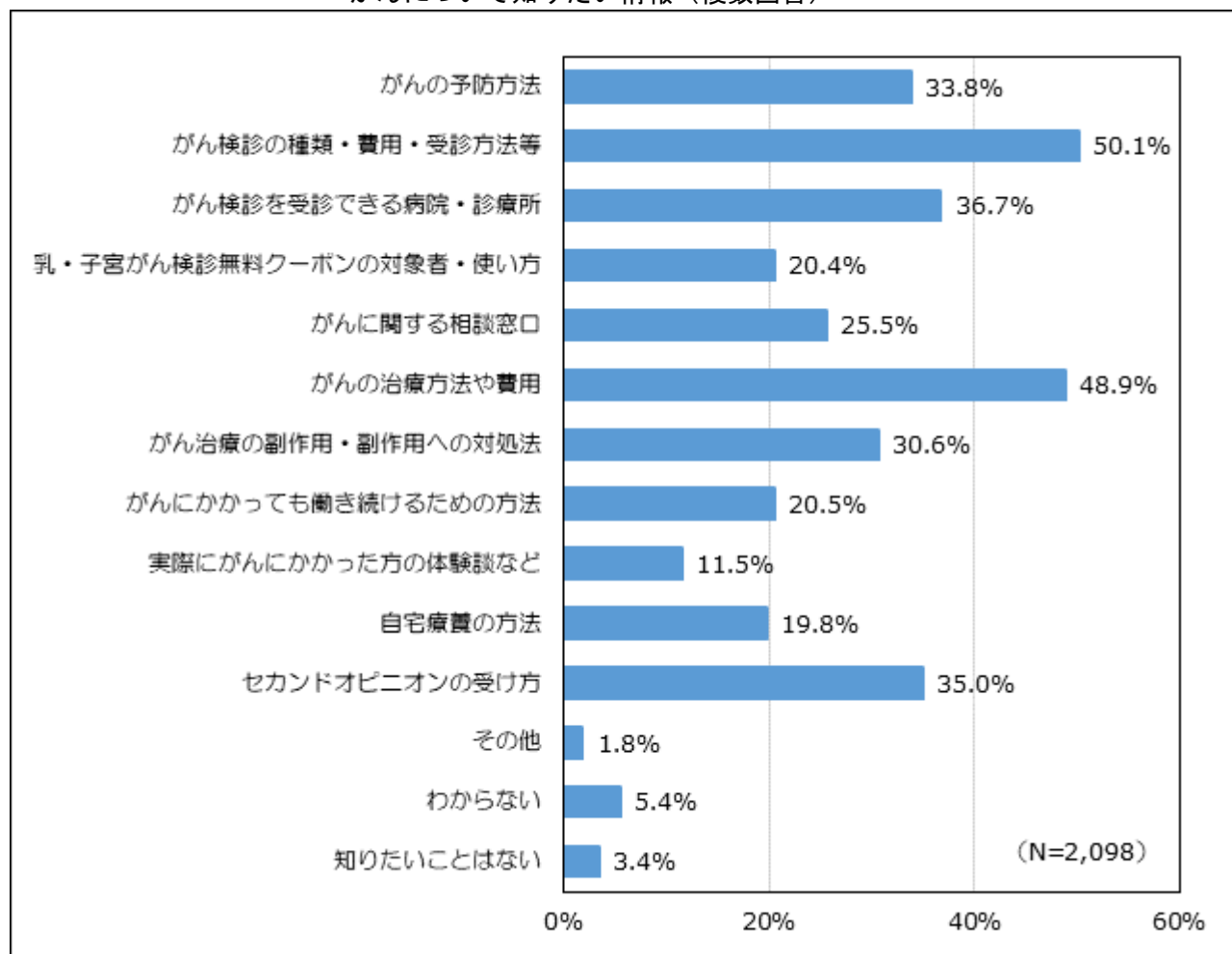
札幌市のがん検診の制度について知っている内容（複数回答）



### オ) がんについて知りたい情報

がんについて知りたい情報をみると、「がん検診の種類・費用・受診方法等」が 50.1%と最も多く、半数を占めている。次いで、「がんの治療方法や費用」が 48.9%、「がん検診を受診できる病院・診療所」が 36.7%、「セカンドオピニオンの受け方」が 35.0%となっている。

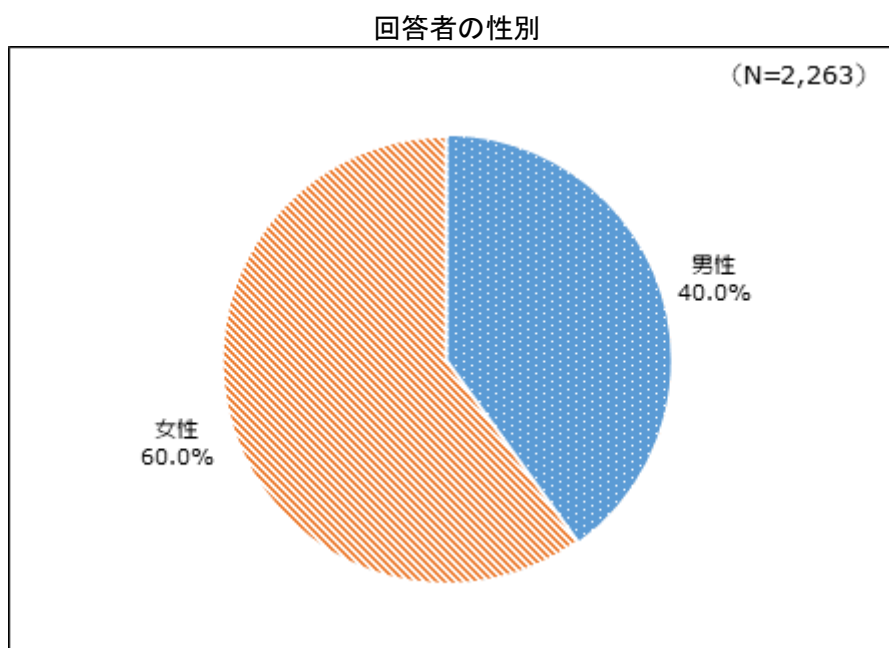
がんについて知りたい情報（複数回答）



## (10) 回答者の属性

### ア) 性別

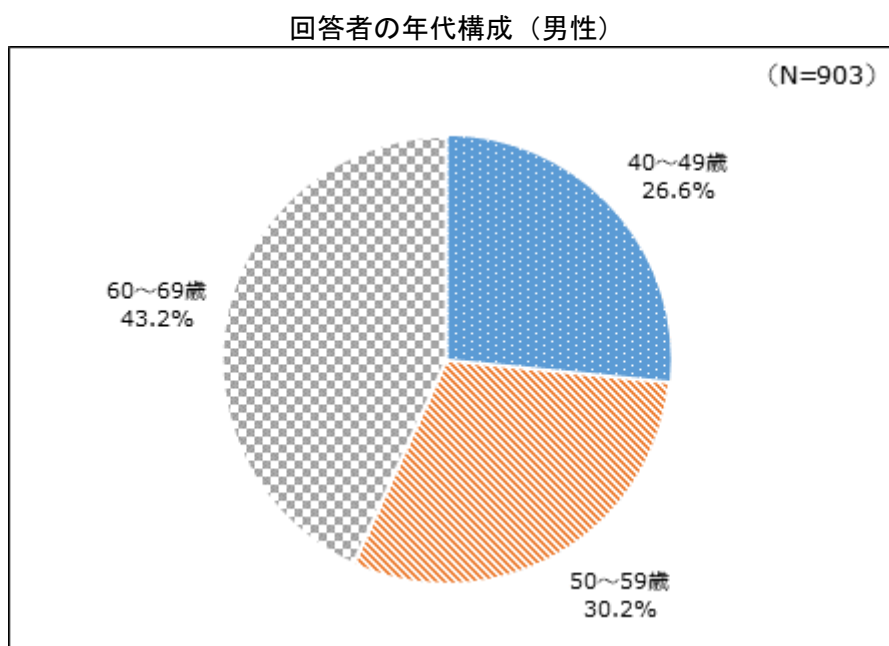
回答者の性別をみると、「男性」が 40.0%、「女性」が 60.0%となっている。



※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

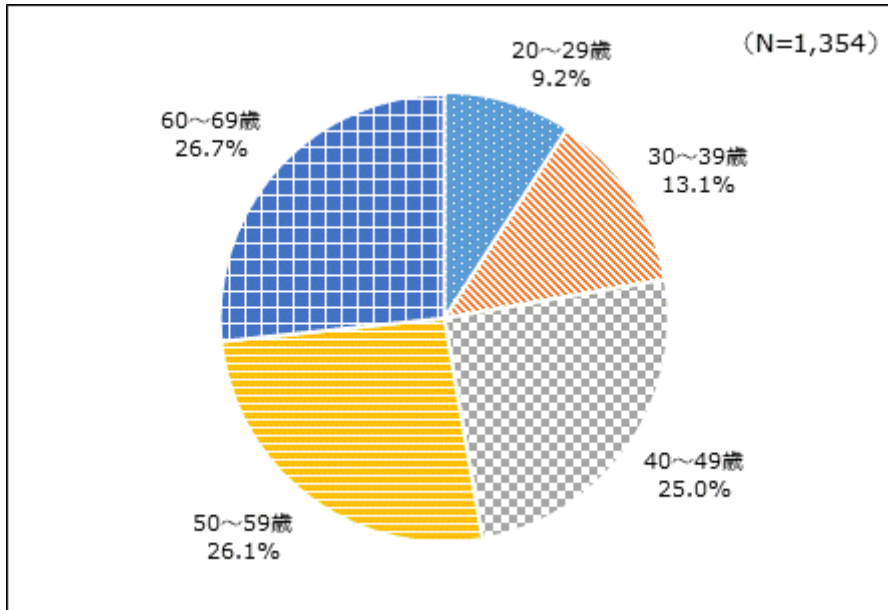
### イ) 年代

回答者の年代構成を性別にみると、男女ともに「60～69 歳」が最も多く、それぞれ 43.2%、26.7%となっている。また、男女とも年代が高いほど回答割合が高くなる傾向がみられる。



※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

回答者の年代構成（女性）

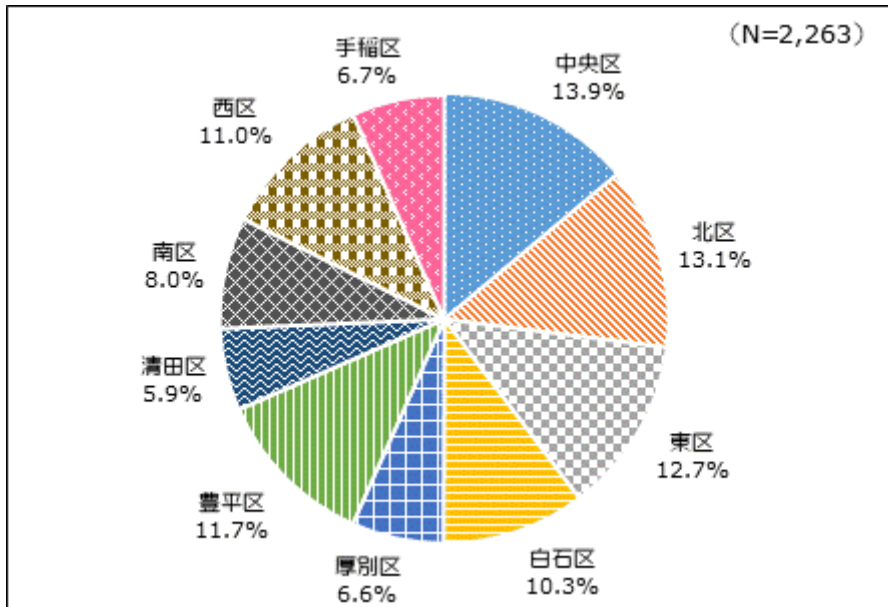


※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

ウ) 居住区

回答者の居住区をみると、「中央区」が13.9%と最も多く、次いで、「北区」が13.1%、「東区」が12.7%、「西区」が11.0%となっている。

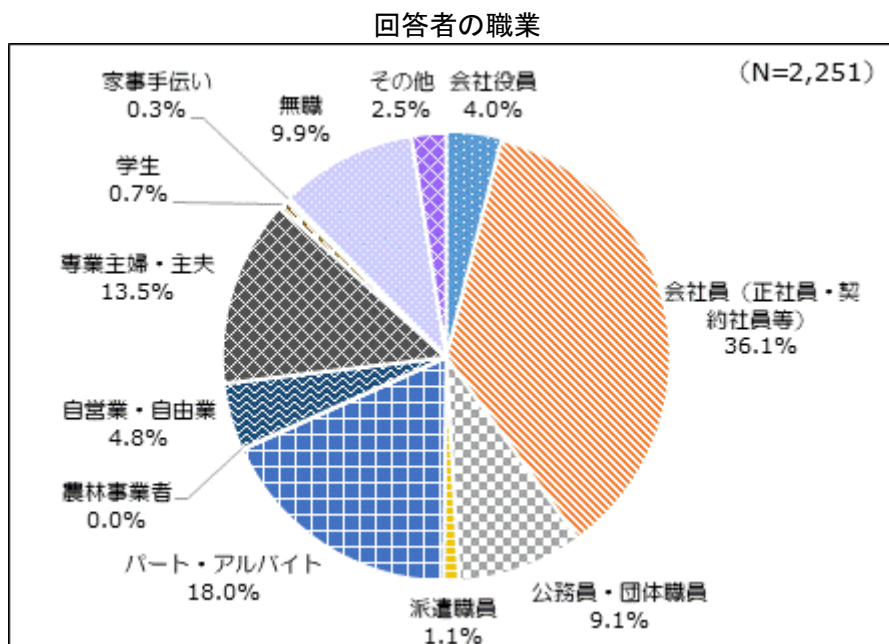
回答者の居住区



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## エ) 職業

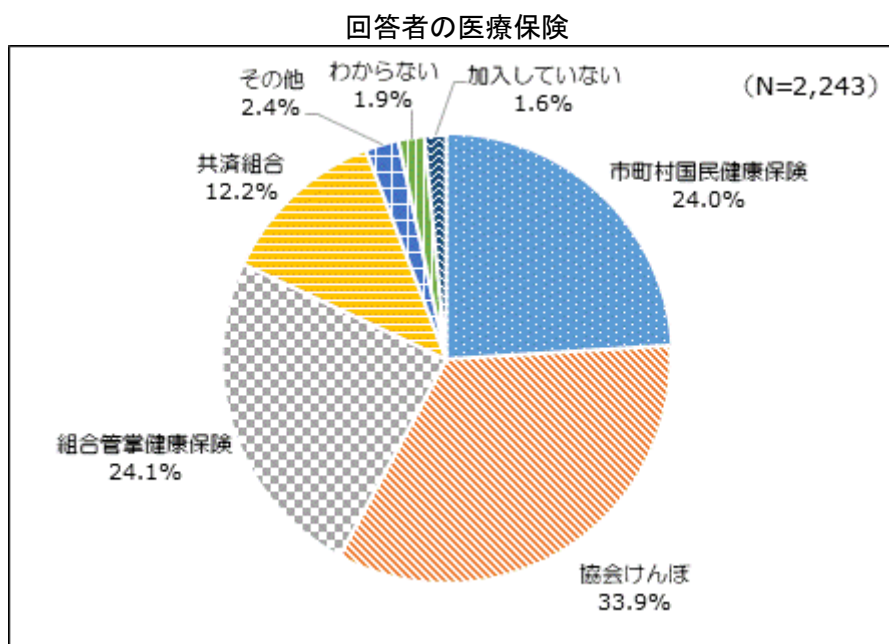
回答者の職業をみると、「会社員（正社員・契約社員等）」が**36.1%**と最も多く、4割近くを占めている。次いで、「パート・アルバイト」が**18.0%**、「専業主婦・主夫」が**13.5%**、「無職」が**9.9%**、「公務員・団体職員」が**9.1%**となっている。



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## オ) 医療保険

回答者の医療保険をみると、「協会けんぽ」が**33.9%**と最も多く、次いで、「組合管掌健康保険」が**24.1%**、「市町村国民健康保険」が**24.0%**、「共済組合」が**12.2%**となっている。

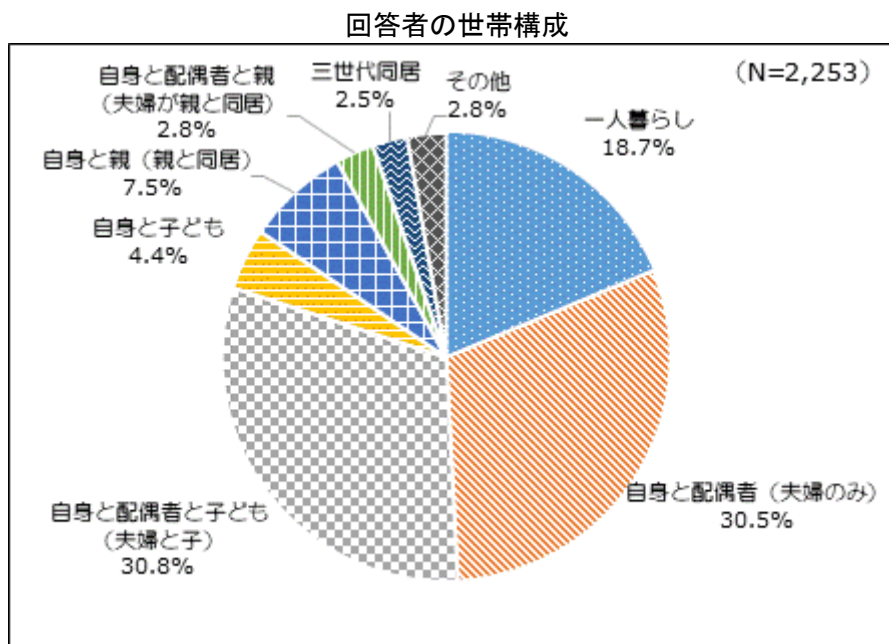


※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。



## カ) 世帯構成

回答者の世帯構成をみると、「自身と配偶者と子ども（夫婦と子）」が**30.8%**と最も多く、これに差がなく、「自身と配偶者（夫婦のみ）」が**30.5%**で続いている。次いで、「一人暮らし」が**18.7%**、「自身と親（親と同居）」が**7.5%**となっている。



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## 2. 2 性別によるクロス集計

### (1) 回答者自身について

#### ア) がんの罹患状況

男女とも、「かかったことはない」が90%以上を占めているなど、全体的な傾向に大きな違いはみられない。

性別にみたがんの罹患状況

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	かかったことはない	826	91.4%	1,237	91.4%
2	現在かかっており、治療継続中である	13	1.4%	22	1.6%
3	過去にかかったことがあるが、治療は終了している、または、経過観察中である	65	7.2%	95	7.0%
	合計	904	100.0%	1,354	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

#### イ) 身の周りでのがんの罹患状況

男女とも、「親戚（離れて住んでいてもあなたと血縁関係がある人々）」が最も多く、それぞれ51.3%、62.1%を占めている。それ以外の項目についても、「ご家族（あなたと日常的に同じ家に住んで暮らす方）」、「親しい友人・知人」が25~30%で続いているなど、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

性別にみた身の回りで、がんにかかったことのある人（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ご家族（あなたと日常的に同じ家に住んで暮らす方）	271	30.0%	391	28.9%
2	親戚（離れて住んでいてもあなたと血縁関係がある人々）	464	51.3%	839	62.1%
3	親しい友人・知人	234	25.9%	411	30.4%
4	その他	50	5.5%	79	5.8%
5	いない	136	15.0%	139	10.3%
6	わからない	21	2.3%	16	1.2%
	サンプル計	904	—	1,351	—

### ウ) 飲酒する頻度

週 1 回以上飲酒する機会についてみると、男性では「ある」が 63.8%、女性では「ない」が 60.4%となっており、男性の飲酒頻度が高くなる傾向がみられる。

性別にみた飲酒する頻度

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ある	577	63.8%	537	39.6%
2	ない	327	36.2%	820	60.4%
	合計	904	100.0%	1,357	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### エ) 喫煙習慣

喫煙習慣についてみると、「喫煙している」は男性で 26.8%、女性で 12.3%となっており、男性の喫煙割合は女性と比べて 2 倍程度高くなっている。また、現在喫煙をしていない場合であっても、男性では「禁煙した」が 48.3%となっているように、過去に喫煙していた割合が女性と比べて 2 倍程度高くなっている。

性別にみた喫煙習慣

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	喫煙している	242	26.8%	167	12.3%
2	禁煙した	437	48.3%	347	25.6%
3	喫煙したことがない	225	24.9%	841	62.1%
	合計	904	100.0%	1,355	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### オ) 入院した経験

入院した経験についてみると、男性では「ある」が 70.5%、女性では「ある」が 60.7%となっており、男性の回答割合が女性と比べて 10%程度高くなっている。

性別にみた入院した経験

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ある	636	70.5%	824	60.7%
2	ない	266	29.5%	533	39.3%
	合計	902	100.0%	1,357	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## (2) 肺がん検診について

### ア) 検診受診の有無

過去1年間の肺がん検診受診の有無(40歳以上が対象)をみると、男性では「受けた」が66.1%、女性では「受けた」が53.4%となっており、男性の受診割合が女性と比べて10%以上上回っている。

性別にみた肺がん検診の受診の有無

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	595	66.1%	559	53.4%
2	受けなかった	305	33.9%	488	46.6%
	合計	900	100.0%	1,047	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

肺がん検診を受診した機会をみると、男女とも「勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診」が最も多くなっており、それぞれ85.0%、77.7%を占めている。

一方、「札幌市が実施する検診」は男性で6.1%、女性で13.2%となっており、女性の回答割合が男性よりも2倍以上高くなっている。

性別にみた検診を受けた機会

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	36	6.1%	73	13.2%
2	勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診	498	85.0%	431	77.7%
3	その他	52	8.9%	51	9.2%
	合計	586	100.0%	555	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

#### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

肺がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、男女とも「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が最も多く、それぞれ81.7%、76.9%を占めている。

そのほかの項目についても、男女ともに「毎年受けているから・受けていたから」、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」の順に回答が多くなっており、全体的な傾向に大きな違いはみられない。

性別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから （自分で選んだわけではない）	482	81.7%	427	76.9%
2	定期健診のオプション検査としてあったから （自分で選んで受診）	39	6.6%	47	8.5%
3	毎年受けているから・受けていたから	204	34.6%	180	32.4%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	1	0.2%	9	1.6%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	28	4.7%	30	5.4%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	9	1.5%	6	1.1%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	13	2.2%	22	4.0%
8	医師に勧められたから	13	2.2%	20	3.6%
9	勤務先に勧められたから	17	2.9%	12	2.2%
10	家族や友人・知人に勧められたから	2	0.3%	5	0.9%
11	パンフレットやポスターなどを見て	1	0.2%	2	0.4%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	46	7.8%	58	10.5%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	1	0.2%	0	0.0%
15	その他	9	1.5%	6	1.1%
	サンプル計	590	—	555	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

肺がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、男女とも「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が最も多くなっている。特に男性の回答割合は**47.4%**と半数近くを占めており、女性の**34.4%**を**10%**以上上回っている。

そのほかの項目については、男女ともに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」、「検診・検査の案内がなかったから」、「検診に費用がかかるから」と続いているように、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

性別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	144	47.4%	167	34.4%
2	検診・検査の案内がなかったから	66	21.7%	97	20.0%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	15	4.9%	15	3.1%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	45	14.8%	63	13.0%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	74	24.3%	144	29.6%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	44	14.5%	66	13.6%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	40	13.2%	61	12.6%
8	検診に費用がかかるから	54	17.8%	84	17.3%
9	検査方法が面倒だから	13	4.3%	9	1.9%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%	1	0.2%
11	検査内容が怖い・不快だから	9	3.0%	14	2.9%
12	がんが見つかるのが怖いから	15	4.9%	21	4.3%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	24	7.9%	26	5.3%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	33	10.9%	36	7.4%
16	その他	19	6.3%	46	9.5%
17	特に理由はない・何となく	23	7.6%	48	9.9%
	サンプル計	304	—	486	—

### (3) 大腸がん検診について

#### ア) 検診受診の有無

過去 1 年間の大腸がん検診受診の有無（40 歳以上が対象）をみると、男性では「受けた」が 59.2%、女性では「受けた」が 47.7%となっており、男性の受診割合が 10%以上上回っている。

性別にみた大腸がん検診の受診の有無

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	535	59.2%	501	47.7%
2	受けなかった	369	40.8%	549	52.3%
	合計	904	100.0%	1,050	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

#### イ) 検診を受けた機会

大腸がん検診を受診した機会をみると、男女とも「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が最も多くなっているが、その回答割合をみると男性が 78.3%、女性が 68.2%となっており、男性の回答割合が女性よりも 10%程度上回っている。

一方、「札幌市が実施する検診」は男性で 6.7%、女性で 17.4%となっており、女性の回答割合が男性よりも 10%以上上回っている。

性別にみた検診を受けた機会

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	35	6.7%	86	17.4%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	411	78.3%	337	68.2%
3	その他	79	15.0%	71	14.4%
	合計	525	100.0%	494	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

大腸がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、男女とも「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が最も多く、それぞれ72.6%、65.6%を占めている。

それ以外の項目についても、男女ともに「毎年受けているから・受けていたから」、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」の順に回答が多くなっており、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

性別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから （自分で選んだわけではない）	387	72.6%	326	65.6%
2	定期健診のオプション検査としてあったから （自分で選んで受診）	53	9.9%	63	12.7%
3	毎年受けているから・受けていたから	151	28.3%	170	34.2%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	3	0.6%	11	2.2%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	43	8.1%	52	10.5%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	20	3.8%	21	4.2%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	21	3.9%	34	6.8%
8	医師に勧められたから	33	6.2%	30	6.0%
9	勤務先に勧められたから	10	1.9%	7	1.4%
10	家族や友人・知人に勧められたから	8	1.5%	10	2.0%
11	パンフレットやポスターなどを見て	1	0.2%	4	0.8%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	58	10.9%	89	17.9%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	0	0.0%
15	その他	11	2.1%	7	1.4%
	サンプル計	533	—	497	—



## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

大腸がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、男女とも「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が最も多くなっている。特に男性の回答割合は**49.0%**と半数近くを占めており、女性の**35.0%**を**10%**以上上回っている。

そのほかの項目についても、男女ともに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」、「検診・検査の案内がなかったから」、「検診に費用がかかるから」の順に回答が多くなっているように、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

性別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	179	49.0%	191	35.0%
2	検診・検査の案内がなかったから	62	17.0%	76	13.9%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	18	4.9%	13	2.4%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	46	12.6%	62	11.4%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	93	25.5%	157	28.8%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	43	11.8%	66	12.1%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	47	12.9%	66	12.1%
8	検診に費用がかかるから	56	15.3%	76	13.9%
9	検査方法が面倒だから	24	6.6%	49	9.0%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%	5	0.9%
11	検査内容が怖い・不快だから	13	3.6%	54	9.9%
12	がんが見つかるのが怖いから	15	4.1%	25	4.6%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	14	3.8%	19	3.5%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	24	6.6%	33	6.0%
16	その他	37	10.1%	68	12.5%
17	特に理由はない・何となく	29	7.9%	48	8.8%
	サンプル計	365	—	546	—

#### (4) 胃がん検診について

##### ア) 検診受診の有無

過去2年間の胃がん検診受診の有無(50歳以上が対象)をみると、男性では「受けた」が67.4%、女性では「受けた」が48.7%となっており、男性の受診割合が20%近く上回っている。

性別にみた胃がん検診の受診の有無

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	445	67.4%	347	48.7%
2	受けなかった	215	32.6%	365	51.3%
	合計	660	100.0%	712	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

##### イ) 検診を受けた機会

胃がん検診を受診した機会をみると、男女とも「勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診」が最も多くなっている。特に男性の回答割合は72.1%と高く、女性の56.7%を10%以上上回っている。

一方、「札幌市が実施する検診」は男性で6.6%、女性で17.2%となっており、女性の回答割合が男性よりも10%以上上回っている。

性別にみた検診を受けた機会

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	29	6.6%	58	17.2%
2	勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診	316	72.1%	191	56.7%
3	その他	93	21.2%	88	26.1%
	合計	438	100.0%	337	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

胃がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、男女とも「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が最も多くなっている。特に男性の回答割合は**58.3%**と6割近くとなっており、女性の**44.6%**を10%以上上回っている。

そのほかの項目についても、男女とも「毎年受けているから・受けていたから」、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」の回答割合が高くなっており、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

性別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから (自分で選んだわけではない)	259	58.3%	154	44.6%
2	定期健診のオプション検査としてあったから (自分で選んで受診)	78	17.6%	67	19.4%
3	毎年受けているから・受けていたから	145	32.7%	121	35.1%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	1	0.2%	3	0.9%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	36	8.1%	37	10.7%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	25	5.6%	40	11.6%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	22	5.0%	18	5.2%
8	医師に勧められたから	30	6.8%	40	11.6%
9	勤務先に勧められたから	8	1.8%	6	1.7%
10	家族や友人・知人に勧められたから	7	1.6%	5	1.4%
11	パンフレットやポスターなどを見て	1	0.2%	1	0.3%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	51	11.5%	70	20.3%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	0	0.0%
15	その他	10	2.3%	10	2.9%
	サンプル計	444	—	345	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

胃がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、男性では「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**45.6%**と最も多く、これに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**29.8%**と続いている。

一方、女性では「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**37.7%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**26.7%**と続いている。

そのほかの特徴的な傾向としては、女性の「検査内容が怖い・不快だから」の回答割合が**17.6%**と上位2項目に次いで高くなっており、男性の**7.4%**を**10%**以上上回っていることが挙げられる。

性別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	98	45.6%	97	26.7%
2	検診・検査の案内がなかったから	19	8.8%	31	8.5%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	9	4.2%	3	0.8%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	28	13.0%	38	10.5%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	64	29.8%	137	37.7%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	26	12.1%	35	9.6%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	22	10.2%	39	10.7%
8	検診に費用がかかるから	27	12.6%	47	12.9%
9	検査方法が面倒だから	14	6.5%	23	6.3%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	16	7.4%	64	17.6%
12	がんが見つかるのが怖いから	6	2.8%	16	4.4%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	3	1.4%	5	1.4%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	11	5.1%	12	3.3%
16	その他	21	9.8%	48	13.2%
17	特に理由はない・何となく	17	7.9%	38	10.5%
	サンプル計	215	—	363	—

(5) 子宮がん（子宮頸がん）検診について

(6) 乳がん検診について

子宮がん（子宮頸がん）検診及び乳がん検診については、対象が女性のみであるため、ここでは分析対象から外した。

(7) がん検診全般について

ア) がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験

がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験についてみると、男女とも「ある」が8割以上を占めている。回答割合は男性が82.5%、女性が88.0%となっており、女性の回答割合がやや高くなっている。

性別にみたがん検診受診を勧める情報を見聞きした経験

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ある	739	82.5%	1,191	88.0%
2	ない	157	17.5%	162	12.0%
	合計	896	100.0%	1,353	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

イ) がん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体

がん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体をみると、男女とも「テレビ・ラジオ」が最も多く、それぞれ53.5%、56.6%を占めている。

そのほかの項目についても、男女とも「検診案内のハガキ」、「広報さっぽろ」、「医療機関・薬局」の回答割合が高くなっている。ただし、このうち「検診案内のハガキ」については、男性が29.8%、女性が43.6%となっており、女性の回答割合が男性よりも10%以上上回っている。

性別にみたがん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	テレビ・ラジオ	393	53.5%	669	56.6%
2	検診案内のハガキ	219	29.8%	515	43.6%
3	広報さっぽろ	313	42.6%	477	40.4%
4	医療機関・薬局	223	30.4%	435	36.8%
5	札幌市の公式ホームページ	24	3.3%	45	3.8%
6	新聞・雑誌	150	20.4%	240	20.3%
7	公共施設（役所等）や交通機関（駅・電車・地下鉄・市電等）のポスター	101	13.8%	218	18.5%
8	インターネット（札幌市の公式ホームページ以外）	59	8.0%	101	8.6%
9	がん検診に関するイベント	35	4.8%	87	7.4%
10	その他	26	3.5%	64	5.4%
	サンプル計	734	—	1,181	—

(8) がんにかかった場合の対応等について

ア) がんにかかった場合の勤務継続意向

がんにかかった場合に働き続けたいかどうかについてみると、男女とも「働き続けたい／働き続けたかった」が最も多くなっている。特に男性の回答割合は**71.5%**と7割を超えており、女性の**58.5%**を10%以上上回っている。

性別にみたがんにかかった場合の勤務継続意向

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	働き続けたい／働き続けたかった	621	71.5%	755	58.5%
2	働き続けたくない／働き続けたくなかった	147	16.9%	232	18.0%
3	現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった	100	11.5%	304	23.5%
	合計	868	100.0%	1,291	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

イ) 職場環境

がんにかかっても働き続けることができる職場かどうかについて、「働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる」及び「働き続けられる職場だと思う・がんにかかった人はいないがそう思う」といった肯定的な意見は、男性で**60.8%**、女性で**41.4%**となっており、男性の回答割合が女性よりも**20%**近く上回っている。

性別にみた職場環境

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる	365	42.3%	352	28.0%
2	働き続けられる職場だと思う・がんにかかった人はいないがそう思う	160	18.5%	169	13.4%
3	働き続けるのは難しいと思う	131	15.2%	236	18.7%
4	わからない	120	13.9%	219	17.4%
5	現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった	87	10.1%	283	22.5%
	合計	863	100.0%	1,259	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) がんにかかった場合に働き続けることが難しいと考える理由

がんにかかった場合に「働き続けるのは難しいと思う」と回答した理由をみると、男女とも「治療と仕事の両立が体力的に難しいから」の回答割合が最も多く、それぞれ 52.7%、60.7%を占めている。

そのほかの項目についても、男女とも「がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから」、「治療・通院のために休むことが難しいから」などの回答割合が高くなっている。

そのほかの特徴的な傾向としては、「同僚等に負担・迷惑がかかるから」、「治療と仕事の両立が精神的に難しいから」などで女性の回答割合が高くなっていることが挙げられる。特に「同僚等に負担・迷惑がかかるから」は、男性で 31.0%、女性で 56.0%となっており、女性の回答割合が男性よりも 25%も上回っている。

性別にみたがんにかかった場合に働き続けることが難しいと考える理由（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから	60	46.5%	104	44.4%
2	長時間勤務や残業が必要な職場だから	46	35.7%	64	27.4%
3	仕事を代わってくれる人がいないから・頼みにくいから	47	36.4%	90	38.5%
4	治療・通院のために休むことが難しいから	60	46.5%	117	50.0%
5	同僚等に負担・迷惑がかかるから	40	31.0%	131	56.0%
6	治療と仕事の両立が体力的に難しいから	68	52.7%	142	60.7%
7	治療と仕事の両立が精神的に難しいから	41	31.8%	94	40.2%
8	治療に専念したいから	19	14.7%	40	17.1%
9	病人が働き続けることが難しい 雰囲気があるから	36	27.9%	68	29.1%
10	休むと職場での評価が下がるから	19	14.7%	25	10.7%
11	休むと退職する以上に収入が減るから	15	11.6%	17	7.3%
12	その他	5	3.9%	12	5.1%
	サンプル計	129	—	234	—

## エ) がんにかかった場合に希望する療養先

がんにかかった場合に希望する療養先をみると、男女とも「罹患したがんの専門病院」の回答割合が最も多く、それぞれ**31.4%**、**31.8%**となっている。

そのほかの項目についても、男女とも「自宅」、「大きな総合病院」の回答割合が高くなっているが、このうち「大きな総合病院」については、男性で**30.4%**、女性で**22.4%**となっており、男性の回答割合が女性よりもやや高くなっている。

性別にみたがんにかかった場合に希望する療養先

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	自宅	175	20.0%	292	22.4%
2	大きな総合病院	265	30.4%	289	22.2%
3	罹患したがんの専門病院	274	31.4%	414	31.8%
4	近隣の病院・診療所	36	4.1%	53	4.1%
5	介護施設	4	0.5%	2	0.2%
6	わからない	110	12.6%	229	17.6%
7	その他	9	1.0%	23	1.8%
	合計	873	100.0%	1,302	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## オ) 自宅療養を考えた場合の不安点

自宅療養を考えた場合の不安点をみると、男女とも「同居する家族に負担をかけてしまうこと」が**70%**台前半で最も多く、これに「何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと」が**50%**前後で続いている。

男女間の差が大きな項目としては、「炊事・洗濯・掃除など、身の回りのことを行う人がいないこと」が挙げられ、男性で**13.8%**、女性で**31.8%**となっており、女性の回答割合が男性よりも**20%**近く上回っている。

性別にみた自宅療養を考えた場合の不安点（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと	427	50.1%	631	48.5%
2	同居する家族に負担をかけてしまうこと	619	72.6%	940	72.2%
3	自宅療養にかかる費用負担が大きくなってしまうこと	293	34.3%	524	40.2%
4	一人暮らしまたは家族が留守がちで付き添ってくれる人がいないこと	138	16.2%	289	22.2%
5	炊事・洗濯・掃除など、身の回りのことを行う人がいないこと	118	13.8%	407	31.3%
6	自宅の構造や設備が療養に適していないこと	122	14.3%	189	14.5%
7	その他	10	1.2%	39	3.0%
8	特に不安に思うことはない	29	3.4%	43	3.3%
9	自宅で療養するつもりはない	24	2.8%	25	1.9%
	サンプル計	853	—	1,302	—



(9) がん患者支援に関する設問について

ア) がん相談支援センターの認知状況

がん相談支援センターの認知状況をみると、男女とも「知らなかった」が最も多く、それぞれ69.3%、68.4%を占めている。そのほかの項目についても、男女とも同程度の回答割合となっており、全体的な傾向に違いはみられない。

性別にみたがん相談支援センターの認知状況

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	知っており、利用したことがある	10	1.1%	19	1.4%
2	知っているが、利用したことはない	82	9.1%	132	9.8%
3	名前だけは知っているが、利用したことはない	185	20.5%	276	20.4%
4	知らなかった	624	69.3%	923	68.4%
	合計	901	100.0%	1,350	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

イ) 札幌市におけるがん検診の制度の認知状況

札幌市におけるがん検診の制度の認知状況をみると、男性では「知っていた」が44.0%となっているのに対して、女性では「知っていた」が54.9%となっており、女性の認知度が10%程度上回っている。

性別にみた札幌市におけるがん検診の制度の認知状況

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	知っていた	391	44.0%	734	54.9%
2	知らなかった	497	56.0%	604	45.1%
	合計	888	100.0%	1,338	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## ウ) 札幌市のがん検診の制度を知った媒体

札幌市のがん検診の制度を知っていた回答者に、情報を知った媒体を尋ねたところ、男性では「広報さっぽろ」が**66.1%**と最も多く、全体の**3分の2**を占めている。次いで「札幌市からののはがきやクーポン券など」が**33.1%**、「周知チラシ」が**16.5%**となっている。

一方、女性では「広報さっぽろ」が**57.0%**と最も多く、次いで「札幌市からののはがきやクーポン券など」が**52.9%**、「その他」が**12.3%**と続いている。

「広報さっぽろ」が最も多いのは、男女とも共通した傾向であるが、女性では「札幌市からののはがきやクーポン券など」も「広報さっぽろ」と並んで主要な情報入手の手段の**1つ**となっている傾向がうかがえる。

性別にみた札幌市のがん検診の制度を知った媒体（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	広報さっぽろ	252	66.1%	409	57.0%
2	札幌市の公式ホームページ	26	6.8%	34	4.7%
3	周知チラシ	63	16.5%	82	11.4%
4	がん検診に関するイベント	9	2.4%	34	4.7%
5	テレビ・ラジオ・新聞等	37	9.7%	66	9.2%
6	札幌市からののはがきやクーポン券など	127	33.3%	380	52.9%
7	その他	28	7.3%	88	12.3%
8	どの媒体で知ったかわからない・覚えていない	20	5.2%	37	5.2%
	サンプル計	381	—	718	—

## エ) 札幌市のがん検診の制度について知っている内容

札幌市のがん検診の制度について知っている内容をみると、男女とも「検診の対象となるがんの種類」、「検査内容」、「対象者の要件」、「検診にかかる費用」の順に回答割合が高くなっている。ただし、回答割合を男女間で比較すると、いずれの項目も女性の回答割合が高くなっている。特に「検診の対象となるがんの種類」、「対象者の要件」は女性の回答割合が男性よりも**10%以上**上回っているように、男女間での差が大きくなっている。

性別にみた札幌市のがん検診の制度について知っている内容（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	検診の対象となるがんの種類	228	59.5%	516	72.1%
2	検査内容	126	32.9%	258	36.0%
3	対象者の要件	92	24.0%	247	34.5%
4	検診にかかる費用	89	23.2%	213	29.7%
5	受診間隔	19	5.0%	96	13.4%
6	実施医療機関	61	15.9%	162	22.6%
7	その他	2	0.5%	14	2.0%
8	知っている項目はない	123	32.1%	123	17.2%
	サンプル計	383	—	716	—

## オ) がんについて知りたい情報

がんについて知りたい情報をみると、男女とも「がん検診の種類・費用・受診方法等」及び「がんの治療方法や費用」の回答割合が50%程度と高くなっている。

そのほかの項目についてみると、男性では「がん検診を受診できる病院・診療所」、「がんの予防方法」、「セカンドオピニオンの受け方」、「がんに関する相談窓口」の順に回答割合が高く、女性では「セカンドオピニオンの受け方」、「がん検診を受診できる病院・診療所」、「がん治療の副作用・副作用への対処法」、「がんの予防方法」の順に回答割合が高くなっており、男女間でやや順位が変動しているものの、全体的な傾向にあまり大きな違いはみられない。

性別にみたがんについて知りたい情報（複数回答）

		男性		女性	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	がんの予防方法	315	37.5%	393	31.3%
2	がん検診の種類・費用・受診方法等	427	50.8%	623	49.6%
3	がん検診を受診できる病院・診療所	334	39.8%	436	34.7%
4	乳・子宮がん検診無料クーポンの対象者・使い方	25	3.0%	404	32.2%
5	がんに関する相談窓口	243	28.9%	292	23.3%
6	がんの治療方法や費用	404	48.1%	621	49.5%
7	がん治療の副作用・副作用への対処法	226	26.9%	415	33.1%
8	がんにかかっても働き続けるための方法	162	19.3%	268	21.4%
9	実際にがんにかかった方の体験談など	76	9.0%	165	13.1%
10	自宅療養の方法	140	16.7%	274	21.8%
11	セカンドオピニオンの受け方	248	29.5%	486	38.7%
12	その他	11	1.3%	26	2.1%
13	わからない	48	5.7%	66	5.3%
14	知りたいことはない	38	4.5%	33	2.6%
	サンプル計	840	—	1,255	—

## 2. 3 就労状況別（就労の有無別）によるクロス集計

### （1）回答者自身について

#### ア）がんの罹患状況

就労あり、就労なしとも、「かかったことはない」が90%前後を占めているなど、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

就労の有無別にみたがんの罹患状況

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	かかったことはない	1,554	92.7%	482	87.3%
2	現在かかっており、治療継続中である	18	1.1%	17	3.1%
3	過去にかかったことがあるが、治療は終了している、または、経過観察中である	105	6.3%	53	9.6%
	合計	1,677	100.0%	552	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

#### イ）身の周りでのがんの罹患状況

就労あり、就労なしとも、「親戚（離れて住んでいてもあなたと血縁関係がある人々）」が最も多く、それぞれ57.6%、58.7%を占めている。そのほかの項目についても、男女とも「ご家族（あなたと日常的に同じ家に住んで暮らす方）」、「親しい友人・知人」が30%前後で続いており、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

就労の有無別にみた身の回りで、がんにかかったことのある人（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ご家族（あなたと日常的に同じ家に住んで暮らす方）	488	29.1%	166	30.1%
2	親戚（離れて住んでいてもあなたと血縁関係がある人々）	964	57.6%	324	58.7%
3	親しい友人・知人	467	27.9%	171	31.0%
4	その他	98	5.9%	29	5.3%
5	いない	212	12.7%	61	11.1%
6	わからない	23	1.4%	13	2.4%
	サンプル計	1,675	—	552	—

## ウ) 飲酒する頻度

週 1 回以上飲酒する機会についてみると、就労ありでは「ある」が 53.2%、就労なしでは「ない」が 62.6%となっており、就労ありの飲酒頻度が高くなる傾向がみられる。

就労の有無別にみた飲酒する頻度

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ある	894	53.2%	207	37.4%
2	ない	785	46.8%	346	62.6%
	合計	1,679	100.0%	553	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## エ) 喫煙習慣

喫煙習慣についてみると、就労あり、就労なしとも「喫煙したことがない」が最も多く、それぞれ 45.1%、53.9%となっている。そのほかの項目についても、就労あり、就労なしとも「禁煙した」、「喫煙している」と続いているように、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

就労の有無別にみた喫煙習慣

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	喫煙している	325	19.4%	77	14.0%
2	禁煙した	597	35.6%	177	32.1%
3	喫煙したことがない	757	45.1%	297	53.9%
	合計	1,679	100.0%	551	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## オ) 入院した経験

入院した経験についてみると、就労ありでは「ある」が 62.2%、就労なしでは「ある」が 71.9%となっており、就労なしの回答割合が就労ありと比べて 10%程度上回っている。

就労の有無別にみた入院した経験

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ある	1,043	62.2%	397	71.9%
2	ない	635	37.8%	155	28.1%
	合計	1,678	100.0%	552	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## (2) 肺がん検診について

### ア) 検診受診の有無

過去1年間の肺がん検診受診の有無(40歳以上が対象)をみると、就労ありでは「受けた」が66.0%、就労なしでは「受けた」が40.5%となっており、就労ありの受診割合が25%程度上回っている。

就労の有無別にみた肺がん検診の受診の有無

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	944	66.0%	199	40.5%
2	受けなかった	487	34.0%	292	59.5%
	合計	1,431	100.0%	491	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

肺がん検診を受診した機会をみると、就労あり、就労なしとも「勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診」が最も多くなっているのは共通しているが、その回答割合をみると、就労ありが89.5%と9割を占めているのに対して、就労なしは42.3%と4割程度にとどまっている。

一方、「札幌市が実施する検診」は就労ありで5.2%、就労なしで30.1%となっており、就労なしの回答割合が就労ありよりも20%以上上回っている。

就労の有無別にみた検診を受けた機会

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	49	5.2%	59	30.1%
2	勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診	836	89.5%	83	42.3%
3	その他	49	5.2%	54	27.6%
	合計	934	100.0%	196	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

肺がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、就労あり、就労なしとも「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が最も多くなっているが、その回答割合をみると、就労ありが**85.5%**となっているのに対して、就労なしでは**50.3%**にとどまっており、就労ありの回答割合が就労なしと比べて**30%以上上回っている**。

そのほかの項目については、就労あり、就労なしともに「毎年受けているから・受けていたから」、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」の順に回答が多くなっているが、全体的に就労なしの回答割合が高くなる傾向がみられる。特に「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」、「毎年受けているから・受けていたから」は就労なしの回答割合が就労ありよりも**10%以上上回っており**、両者の差が大きくなっている。

就労の有無別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから (自分で選んだわけではない)	805	85.5%	97	50.3%
2	定期健診のオプション検査としてあったから (自分で選んで受診)	52	5.5%	33	17.1%
3	毎年受けているから・受けていたから	296	31.5%	85	44.0%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	4	0.4%	5	2.6%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	45	4.8%	12	6.2%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	11	1.2%	3	1.6%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	23	2.4%	12	6.2%
8	医師に勧められたから	16	1.7%	17	8.8%
9	勤務先に勧められたから	29	3.1%	0	0.0%
10	家族や友人・知人に勧められたから	4	0.4%	3	1.6%
11	パンフレットやポスターなどを見て	2	0.2%	1	0.5%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	68	7.2%	35	18.1%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	1	0.1%	0	0.0%
15	その他	4	0.4%	11	5.7%
	サンプル計	941	—	193	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

肺がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、就労ありでは「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**46.6%**と最も多く、これに「検診・検査の案内がなかったから」が**23.3%**、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**23.3%**と続いている。

一方、就労なしでは、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**37.2%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**28.3%**、「検診に費用がかかるから」が**16.9%**と続いている。

就労ありと就労なしの回答割合を比較すると、就労ありでの回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が挙げられる。また、就労なしでの回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。

就労の有無別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	226	46.6%	82	28.3%
2	検診・検査の案内がなかったから	113	23.3%	48	16.6%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	21	4.3%	8	2.8%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	67	13.8%	36	12.4%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	108	22.3%	108	37.2%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	81	16.7%	26	9.0%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	50	10.3%	48	16.6%
8	検診に費用がかかるから	85	17.5%	49	16.9%
9	検査方法が面倒だから	12	2.5%	9	3.1%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	1	0.2%	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	16	3.3%	7	2.4%
12	がんが見つかるのが怖いから	24	4.9%	10	3.4%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	32	6.6%	16	5.5%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	45	9.3%	21	7.2%
16	その他	39	8.0%	24	8.3%
17	特に理由はない・何となく	31	6.4%	39	13.4%
	サンプル計	485	—	290	—



### (3) 大腸がん検診について

#### ア) 検診受診の有無

過去1年間の大腸がん検診受診の有無(40歳以上が対象)をみると、就労ありでは「受けた」が58.2%、就労なしでは「受けた」が39.1%となっており、就労ありの受診割合が20%近く上回っている。

就労の有無別にみた大腸がん検診の受診の有無

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	835	58.2%	193	39.1%
2	受けなかった	600	41.8%	301	60.9%
	合計	1,435	100.0%	494	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

#### イ) 検診を受けた機会

大腸がん検診を受診した機会をみると、就労あり、就労なしとも「勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診」が最も多くなっているが、その回答割合をみると就労ありが80.5%、就労なしが42.4%となっており、就労ありの回答割合が就労なしよりも40%近く上回っている。

一方、「札幌市が実施する検診」は就労ありで7.3%、就労なしで31.9%となっており、就労なしの回答割合が就労ありよりも20%以上上回っている。

就労の有無別にみた検診を受けた機会

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	60	7.3%	61	31.9%
2	勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診	660	80.5%	81	42.4%
3	その他	100	12.2%	49	25.7%
	合計	820	100.0%	191	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

大腸がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、就労あり、就労なしとも「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が最も多くなっているが、その回答割合をみると、就労ありが **75.7%** となっているのに対して、就労なしでは **40.5%** にとどまっており、就労ありの回答割合が就労なしと比べて **30%** 以上上回っている。

そのほかの項目については、就労あり、就労なしともに「毎年受けているから・受けていたから」、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」の順に回答が多くなっているが、全体的に就労なしの回答割合が高くなる傾向がみられる。特に「がんは早期発見が大切だと知っていたから」は就労なしの回答割合が就労ありよりも **10%** 以上上回っており、両者の差が大きくなっている。

就労の有無別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから （自分で選んだわけではない）	630	75.7%	77	40.5%
2	定期健診のオプション検査としてあったから （自分で選んで受診）	76	9.1%	40	21.1%
3	毎年受けているから・受けていたから	244	29.3%	74	38.9%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	7	0.8%	7	3.7%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	68	8.2%	26	13.7%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	25	3.0%	16	8.4%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	37	4.4%	18	9.5%
8	医師に勧められたから	40	4.8%	23	12.1%
9	勤務先に勧められたから	15	1.8%	1	0.5%
10	家族や友人・知人に勧められたから	12	1.4%	6	3.2%
11	パンフレットやポスターなどを見て	2	0.2%	3	1.6%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	94	11.3%	52	27.4%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	0	0.0%
15	その他	14	1.7%	4	2.1%
	サンプル計	832	—	190	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

大腸がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、就労ありでは「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が49.7%と最も多く、これに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が21.5%、「検診・検査の案内がなかったから」が16.8%と続いている。

一方、就労なしでは、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が39.3%と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が23.2%、「健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから」が15.4%と続いている。

就労ありと就労なしの回答割合を比較すると、就労ありでの回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が挙げられる。また、就労なしでの回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。

就労の有無別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	296	49.7%	69	23.2%
2	検診・検査の案内がなかったから	100	16.8%	35	11.7%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	24	4.0%	6	2.0%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	68	11.4%	35	11.7%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	128	21.5%	117	39.3%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	85	14.3%	22	7.4%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	64	10.7%	46	15.4%
8	検診に費用がかかるから	89	14.9%	40	13.4%
9	検査方法が面倒だから	47	7.9%	24	8.1%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	4	0.7%	1	0.3%
11	検査内容が怖い・不快だから	40	6.7%	25	8.4%
12	がんが見つかるのが怖いから	26	4.4%	12	4.0%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	20	3.4%	11	3.7%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	37	6.2%	18	6.0%
16	その他	61	10.2%	41	13.8%
17	特に理由はない・何となく	39	6.5%	38	12.8%
	サンプル計	596	—	298	—

#### (4) 胃がん検診について

##### ア) 検診受診の有無

過去1年間の胃がん検診受診の有無（50歳以上が対象）をみると、就労ありでは「受けた」が64.2%、就労なしでは「受けた」が44.0%となっており、就労ありの受診割合が10%以上上回っている。

就労の有無別にみた胃がん検診の受診の有無

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	598	64.2%	185	44.0%
2	受けなかった	334	35.8%	235	56.0%
	合計	932	100.0%	420	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

##### イ) 検診を受けた機会

胃がん検診を受診した機会をみると、就労ありでは、「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が74.3%と最も多くなっているが、就労なしでは36.1%にとどまっており、就労なしの回答割合が40%近く下回っている。

一方、「札幌市が実施する検診」は就労ありで7.0%、就労なしで25.6%となっており、就労なしの回答割合が就労ありよりも20%近く上回っている。

就労の有無別にみた検診を受けた機会

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	41	7.0%	46	25.6%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	436	74.3%	65	36.1%
3	その他	110	18.7%	69	38.3%
	合計	587	100.0%	180	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

胃がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、就労ありでは「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が**59.5%**と最も多く、これに「毎年受けているから・受けていたから」が**32.2%**、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」が**17.8%**と続いている。

一方、就労なしでは、「毎年受けているから・受けていたから」が**38.3%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が**29.5%**、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が**24.6%**で続いている。

就労ありと就労なしの回答割合を比較すると、就労ありでの回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が挙げられる。また、就労なしでの回答割合が特に高い項目として「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が挙げられる。

就労の有無別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから （自分で選んだわけではない）	355	59.5%	54	29.5%
2	定期健診のオプション検査としてあったから （自分で選んで受診）	106	17.8%	38	20.8%
3	毎年受けているから・受けていたから	192	32.2%	70	38.3%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	1	0.2%	3	1.6%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	45	7.5%	27	14.8%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	47	7.9%	17	9.3%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	29	4.9%	11	6.0%
8	医師に勧められたから	39	6.5%	30	16.4%
9	勤務先に勧められたから	12	2.0%	1	0.5%
10	家族や友人・知人に勧められたから	8	1.3%	4	2.2%
11	パンフレットやポスターなどを見て	2	0.3%	0	0.0%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	75	12.6%	45	24.6%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	0	0.0%
15	その他	14	2.3%	6	3.3%
	サンプル計	597	—	183	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

胃がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、就労ありでは「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が40.1%と最も多く、これに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が31.0%、「健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから」が14.8%と続いている。

一方、就労なしでは、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が40.4%と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が23.8%、「検査内容が怖い・不快だから」が15.7%と続いている。

就労ありと就労なしの回答割合を比較すると、就労ありでの回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」、「健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから」が挙げられる。また、就労なしでの回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。

就労の有無別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	133	40.1%	56	23.8%
2	検診・検査の案内がなかったから	25	7.5%	23	9.8%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	9	2.7%	2	0.9%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	39	11.7%	24	10.2%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	103	31.0%	95	40.4%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	49	14.8%	10	4.3%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	29	8.7%	30	12.8%
8	検診に費用がかかるから	47	14.2%	25	10.6%
9	検査方法が面倒だから	19	5.7%	18	7.7%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	41	12.3%	37	15.7%
12	がんが見つかるのが怖いから	12	3.6%	7	3.0%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	3	0.9%	4	1.7%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	10	3.0%	11	4.7%
16	その他	40	12.0%	27	11.5%
17	特に理由はない・何となく	25	7.5%	30	12.8%
	サンプル計	332	—	235	—

## (5) 子宮がん（子宮頸がん）検診について

### ア) 検診受診の有無

過去2年間の子宮がん（子宮頸がん）検診受診の有無（20歳以上の女性が対象）をみると、就労ありでは「受けた」が55.7%、就労なしでは「受けた」が47.2%となっており、就労ありの受診割合が10%近く上回っている。

就労の有無別にみた子宮がん検診の受診の有無

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	516	55.7%	191	47.2%
2	受けなかった	411	44.3%	214	52.8%
	合計	927	100.0%	405	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

子宮がん（子宮頸がん）検診を受診した機会をみると、就労ありでは、「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が41.6%と最も多くなっているが、就労なしでは25.3%にとどまっており、就労なしの回答割合が15%程度下回っている。

一方、「札幌市が実施する検診」は就労ありで26.3%、就労なしで38.2%となっており、就労なしの回答割合が就労ありよりも10%以上上回っている。

就労の有無別にみた検診を受けた機会

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	131	26.3%	71	38.2%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	207	41.6%	47	25.3%
3	その他	160	32.1%	68	36.6%
	合計	498	100.0%	186	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

子宮がん（子宮頸がん）検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、就労ありでは「毎年受けているから・受けていたから」が**34.6%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が**32.0%**、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が**28.7%**と続いている。

一方、就労なしでは、「毎年受けているから・受けていたから」が**43.9%**と最も多く、これに「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が**24.9%**、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」が**23.3%**と続いている。

就労ありと就労なしの回答割合を比較すると、就労ありでの回答割合が特に高い項目として「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」が挙げられる。また、就労なしでの回答割合が特に高い項目として「毎年受けているから・受けていたから」が挙げられる。

就労の有無別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから （自分で選んだわけではない）	74	14.5%	27	14.3%
2	定期健診のオプション検査としてあったから （自分で選んで受診）	164	32.0%	44	23.3%
3	毎年受けているから・受けていたから	177	34.6%	83	43.9%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	49	9.6%	12	6.3%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	101	19.7%	30	15.9%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	45	8.8%	17	9.0%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	39	7.6%	14	7.4%
8	医師に勧められたから	83	16.2%	33	17.5%
9	勤務先に勧められたから	10	2.0%	1	0.5%
10	家族や友人・知人に勧められたから	27	5.3%	8	4.2%
11	パンフレットやポスターなどを見て	4	0.8%	3	1.6%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	147	28.7%	47	24.9%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	0	0.0%
15	その他	47	9.2%	9	4.8%
	サンプル計	512	—	189	—



## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

子宮がん（子宮頸がん）検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、就労ありでは「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が **33.0%**と最も多く、これに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が **20.5%**、「検診に費用がかかるから」が **20.3%**と続いている。

一方、就労なしでは、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が **33.0%**と最も多く、これに「その他」が **21.2%**、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が **16.0%**、「検診に費用がかかるから」が **15.1%**と続いている。

就労ありと就労なしの回答割合を比較すると、就労ありでの回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」、「健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから」が挙げられる。また、就労なしでの回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。

就労の有無別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	135	33.0%	34	16.0%
2	検診・検査の案内がなかったから	70	17.1%	19	9.0%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	19	4.6%	6	2.8%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	32	7.8%	20	9.4%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	84	20.5%	70	33.0%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	64	15.6%	12	5.7%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	53	13.0%	22	10.4%
8	検診に費用がかかるから	83	20.3%	32	15.1%
9	検査方法が面倒だから	20	4.9%	9	4.2%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	64	15.6%	27	12.7%
12	がんが見つかるのが怖いから	11	2.7%	9	4.2%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	1	0.2%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	15	3.7%	4	1.9%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	26	6.4%	9	4.2%
16	その他	81	19.8%	45	21.2%
17	特に理由はない・何となく	33	8.1%	23	10.8%
	サンプル計	409	—	212	—

## (6) 乳がん検診について

### ア) 検診受診の有無

過去2年間の乳がん検診受診の有無(40歳以上の女性が対象)をみると、就労ありでは「受けた」が59.7%、就労なしでは「受けた」が49.0%となっており、就労ありの受診割合が10%程度上回っている。

就労の有無別にみた乳がん検診の受診の有無

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	412	59.7%	175	49.9%
2	受けなかった	278	40.3%	176	50.1%
	合計	690	100.0%	351	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

乳がん検診を受診した機会をみると、就労ありでは、「勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診」が48.8%と最も多くなっているのに対して、就労なしでは27.6%にとどまっており、就労なしの回答割合が20%以上下回っている。

一方、「札幌市が実施する検診」は就労ありで25.6%、就労なしで41.2%となっており、就労なしの回答割合が就労ありよりも15%以上上回っている。

就労の有無別にみた検診を受けた機会

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	103	25.6%	70	41.2%
2	勤務先又は健康保険組合等(家族の勤務先を含む)が実施した検診	196	48.8%	47	27.6%
3	その他	103	25.6%	53	31.2%
	合計	402	100.0%	170	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

乳がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、就労ありでは「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」及び「毎年受けているから・受けていたから」がそれぞれ 37.2%と最も多く、これに「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が 29.3%で続いており、これら 3 項目が回答の中心となっている。

一方、就労なしでは、「毎年受けているから・受けていたから」が 45.4%と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が 33.3%、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が 30.5%で続いており、順位にやや変動はあるものの、上位 3 項目については就労ありの場合と同様となっている。

就労ありと就労なしの回答割合を比較すると、就労ありでの回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が挙げられる。また、就労なしでの回答割合が特に高い項目として「毎年受けているから・受けていたから」が挙げられる。

就労の有無別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから (自分で選んだわけではない)	74	18.1%	17	9.8%
2	定期健診のオプション検査としてあったから (自分で選んで受診)	152	37.2%	58	33.3%
3	毎年受けているから・受けていたから	152	37.2%	79	45.4%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	49	12.0%	19	10.9%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	91	22.2%	33	19.0%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	23	5.6%	17	9.8%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	64	15.6%	25	14.4%
8	医師に勧められたから	25	6.1%	9	5.2%
9	勤務先に勧められたから	9	2.2%	0	0.0%
10	家族や友人・知人に勧められたから	20	4.9%	5	2.9%
11	パンフレットやポスターなどを見て	4	1.0%	3	1.7%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	120	29.3%	53	30.5%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	1	0.2%	1	0.6%
15	その他	29	7.1%	13	7.5%
	サンプル計	409	—	174	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

乳がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、就労ありでは「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**36.3%**と最も多く、これに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**22.7%**、「検診に費用がかかるから」が**20.9%**と続いている。

一方、就労なしでは、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**41.1%**と最も多く、これに「特に理由はない・何となく」が**16.6%**、「その他」が**16.0%**、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**15.4%**と続いている。

就労ありと就労なしの回答割合を比較すると、就労ありでの回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」、「健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから」、「検診に費用がかかるから」が挙げられる。また、就労なしでの回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。

就労の有無別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	101	36.3%	27	15.4%
2	検診・検査の案内がなかったから	26	9.4%	11	6.3%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	3	1.1%	0	0.0%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	29	10.4%	16	9.1%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	63	22.7%	72	41.1%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	49	17.6%	9	5.1%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	40	14.4%	21	12.0%
8	検診に費用がかかるから	58	20.9%	17	9.7%
9	検査方法が面倒だから	14	5.0%	8	4.6%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	40	14.4%	20	11.4%
12	がんが見つかるのが怖いから	11	4.0%	8	4.6%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	3	1.1%	3	1.7%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	19	6.8%	7	4.0%
16	その他	30	10.8%	28	16.0%
17	特に理由はない・何となく	29	10.4%	29	16.6%
	サンプル計	278	—	175	—

## (7) がん検診全般について

### ア) がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験

がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験についてみると、就労あり、就労なしとも「ある」が8割以上を占めている。回答割合は就労ありが85.3%、就労なしが88.3%となっており、就労なしの回答割合がやや高くなっている。

就労の有無別にみたがん検診受診を勧める情報を見聞きした経験

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ある	1,429	85.3%	481	88.3%
2	ない	247	14.7%	64	11.7%
	合計	1,676	100.0%	545	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) がん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体

がん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体をみると、就労あり、就労なしとも「テレビ・ラジオ」が50%台で最も多くなっているほか、「広報さっぽろ」、「検診案内のハガキ」、「医療機関・薬局」の回答割合が高くなっている。

このうち「広報さっぽろ」、「検診案内のハガキ」については、就労なしの回答割合が就労ありよりも10%近く上回っている。

就労の有無別にみたがん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	テレビ・ラジオ	805	56.8%	248	51.9%
2	検診案内のハガキ	508	35.9%	215	45.0%
3	広報さっぽろ	556	39.2%	228	47.7%
4	医療機関・薬局	502	35.4%	151	31.6%
5	札幌市の公式ホームページ	49	3.5%	20	4.2%
6	新聞・雑誌	282	19.9%	107	22.4%
7	公共施設（役所等）や交通機関（駅・電車・地下鉄・市電等）のポスター	243	17.1%	72	15.1%
8	インターネット（札幌市の公式ホームページ以外）	136	9.6%	24	5.0%
9	がん検診に関するイベント	100	7.1%	21	4.4%
10	その他	54	3.8%	35	7.3%
	サンプル計	1,417	—	478	—

(8) がんにかかった場合の対応等について

ア) がんにかかった場合の勤務継続意向

がんにかかった場合に働き続けたいかどうかについてみると、就労ありでは「働き続けたい／働き続けたかった」が 79.3%と最も多くなっているのに対して、就労なしでは「現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった」が 76.4%と最も多くなっている。

就労の有無別にみたがんにかかった場合の勤務継続意向

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	働き続けたい／働き続けたかった	1,290	79.3%	73	14.3%
2	働き続けたくない／働き続けたくなかった	328	20.2%	47	9.2%
3	現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった	8	0.5%	389	76.4%
合計		1,626	100.0%	509	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

イ) 職場環境

がんにかかっても働き続けることができる職場かどうかについて、「働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる」及び「働き続けられる職場だと思う・がんにかかった人はいないがそう思う」といった肯定的な意見は、就労ありで 60.1%と6割を占めている。

一方、就労なしでは「現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった」79.1%と8割程度を占めている。

就労の有無別にみた職場環境

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる	676	41.0%	35	7.8%
2	働き続けられる職場だと思う・がんにかかった人はいないがそう思う	315	19.1%	10	2.2%
3	働き続けるのは難しいと思う	349	21.2%	13	2.9%
4	わからない	300	18.2%	36	8.0%
5	現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった	8	0.5%	356	79.1%
合計		1,648	100.0%	450	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

#### ウ) がんにかかった場合に働き続けることが難しいと考える理由

がんにかかった場合に「働き続けるのは難しいと思う」と回答した理由をみると、就労ありでは「治療と仕事の両立が体力的に難しいから」の回答割合が 57.7%と 6 割近くを占めているほか、「治療・通院のために休むことが難しいから」、「同僚等に負担・迷惑がかかるから」、「がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから」が 4 割台後半を占めるなど、これら 4 項目の回答割合が高くなっている。

#### 就労の有無別にみたがんにかかった場合に働き続けることが難しいと考える理由（複数回答）

		就労あり		就労なし <sup>※</sup>	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから	158	45.8%	4	30.8%
2	長時間勤務や残業が必要な職場だから	106	30.7%	3	23.1%
3	仕事を代わってくれる人がいないから・頼みにくいから	131	38.0%	2	15.4%
4	治療・通院のために休むことが難しいから	167	48.4%	6	46.2%
5	同僚等に負担・迷惑がかかるから	165	47.8%	2	15.4%
6	治療と仕事の両立が体力的に難しいから	199	57.7%	8	61.5%
7	治療と仕事の両立が精神的に難しいから	127	36.8%	5	38.5%
8	治療に専念したいから	54	15.7%	3	23.1%
9	病人が働き続けることが難しい 雰囲気があるから	96	27.8%	5	38.5%
10	休むと職場での評価が下がるから	41	11.9%	1	7.7%
11	休むと退職する以上に収入が減るから	31	9.0%	1	7.7%
12	その他	16	4.6%	0	0.0%
	サンプル計	345	—	13	—

※就労なしのサンプル数が 13 にとどまっているため、ここでは就労なしの場合の回答割合について、参考値として掲載した。

## エ) がんにかかった場合に希望する療養先

がんにかかった場合に希望する療養先をみると、就労あり、就労なしとも「罹患したがんの専門病院」の回答割合が最も多く、それぞれ**31.7%**、**32.2%**となっている。

そのほかの項目についても、就労あり、就労なしとも「自宅」「大きな総合病院」の回答割合が高くなっているが、このうち「自宅」については、就労ありで**23.7%**、就労なしで**14.7%**となっており、就労のありの回答割合が就労なしよりもやや高くなっている。

就労の有無別にみたがんにかかった場合に希望する療養先

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	自宅	384	23.7%	77	14.7%
2	大きな総合病院	408	25.2%	138	26.3%
3	罹患したがんの専門病院	514	31.7%	169	32.2%
4	近隣の病院・診療所	58	3.6%	28	5.3%
5	介護施設	3	0.2%	3	0.6%
6	わからない	230	14.2%	102	19.4%
7	その他	24	1.5%	8	1.5%
	合計	1,621	100.0%	525	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## オ) 自宅療養を考えた場合の不安点

自宅療養を考えた場合の不安点をみると、就労あり、就労なしとも「同居する家族に負担をかけてしまうこと」が**70%**台前半で最も多く、これに「何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと」が**50%**近くで続いているなど、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

就労の有無別にみた自宅療養を考えた場合の不安点（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと	802	49.8%	244	47.1%
2	同居する家族に負担をかけてしまうこと	1,179	73.2%	364	70.3%
3	自宅療養にかかる費用負担が大きくなってしま うこと	643	39.9%	166	32.0%
4	一人暮らしまたは家族が留守がちで付き添って くれる人がいないこと	329	20.4%	95	18.3%
5	炊事・洗濯・掃除など、身の回りのことを行う人 がいないこと	381	23.6%	140	27.0%
6	自宅の構造や設備が療養に適していないこと	241	15.0%	67	12.9%
7	その他	35	2.2%	11	2.1%
8	特に不安に思うことはない	55	3.4%	17	3.3%
9	自宅で療養するつもりはない	23	1.4%	24	4.6%
	サンプル計	1,611	—	518	—



(9) がん患者支援に関する質問について

ア) がん相談支援センターの認知状況

がん相談支援センターの認知状況をみると、就労あり、就労なしとも「知らなかった」が最も多く、それぞれ 69.2%、67.0%を占めている。そのほかの項目についても、就労あり、就労なしとも「名前だけは知っているが、利用したことはない」、「知っているが、利用したことはない」、「知っており、利用したことがある」の順に回答割合が高くなっており、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

就労の有無別にみたがん相談支援センターの認知状況

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	知っており、利用したことがある	19	1.1%	10	1.8%
2	知っているが、利用したことはない	176	10.5%	35	6.4%
3	名前だけは知っているが、利用したことはない	322	19.2%	135	24.8%
4	知らなかった	1,160	69.2%	365	67.0%
	合計	1,677	100.0%	545	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

イ) 札幌市におけるがん検診の制度の認知状況

札幌市におけるがん検診の制度の認知状況をみると、就労ありでは「知っていた」が46.1%となっているのに対して、就労なしでは「知っていた」が64.8%となっており、就労なしの場合の認知度が20%近く上回っている。

就労の有無別にみた札幌市におけるがん検診の制度の認知状況

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	知っていた	766	46.1%	348	64.8%
2	知らなかった	894	53.9%	189	35.2%
	合計	1,660	100.0%	537	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## ウ) 札幌市のがん検診の制度を知った媒体

札幌市のがん検診の制度を知っていた回答者に、情報を知った媒体を尋ねたところ、就労あり、就労なしとも「広報さっぽろ」が最も多く、それぞれ**59.1%**、**62.4%**となっている。そのほかの項目についても、就労あり、就労なしとも「札幌市からののがきやクーポン券など」、「周知チラシ」の順に回答割合が高くなっており、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

就労の有無別にみた札幌市のがん検診の制度を知った媒体（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	広報さっぽろ	444	59.1%	211	62.4%
2	札幌市の公式ホームページ	49	6.5%	11	3.3%
3	周知チラシ	97	12.9%	48	14.2%
4	がん検診に関するイベント	26	3.5%	16	4.7%
5	テレビ・ラジオ・新聞等	70	9.3%	33	9.8%
6	札幌市からののがきやクーポン券など	347	46.2%	155	45.9%
7	その他	73	9.7%	42	12.4%
8	どの媒体で知ったかわからない・覚えていない	42	5.6%	13	3.8%
	サンプル計	751	—	338	—

## エ) 札幌市のがん検診の制度について知っている内容

札幌市のがん検診の制度について知っている内容をみると、就労ありでは「検診の対象となるがんの種類」が**64.4%**と最も多く、これに「検査内容」が**32.3%**、「対象者の要件」が**30.8%**と続いている。

一方、就労なしでは「検診の対象となるがんの種類」が**75.3%**と最も多く、これに「検査内容」が**40.8%**、「検診にかかる費用」が**34.8%**と続いている。

全体的に就労なしの回答割合が高くなる傾向がみられ、特に「検診の対象となるがんの種類」、「検診にかかる費用」は回答割合が**10%**程度上回っているように、両者の差が大きくなっている。

就労の有無別にみた札幌市のがん検診の制度について知っている内容（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	検診の対象となるがんの種類	485	64.4%	253	75.3%
2	検査内容	243	32.3%	137	40.8%
3	対象者の要件	232	30.8%	104	31.0%
4	検診にかかる費用	184	24.4%	117	34.8%
5	受診間隔	72	9.6%	43	12.8%
6	実施医療機関	135	17.9%	85	25.3%
7	その他	12	1.6%	4	1.2%
8	知っている項目はない	187	24.8%	58	17.3%
	サンプル計	753	—	336	—

### オ) がんについて知りたい情報

がんについて知りたい情報をみると、就労ありでは、「がん検診の種類・費用・受診方法等」が**52.7%**と最も多く、これに「がんの治療方法や費用」が**50.1%**、「がん検診を受診できる病院・診療所」が**38.5%**、「セカンドオピニオンの受け方」が**34.3%**と続いている。

一方、就労なしでは、「がんの治療方法や費用」が**52.7%**と最も多く、これに「がん検診の種類・費用・受診方法等」が**42.5%**、「セカンドオピニオンの受け方」が**37.9%**、「がんの予防方法」が**32.4%**と続いている。

全体的に就労ありの回答割合が高くなる傾向がみられ、特に「がんにかかっても働き続けるための方法」、「がん検診の種類・費用・受診方法等」は回答割合が**10%**以上上回っているように、両者の差が大きくなっている。

就労の有無別にみたがんについて知りたい情報（複数回答）

		就労あり		就労なし	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	がんの予防方法	538	34.2%	160	32.4%
2	がん検診の種類・費用・受診方法等	829	52.7%	210	42.5%
3	がん検診を受診できる病院・診療所	606	38.5%	152	30.8%
4	乳・子宮がん検診無料クーポンの対象者・使い方	330	21.0%	92	18.6%
5	がんに関する相談窓口	424	27.0%	106	21.5%
6	がんの治療方法や費用	788	50.1%	228	46.2%
7	がん治療の副作用・副作用への対処法	484	30.8%	151	30.6%
8	がんにかかっても働き続けるための方法	392	24.9%	32	6.5%
9	実際にがんにかかった方の体験談など	187	11.9%	52	10.5%
10	自宅療養の方法	315	20.0%	94	19.0%
11	セカンドオピニオンの受け方	540	34.3%	187	37.9%
12	その他	21	1.3%	15	3.0%
13	わからない	75	4.8%	34	6.9%
14	知りたいことはない	51	3.2%	20	4.0%
	サンプル計	1,573	—	494	—

## 2. 4 医療保険の種類別（国民健康保険と国民健康保険以外）によるクロス集計

### （1）回答者自身について

#### ア）がんの罹患状況

国民健康保険、国民健康保険以外とも、「かかったことはない」が90%前後を占めているなど、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

医療保険の種類別にみたがんの罹患状況

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	かかったことはない	471	87.5%	1,499	92.4%
2	現在かかっており、治療継続中である	13	2.4%	21	1.3%
3	過去にかかったことがあるが、治療は終了している、または、経過観察中である	54	10.0%	103	6.3%
	合計	538	100.0%	1,623	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

#### イ）身の周りでのがんの罹患状況

国民健康保険、国民健康保険以外とも、「親戚（離れて住んでいてもあなたと血縁関係がある人々）」が最も多く、それぞれ51.0%、60.7%を占めている。そのほかの項目についても、医療保険の種類別にかかわらず「ご家族（あなたと日常的に同じ家に住んで暮らす方）」、「親しい友人・知人」が20～30%台で続いており、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

医療保険の種類別にみた身の回りで、がんにかかったことのある人（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ご家族（あなたと日常的に同じ家に住んで暮らす方）	204	37.8%	422	26.1%
2	親戚（離れて住んでいてもあなたと血縁関係がある人々）	275	51.0%	982	60.7%
3	親しい友人・知人	173	32.1%	453	28.0%
4	その他	30	5.6%	96	5.9%
5	いない	63	11.7%	195	12.0%
6	わからない	10	1.9%	22	1.4%
	サンプル計	539	—	1,619	—

## ウ) 飲酒する頻度

週 1 回以上飲酒する機会についてみると、国民健康保険では「ある」が 47.3%、国民健康保険以外では「ある」が 50.8%となっており、両者の間に大きな違いはみられない。

医療保険の種類別にみた飲酒する頻度

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ある	255	47.3%	826	50.8%
2	ない	284	52.7%	799	49.2%
	合計	539	100.0%	1,625	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## エ) 喫煙習慣

喫煙習慣についてみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「喫煙したことがない」が最も多く、それぞれ 45.6%、47.4%となっている。そのほかの項目についても、国民健康保険、国民健康保険以外とも「禁煙した」、「喫煙している」と続いているように、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

医療保険の種類別にみた喫煙習慣

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	喫煙している	88	16.3%	297	18.3%
2	禁煙した	205	38.0%	556	34.3%
3	喫煙したことがない	246	45.6%	770	47.4%
	合計	539	100.0%	1,623	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## オ) 入院した経験

入院した経験についてみると、国民健康保険では「ある」が 70.4%、国民健康保険以外では「ある」が 63.1%となっており、国民健康保険の回答割合が国民健康保険以外と比べてやや高くなっている。

医療保険の種類別にみた入院した経験

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ある	379	70.4%	1,025	63.1%
2	ない	159	29.6%	599	36.9%
	合計	538	100.0%	1,624	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## (2) 肺がん検診について

### ア) 検診受診の有無

過去 1 年間の肺がん検診受診の有無（40 歳以上が対象）をみると、国民健康保険では「受けた」が 40.8%、国民健康保険以外では「受けた」が 66.6%となっており、国民健康保険の受診割合が 25%以上上回っている。

医療保険の種類別にみた肺がん検診の受診の有無

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	199	40.8%	929	66.6%
2	受けなかった	289	59.2%	465	33.4%
	合計	488	100.0%	1,394	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

肺がん検診を受診した機会をみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が最も多くなっているのは共通しているが、その回答割合をみると、国民健康保険以外が 90.2%と 9 割を占めているのに対して、国民健康保険以外は 42.1%と 4 割程度にとどまっている。

一方、「札幌市が実施する検診」は国民健康保険で 36.0%、国民健康保険以外で 3.7%となっており、国民健康保険の回答割合が国民健康保険以外よりも 30%以上上回っている。

医療保険の種類別にみた検診を受けた機会

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	71	36.0%	34	3.7%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	83	42.1%	828	90.2%
3	その他	43	21.8%	56	6.1%
	合計	197	100.0%	918	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

肺がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が最も多くなっているが、その回答割合をみると、国民健康保険以外が**84.1%**となっているのに対して、国民健康保険では**56.9%**にとどまっており、国民健康保険以外の回答割合が国民健康保険と比べて**30%**近く上回っている。

そのほかの項目については、国民健康保険、国民健康保険以外ともに「毎年受けているから・受けていたから」、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」の回答割合が高くなっているが、全体的に国民健康保険の回答割合が高くなる傾向がみられる。特に「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」は国民健康保険の回答割合が国民健康保険以外よりも**10%**以上上回っており、両者の差が大きくなっている。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから (自分で選んだわけではない)	111	56.9%	778	84.1%
2	定期健診のオプション検査としてあったから (自分で選んで受診)	33	16.9%	51	5.5%
3	毎年受けているから・受けていたから	77	39.5%	300	32.4%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	4	2.1%	4	0.4%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	14	7.2%	43	4.6%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	4	2.1%	10	1.1%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	8	4.1%	25	2.7%
8	医師に勧められたから	15	7.7%	18	1.9%
9	勤務先に勧められたから	6	3.1%	23	2.5%
10	家族や友人・知人に勧められたから	3	1.5%	4	0.4%
11	パンフレットやポスターなどを見て	0	0.0%	3	0.3%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	29	14.9%	74	8.0%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	1	0.1%
15	その他	6	3.1%	9	1.0%
	サンプル計	195	—	925	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

肺がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、国民健康保険では「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**35.8%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**29.5%**、「検診に費用がかかるから」が**17.4%**と続いている。

一方、国民健康保険以外では、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**45.7%**と最も多く、これに「検診・検査の案内がなかったから」が**23.6%**、「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**23.4%**と続いている。

国民健康保険と国民健康保険以外の回答割合を比較すると、国民健康保険での回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。また、国民健康保険以外での回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が挙げられる。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	85	29.5%	211	45.7%
2	検診・検査の案内がなかったから	42	14.6%	109	23.6%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	11	3.8%	19	4.1%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	38	13.2%	64	13.9%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	103	35.8%	108	23.4%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	33	11.5%	69	14.9%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	42	14.6%	55	11.9%
8	検診に費用がかかるから	50	17.4%	78	16.9%
9	検査方法が面倒だから	9	3.1%	9	1.9%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	1	0.3%	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	9	3.1%	13	2.8%
12	がんが見つかるのが怖いから	20	6.9%	13	2.8%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	15	5.2%	32	6.9%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	26	9.0%	36	7.8%
16	その他	21	7.3%	42	9.1%
17	特に理由はない・何となく	37	12.8%	33	7.1%
	サンプル計	288	—	462	—



### (3) 大腸がん検診について

#### ア) 検診受診の有無

過去 1 年間の大腸がん検診受診の有無（40 歳以上が対象）をみると、国民健康保険では「受けた」が 35.8%、国民健康保険以外では「受けた」が 60.1%となっており、国民健康保険の受診割合が 25%近く下回っている。

医療保険の種類別にみた大腸がん検診の受診の有無

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	176	35.8%	840	60.1%
2	受けなかった	316	64.2%	558	39.9%
	合計	492	100.0%	1,398	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

#### イ) 検診を受けた機会

大腸がん検診を受診した機会をみると、国民健康保険では「札幌市が実施する検診」が 43.0%と最も多く、国民健康保険以外の 5.3%を 40%近く上回っている。

一方、国民健康保険以外では「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が 82.5%と最も多くなっている。

医療保険の種類別にみた検診を受けた機会

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	74	43.0%	44	5.3%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	50	29.1%	682	82.5%
3	その他	48	27.9%	101	12.2%
	合計	172	100.0%	827	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

大腸がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が最も多くなっているが、その回答割合をみると、国民健康保険以外が **75.6%** となっているのに対して、国民健康保険では **38.2%** にとどまっており、国民健康保険以外の回答割合が国民健康保険と比べて **30%以上上回っている**。

そのほかの項目については、国民健康保険、国民健康保険以外ともに「毎年受けているから・受けていたから」、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」の順に回答が多くなっているが、全体的に国民健康保険の回答割合が高くなる傾向がみられる。特に「毎年受けているから・受けていたから」、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」は国民健康保険の回答割合が国民健康保険以外よりも **10%以上上回っており**、両者の差が大きくなっている。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから (自分で選んだわけではない)	66	38.2%	633	75.6%
2	定期健診のオプション検査としてあったから (自分で選んで受診)	43	24.9%	73	8.7%
3	毎年受けているから・受けていたから	65	37.6%	250	29.9%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	8	4.6%	5	0.6%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	26	15.0%	68	8.1%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	16	9.2%	25	3.0%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	11	6.4%	44	5.3%
8	医師に勧められたから	23	13.3%	39	4.7%
9	勤務先に勧められたから	3	1.7%	13	1.6%
10	家族や友人・知人に勧められたから	7	4.0%	9	1.1%
11	パンフレットやポスターなどを見て	1	0.6%	4	0.5%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	45	26.0%	101	12.1%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	0	0.0%
15	その他	7	4.0%	11	1.3%
	サンプル計	173	—	837	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

大腸がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、国民健康保険では「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**36.1%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**29.4%**、「健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから」が**14.7%**と続いている。

一方、国民健康保険以外では、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**47.1%**と最も多く、これに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**22.9%**、「検診・検査の案内がなかったから」が**16.2%**と続いている。

国民健康保険と国民健康保険以外の回答割合を比較すると、国民健康保険での回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。また、国民健康保険以外での回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が挙げられる。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	92	29.4%	261	47.1%
2	検診・検査の案内がなかったから	32	10.2%	90	16.2%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	7	2.2%	22	4.0%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	40	12.8%	63	11.4%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	113	36.1%	127	22.9%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	26	8.3%	79	14.3%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	46	14.7%	63	11.4%
8	検診に費用がかかるから	41	13.1%	84	15.2%
9	検査方法が面倒だから	24	7.7%	44	7.9%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	2	0.6%	3	0.5%
11	検査内容が怖い・不快だから	21	6.7%	43	7.8%
12	がんが見つかるのが怖いから	19	6.1%	19	3.4%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	6	1.9%	25	4.5%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	20	6.4%	30	5.4%
16	その他	35	11.2%	68	12.3%
17	特に理由はない・何となく	38	12.1%	37	6.7%
	サンプル計	313	—	554	—

#### (4) 胃がん検診について

##### ア) 検診受診の有無

過去 1 年間の胃がん検診受診の有無（50 歳以上が対象）をみると、国民健康保険では「受けた」が 43.6%、国民健康保険以外では「受けた」が 64.8%となっており、国民健康保険の受診割合が 20%以上下回っている。

医療保険の種類別にみた胃がん検診の受診の有無

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	181	43.6%	596	64.8%
2	受けなかった	234	56.4%	324	35.2%
	合計	415	100.0%	920	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

##### イ) 検診を受けた機会

胃がん検診を受診した機会をみると、国民健康保険以外では、「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が 77.0%と最も多くなっているが、国民健康保険では 25.9%にとどまっており、国民健康保険の回答割合が 50 以上下回っている。

一方、「札幌市が実施する検診」は国民健康保険で 35.1%、国民健康保険以外で 4.3%となっており、国民健康保険の回答割合が国民健康保険以外よりも 30%以上上回っている。

医療保険の種類別にみた検診を受けた機会

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	61	35.1%	25	4.3%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	45	25.9%	452	77.0%
3	その他	68	39.1%	110	18.7%
	合計	174	100.0%	587	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

## ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

胃がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、国民健康保険では「毎年受けているから・受けていたから」が**38.7%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が**26.0%**、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が**22.1%**で続いている。

一方、国民健康保険以外では、「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が**60.4%**と最も多く、これに「毎年受けているから・受けていたから」が**32.2%**、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」が**18.0%**と続いている。

国民健康保険と国民健康保険以外の回答割合を比較すると、国民健康保険での回答割合が特に高い項目として「医師に勧められたから」が挙げられる。また、国民健康保険以外での回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が挙げられる。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから (自分で選んだわけではない)	47	26.0%	358	60.4%
2	定期健診のオプション検査としてあったから (自分で選んで受診)	37	20.4%	107	18.0%
3	毎年受けているから・受けていたから	70	38.7%	191	32.2%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	3	1.7%	1	0.2%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	26	14.4%	47	7.9%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	21	11.6%	41	6.9%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	10	5.5%	30	5.1%
8	医師に勧められたから	28	15.5%	39	6.6%
9	勤務先に勧められたから	2	1.1%	11	1.9%
10	家族や友人・知人に勧められたから	3	1.7%	8	1.3%
11	パンフレットやポスターなどを見て	2	1.1%	0	0.0%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	40	22.1%	80	13.5%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	0	0.0%
15	その他	7	3.9%	13	2.2%
	サンプル計	181	—	593	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

胃がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、国民健康保険では「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**41.0%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**29.1%**、「健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから」及び「特に理由はない・何となく」がそれぞれ**12.8%**と続いている。

一方、国民健康保険以外では、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**37.9%**と最も多く、これに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**30.7%**、「検査内容が怖い・不快だから」が**14.9%**と続いている。

国民健康保険と国民健康保険以外の回答割合を比較すると、国民健康保険での回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。また、国民健康保険以外での回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が挙げられる。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	68	29.1%	122	37.9%
2	検診・検査の案内がなかったから	18	7.7%	25	7.8%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	4	1.7%	7	2.2%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	29	12.4%	33	10.2%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	96	41.0%	99	30.7%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	25	10.7%	32	9.9%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	30	12.8%	29	9.0%
8	検診に費用がかかるから	29	12.4%	42	13.0%
9	検査方法が面倒だから	15	6.4%	19	5.9%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	29	12.4%	48	14.9%
12	がんが見つかるのが怖いから	12	5.1%	9	2.8%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	2	0.9%	5	1.6%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	13	5.6%	9	2.8%
16	その他	24	10.3%	44	13.7%
17	特に理由はない・何となく	30	12.8%	25	7.8%
	サンプル計	234	—	322	—

## (5) 子宮がん（子宮頸がん）検診について

### ア) 検診受診の有無

過去2年間の子宮がん（子宮頸がん）検診受診の有無（20歳以上の女性が対象）をみると、国民健康保険では「受けた」が38.4%、国民健康保険以外では「受けた」が59.0%となっており、国民健康保険の受診割合が20%以上下回っている。

医療保険の種類別にみた子宮がん検診の受診の有無

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	124	38.4%	568	59.0%
2	受けなかった	199	61.6%	395	41.0%
	合計	323	100.0%	963	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

子宮がん（子宮頸がん）検診を受診した機会をみると、国民健康保険では「札幌市が実施する検診」が53.7%と最も多く、国民健康保険以外の24.3%を30%近く上回っている。

一方、国民健康保険以外では「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が42.2%と最も多くなっている。

医療保険の種類別にみた検診を受けた機会

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	65	53.7%	133	24.3%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	18	14.9%	231	42.2%
3	その他	38	31.4%	184	33.6%
	合計	121	100.0%	548	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

子宮がん（子宮頸がん）検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、国民健康保険では「毎年受けているから・受けていたから」が**40.7%**と最も多く、これに「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」及び「がんは早期発見が大切だと知っていたから」がそれぞれ**26.8%**と続いている。

一方、国民健康保険以外では、「毎年受けているから・受けていたから」が**36.9%**と最も多く、これに「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」が**30.0%**、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が**28.1%**と続いている。

国民健康保険と国民健康保険以外の回答割合を比較すると、全体的に国民健康保険以外の回答割合が高くなる傾向がみられるが、両者の差が**10%**を超えるような項目はみられず、それほど大きな違いはみられない。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから （自分で選んだわけではない）	12	9.8%	89	15.8%
2	定期健診のオプション検査としてあったから （自分で選んで受診）	33	26.8%	169	30.0%
3	毎年受けているから・受けていたから	50	40.7%	208	36.9%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	11	8.9%	47	8.3%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	21	17.1%	111	19.7%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	13	10.6%	48	8.5%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	10	8.1%	43	7.6%
8	医師に勧められたから	15	12.2%	97	17.2%
9	勤務先に勧められたから	2	1.6%	9	1.6%
10	家族や友人・知人に勧められたから	3	2.4%	32	5.7%
11	パンフレットやポスターなどを見て	1	0.8%	6	1.1%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	33	26.8%	158	28.1%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	0	0.0%
15	その他	8	6.5%	49	8.7%
	サンプル計	123	—	563	—



## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

子宮がん（子宮頸がん）検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、国民健康保険では「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**33.7%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**22.6%**、「その他」が**20.1%**、「検診に費用がかかるから」が**15.1%**と続いている。

一方、国民健康保険以外では、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**30.7%**と最も多く、これに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**21.7%**、「その他」が**20.2%**、「検診に費用がかかるから」が**19.2%**と続いている。

国民健康保険と国民健康保険以外の回答割合を比較すると、国民健康保険での回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が挙げられる。また、国民健康保険以外での回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	45	22.6%	120	30.7%
2	検診・検査の案内がなかったから	18	9.0%	61	15.6%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	4	2.0%	17	4.3%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	14	7.0%	31	7.9%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	67	33.7%	85	21.7%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	15	7.5%	58	14.8%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	22	11.1%	52	13.3%
8	検診に費用がかかるから	32	16.1%	75	19.2%
9	検査方法が面倒だから	8	4.0%	21	5.4%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	26	13.1%	63	16.1%
12	がんが見つかるのが怖いから	9	4.5%	12	3.1%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	1	0.3%
14	検診・検査があることを知らなかったから	8	4.0%	8	2.0%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	12	6.0%	18	4.6%
16	その他	40	20.1%	79	20.2%
17	特に理由はない・何となく	22	11.1%	34	8.7%
	サンプル計	199	—	391	—

## (6) 乳がん検診について

### ア) 検診受診の有無

過去 2 年間の乳がん検診受診の有無（40 歳以上の女性が対象）をみると、国民健康保険では「受けた」が 40.9%、国民健康保険以外では「受けた」が 62.1%となっており、国民健康保険の受診割合が 20%以上上回っている。

医療保険の種類別にみた乳がん検診の受診の有無

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	受けた	114	40.9%	462	62.1%
2	受けなかった	165	59.1%	282	37.9%
	合計	279	100.0%	744	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### イ) 検診を受けた機会

乳がん検診を受診した機会をみると、国民健康保険では「札幌市が実施する検診」が 52.3%と最も多く、国民健康保険以外の 24.3%を 30%近く上回っている。

一方、国民健康保険以外では「勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診」が 50.6%と最も多くなっている。

医療保険の種類別にみた検診を受けた機会

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	札幌市が実施する検診	58	52.3%	109	24.3%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	15	13.5%	227	50.6%
3	その他	38	34.2%	113	25.2%
	合計	111	100.0%	449	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### ウ) 検診・検査を受診した理由・きっかけ

乳がん検診の検診・検査を受診した理由・きっかけをみると、「毎年受けているから・受けていたから」が**46.0%**と最も多く、これに「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が**34.5%**、「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」が**31.9%**と続いており、これら**3**項目が回答の中心となっている。

一方、国民健康保険以外では、「毎年受けているから・受けていたから」が**38.9%**と最も多く、これに「定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）」が**37.2%**、「がんは早期発見が大切だと知っていたから」が**28.0%**で続いており、順位にやや変動はあるものの、上位**3**項目については国民健康保険の場合と同様となっている。

国民健康保険と国民健康保険以外の回答割合を比較すると、両者の差が**10%**を超えるような項目はみられないが、国民健康保険での回答割合が特に高い項目として「毎年受けているから・受けていたから」が挙げられる。また、国民健康保険以外での回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）」が挙げられる。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから (自分で選んだわけではない)	11	9.7%	79	17.2%
2	定期健診のオプション検査としてあったから (自分で選んで受診)	36	31.9%	171	37.2%
3	毎年受けているから・受けていたから	52	46.0%	179	38.9%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	10	8.8%	53	11.5%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	21	18.6%	100	21.7%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	7	6.2%	34	7.4%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	20	17.7%	67	14.6%
8	医師に勧められたから	12	10.6%	22	4.8%
9	勤務先に勧められたから	0	0.0%	9	2.0%
10	家族や友人・知人に勧められたから	3	2.7%	21	4.6%
11	パンフレットやポスターなどを見て	2	1.8%	5	1.1%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	39	34.5%	129	28.0%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%	2	0.4%
15	その他	12	10.6%	30	6.5%
	サンプル計	113	—	460	—

## エ) 検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

乳がん検診の検診・検査を受診しなかった理由・きっかけをみると、国民健康保険では「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**40.0%**と最も多く、これに「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**21.2%**、「特に理由はない・何となく」が**15.8%**と続いている。

一方、国民健康保険以外では、「定期健診の検査項目に入っていなかったから」が**33.1%**と最も多く、これに「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が**24.9%**、「検診に費用がかかるから」が**18.9%**と続いている。

国民健康保険と国民健康保険以外の回答割合を比較すると、国民健康保険での回答割合が特に高い項目として「心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから」が挙げられる。また、国民健康保険以外での回答割合が特に高い項目として「定期健診の検査項目に入っていなかったから」、「健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから」が挙げられる。

医療保険の種類別にみた検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	35	21.2%	93	33.1%
2	検診・検査の案内がなかったから	12	7.3%	21	7.5%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	0	0.0%	3	1.1%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	16	9.7%	27	9.6%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	66	40.0%	70	24.9%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	11	6.7%	45	16.0%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	21	12.7%	41	14.6%
8	検診に費用がかかるから	23	13.9%	53	18.9%
9	検査方法が面倒だから	6	3.6%	15	5.3%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	20	12.1%	40	14.2%
12	がんが見つかるのが怖いから	13	7.9%	7	2.5%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	2	1.2%	4	1.4%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	6	3.6%	18	6.4%
16	その他	22	13.3%	34	12.1%
17	特に理由はない・何となく	26	15.8%	31	11.0%
	サンプル計	165	—	281	—

## (7) がん検診全般について

### ア) がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験

がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験についてみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「ある」が8割以上を占めている。回答割合は国民健康保険が87.3%、国民健康保険以外が86.0%となっており、両者の間にそれほど大きな差はみられない。

医療保険の種類別にみたがん検診受診を勧める情報を見聞きした経験

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	ある	468	87.3%	1,390	86.0%
2	ない	68	12.7%	226	14.0%
	合計	536	100.0%	1,616	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) がん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体

がん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体をみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「テレビ・ラジオ」が50%台で最も多くなっているほか、「検診案内のハガキ」、「広報さっぽろ」、「医療機関・薬局」の回答割合が高くなっている。

このうち「検診案内のハガキ」については国民健康保険の回答割合が国民健康保険以外よりも10%以上上回っており、両者の差が大きくなっている。

医療保険の種類別にみたがん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	テレビ・ラジオ	243	52.1%	781	56.6%
2	検診案内のハガキ	226	48.5%	481	34.9%
3	広報さっぽろ	208	44.6%	559	40.5%
4	医療機関・薬局	138	29.6%	498	36.1%
5	札幌市の公式ホームページ	18	3.9%	47	3.4%
6	新聞・雑誌	100	21.5%	281	20.4%
7	公共施設（役所等）や交通機関（駅・電車・地下鉄・市電等）のポスター	63	13.5%	242	17.5%
8	インターネット（札幌市の公式ホームページ以外）	19	4.1%	138	10.0%
9	がん検診に関するイベント	24	5.2%	96	7.0%
10	その他	24	5.2%	63	4.6%
	サンプル計	466	—	1,379	—

(8) がんにかかった場合の対応等について

ア) がんにかかった場合の勤務継続意向

がんにかかった場合に働き続けたいかどうかについてみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「働き続けたい／働き続けたかった」が最も多くなっているが、その回答割合をみると、国民健康保険以外が **70.7%** となっているのに対して、国民健康保険では **44.3%** にとどまっており、国民健康保険での回答割合が **25%** 以上下回っている。

医療保険の種類別にみたがんにかかった場合の勤務継続意向

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	働き続けたい／働き続けたかった	225	44.3%	1,104	70.7%
2	働き続けたくない／働き続けたくなかった	99	19.5%	264	16.9%
3	現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった	184	36.2%	194	12.4%
	合計	508	100.0%	1,562	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

イ) 職場環境

がんにかかっても働き続けることができる職場かどうかについて、「働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる」及び「働き続けられる職場だと思う・がんにかかった人はいないがそう思う」といった肯定的な意見は、国民健康保険で **34.2%** となっているのに対して、国民健康保険以外では **55.2%** となっており、国民健康保険での回答割合が **20%** 以上下回っている。

医療保険の種類別にみた職場環境

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる	102	21.7%	603	38.6%
2	働き続けられる職場だと思う・がんにかかった人はいないがそう思う	59	12.5%	259	16.6%
3	働き続けるのは難しいと思う	75	15.9%	268	17.2%
4	わからない	79	16.8%	245	15.7%
5	現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった	156	33.1%	186	11.9%
	合計	471	100.0%	1,561	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) がんにかかった場合に働き続けることが難しいと考える理由

がんにかかった場合に「働き続けるのは難しいと思う」と回答した理由をみると、国民健康保険では「治療と仕事の両立が体力的に難しいから」が52.7%と最も多く、これに「がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから」が41.9%、「同僚等に負担・迷惑がかかるから」が40.5%、「治療・通院のために休むことが難しいから」が39.2%と続いている。

一方、国民健康保険以外では「治療と仕事の両立が体力的に難しいから」が58.5%と最も多く、これに「治療・通院のために休むことが難しいから」が52.5%、「同僚等に負担・迷惑がかかるから」が50.6%、「がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから」が47.5%と続いており、上位4項目についてはやや順位が変動しているものの、両者とも同様の傾向がみられる。

なお、両者の回答割合の差をみると、全体的に国民健康保険以外の回答割合が高くなる傾向がみられ、特に差の大きな項目として「治療・通院のために休むことが難しいから」、「長時間勤務や残業が必要な職場だから」、「同僚等に負担・迷惑がかかるから」などが挙げられる。

### 医療保険の種類別にみたがんにかかった場合に働き続けることが難しいと考える理由（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから	31	41.9%	126	47.5%
2	長時間勤務や残業が必要な職場だから	16	21.6%	84	31.7%
3	仕事を代わってくれる人がいないから・頼みにくいから	25	33.8%	105	39.6%
4	治療・通院のために休むことが難しいから	29	39.2%	139	52.5%
5	同僚等に負担・迷惑がかかるから	30	40.5%	134	50.6%
6	治療と仕事の両立が体力的に難しいから	39	52.7%	155	58.5%
7	治療と仕事の両立が精神的に難しいから	27	36.5%	100	37.7%
8	治療に専念したいから	16	21.6%	37	14.0%
9	病人が働き続けることが難しい 雰囲気があるから	21	28.4%	77	29.1%
10	休むと職場での評価が下がるから	7	9.5%	33	12.5%
11	休むと退職する以上に収入が減るから	10	13.5%	19	7.2%
12	その他	3	4.1%	13	4.9%
	サンプル計	74	—	265	—

## エ) がんにかかった場合に希望する療養先

がんにかかった場合に希望する療養先をみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「罹患したがんの専門病院」の回答割合が最も多く、それぞれ 32.2%、32.0%となっている。

そのほかの項目についても、国民健康保険、国民健康保険以外とも「大きな総合病院」「自宅」の順に回答割合が高くなっているように、両者の間にそれほど大きな違いはみられない。

医療保険の種類別にみたがんにかかった場合に希望する療養先

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	自宅	111	21.6%	342	21.8%
2	大きな総合病院	122	23.8%	397	25.4%
3	罹患したがんの専門病院	165	32.2%	501	32.0%
4	近隣の病院・診療所	23	4.5%	61	3.9%
5	介護施設	2	0.4%	4	0.3%
6	わからない	83	16.2%	236	15.1%
7	その他	7	1.4%	25	1.6%
	合計	513	100.0%	1,566	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

## オ) 自宅療養を考えた場合の不安点

自宅療養を考えた場合の不安点をみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「同居する家族に負担をかけてしまうこと」が最も多く、それぞれ 64.7%、76.0%となっている。そのほかの項目についても、両者とも「何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと」、「自宅療養にかかる費用負担が大きくなってしまうこと」、「炊事・洗濯・掃除など、身の回りのことを行う人がいないこと」の順に回答が多くなっており、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

医療保険の種類別にみた自宅療養を考えた場合の不安点（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと	249	49.1%	769	49.4%
2	同居する家族に負担をかけてしまうこと	328	64.7%	1,183	76.0%
3	自宅療養にかかる費用負担が大きくなってしま うこと	165	32.5%	623	40.0%
4	一人暮らしまたは家族が留守がちで付き添っ てくれる人がいないこと	126	24.9%	277	17.8%
5	炊事・洗濯・掃除など、身の回りのことを行う 人がいないこと	127	25.0%	373	24.0%
6	自宅の構造や設備が療養に適していないこと	78	15.4%	219	14.1%
7	その他	8	1.6%	36	2.3%
8	特に不安に思うことはない	19	3.7%	47	3.0%
9	自宅で療養するつもりはない	19	3.7%	27	1.7%
	サンプル計	507	—	1,557	—



## (9) がん患者支援に関する質問について

### ア) がん相談支援センターの認知状況

がん相談支援センターの認知状況をみると、国民健康保険、国民健康保険以外とも「知らなかった」が最も多く、それぞれ**68.3%**、**68.5%**を占めている。そのほかの項目についても、両者とも「名前だけは知っているが、利用したことはない」、「知っているが、利用したことはない」、「知っており、利用したことがある」の順に回答割合が高くなっており、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

医療保険の種類別にみたがん相談支援センターの認知状況

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	知っており、利用したことがある	10	1.9%	18	1.1%
2	知っているが、利用したことはない	38	7.1%	166	10.2%
3	名前だけは知っているが、利用したことはない	121	22.7%	327	20.2%
4	知らなかった	364	68.3%	1,110	68.5%
合計		533	100.0%	1,621	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### イ) 札幌市におけるがん検診の制度の認知状況

札幌市におけるがん検診の制度の認知状況をみると、国民健康保険では「知っていた」が**60.1%**となっているのに対して、国民健康保険以外では「知っていた」が**48.5%**となっており、国民健康保険での認知度が**10%**以上上回っている。

医療保険の種類別にみた札幌市におけるがん検診の制度の認知状況

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	知っていた	316	60.1%	778	48.5%
2	知らなかった	210	39.9%	825	51.5%
合計		526	100.0%	1,603	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### ウ) 札幌市のがん検診の制度を知った媒体

札幌市のがん検診の制度を知っていた回答者に、情報を知った媒体を尋ねたところ、国民健康保険、国民健康保険以外とも「広報さっぽろ」が最も多く、それぞれ**57.7%**、**61.2%**となっている。そのほかの項目についても、両者とも「札幌市からののがきやクーポン券など」、「周知チラシ」の順に回答割合が高くなっており、全体的な傾向にそれほど大きな違いはみられない。

医療保険の種類別にみた札幌市のがん検診の制度を知った媒体（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	広報さっぽろ	177	57.7%	466	61.2%
2	札幌市の公式ホームページ	10	3.3%	48	6.3%
3	周知チラシ	38	12.4%	104	13.6%
4	がん検診に関するイベント	9	2.9%	33	4.3%
5	テレビ・ラジオ・新聞等	38	12.4%	63	8.3%
6	札幌市からののがきやクーポン券など	169	55.0%	327	42.9%
7	その他	26	8.5%	89	11.7%
8	どの媒体で知ったかわからない・覚えていない	14	4.6%	39	5.1%
	サンプル計	307	—	762	—

### エ) 札幌市のがん検診の制度について知っている内容

札幌市のがん検診の制度について知っている内容をみると、国民健康保険では「検診の対象となるがんの種類」が**77.0%**と最も多く、これに「検査内容」が**43.7%**、「検診の費用」が**40.5%**と続いている。

一方、国民健康保険以外では「検診の対象となるがんの種類」が**65.0%**と最も多く、これに「検査内容」が**31.8%**、「対象者の要件」が**29.5%**と続いている。

全体的に国民健康保険の回答割合が高くなる傾向がみられ、特に「検診にかかる費用」、「実施医療機関」、「検診の対象となるがんの種類」、「検査内容」は回答割合が**10%**以上上回っているように、両者の差が大きくなっている。

医療保険の種類別にみた札幌市のがん検診の制度について知っている内容（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	検診の対象となるがんの種類	238	77.0%	494	65.0%
2	検査内容	135	43.7%	242	31.8%
3	対象者の要件	112	36.2%	224	29.5%
4	検診にかかる費用	125	40.5%	172	22.6%
5	受診間隔	44	14.2%	71	9.3%
6	実施医療機関	100	32.4%	118	15.5%
7	その他	2	0.6%	14	1.8%
8	知っている項目はない	40	12.9%	192	25.3%
	サンプル計	309	—	760	—

## オ) がんについて知りたい情報

がんについて知りたい情報をみると、国民健康保険では、「がんの治療方法や費用」が 45.6%と最も多く、これに「がん検診の種類・費用・受診方法等」が 44.2%、「がん検診を受診できる病院・診療所」が 36.3%、「セカンドオピニオンの受け方」が 36.0%と続いている。

一方、国民健康保険以外では、「がん検診の種類・費用・受診方法等」が 51.8%と最も多く、これに「がんの治療方法や費用」が 50.2%、「がん検診を受診できる病院・診療所」が 36.5%、「セカンドオピニオンの受け方」が 35.5%と続いている。上位の項目についてはやや順位が変動しているものの、両者とも同様の傾向がみられる。

全体的に国民健康保険以外の回答割合が高くなる傾向がみられ、特に「がんにかかっても働き続けるための方法」は回答割合が 10%以上上回っているように、両者の差が大きくなっている。

医療保険の種類別にみたがんについて知りたい情報（複数回答）

		国民健康保険		国民健康保険以外	
		回答数	構成比	回答数	構成比
1	がんの予防方法	157	32.7%	515	33.8%
2	がん検診の種類・費用・受診方法等	212	44.2%	789	51.8%
3	がん検診を受診できる病院・診療所	174	36.3%	556	36.5%
4	乳・子宮がん検診無料クーポンの対象者・使い方	71	14.8%	329	21.6%
5	がんに関する相談窓口	120	25.0%	389	25.5%
6	がんの治療方法や費用	219	45.6%	765	50.2%
7	がん治療の副作用・副作用への対処法	146	30.4%	464	30.4%
8	がんにかかっても働き続けるための方法	62	12.9%	356	23.4%
9	実際にがんにかかった方の体験談など	43	9.0%	185	12.1%
10	自宅療養の方法	97	20.2%	299	19.6%
11	セカンドオピニオンの受け方	173	36.0%	541	35.5%
12	その他	8	1.7%	27	1.8%
13	わからない	31	6.5%	74	4.9%
14	知りたいことはない	19	4.0%	48	3.1%
	サンプル計	480	—	1,524	—

### 3. 統計解析

#### 3. 1 性別ごとの各項目とがん検診受診率の関連性 ( $\chi^2$ 検定)

ここでは、がん検診受診の有無について、どのような要因が左右しているのかを分析するため、 $\chi^2$  (カイ二乗) 検定を実施した。

分析に当たっては、性差による違いが出てくることが考えられることから、がん検診受診の有無について性別ごとに整理し、その上で、年齢、喫煙習慣、飲酒習慣、入院歴、就労状況、医療保険の種類、がんの既往歴、世帯構成、札幌市のがん検診の制度の認知度の9つの指標との関係性をみることにした。

なお、医療保険の種類については、国民健康保険とそれ以外の健康保険(協会けんぽ、組合管掌健康保険、共済組合、その他)で分けることとし、「分からない」や「加入していない」については分析対象から外した。また、喫煙の有無については、現時点において喫煙しているかどうかを判断基準とし、「禁煙した」は喫煙習慣なしに含めた。世帯構成については、一人暮らしとそれ以外の世帯構成で分けることとした。

##### (1) 肺がん検診

$\chi^2$  検定の結果、肺がん検診受診の有無と年齢については、男性のP値が0.2169、女性のP値が0.0363となり、女性では95%の信頼区間で年齢による有意差が認められるものの、男性では95%の信頼区間で年齢による有意差は認められなかった。

喫煙習慣では、男性のP値が1.0000、女性のP値が0.8262となり、男女とも95%の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差が認められなかった。

飲酒習慣では、男性のP値が0.0501、女性のP値が0.0995となり、男女とも95%の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められなかった。

入院歴では、男性のP値が0.5476、女性のP値が0.7399となり、男女とも95%の信頼区間で入院歴の有無による有意差が認められなかった。

就労状況では、男性のP値が2.14E-09、女性のP値が2.65E-11となり、男女とも95%の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。

医療保険の種類では、男性のP値が1.29E-14、女性のP値が1.71E-10となり、男女とも95%の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。

がんの既往歴では、男性のP値が0.0471、女性のP値が0.0637となり、男性では95%の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差が認められるものの、女性では95%の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差は認められなかった。

世帯構成では、男性のP値が0.0065、女性のP値が0.0569となり、男性では95%の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯構成による有意差が認められるものの、女性では95%の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯構成による有意差は認められなかった。

札幌市のがん検診の制度の認知度では、男性のP値が0.0108、女性のP値が0.0283となり、男女とも95%の信頼区間で札幌市のがん検診の認知度による有意差が認められた。

これらの結果から、肺がん検診受診の有無については、就労状況と医療保険の種類、札幌市のがん検診の認知度との間で関係性があると考えられる。中でも、就労状況と医療保険の種類についてはP値が十分に小さいことから、肺がん検診受診の有無との関係性が特に強いものと考えられる。

肺がん検診受診の有無における $\chi^2$ 検定の結果

	男性		女性	
	受診	未受診	受診	未受診
年齢		P 値 : 0.2169		P 値 : 0.0363
40-49	155 (66.1%)	83 (34.9%)	176 (52.5%)	159 (47.5%)
50-59	191 (70.2%)	81 (29.8%)	206 (58.7%)	145 (41.3%)
60-69	247 (63.8%)	140 (36.2%)	176 (49.2%)	182 (50.8%)
喫煙習慣		P 値 : 1.0000		P 値 : 0.8262
喫煙習慣あり	159 (66.0%)	82 (34.0%)	77 (54.6%)	64 (53.2%)
喫煙習慣なし	436 (66.2%)	223 (33.8%)	481 (53.2%)	423 (46.8%)
飲酒習慣		P 値 : 0.0501		P 値 : 0.0995
飲酒習慣あり	394 (68.5%)	181 (31.5%)	234 (56.7%)	179 (43.3%)
飲酒習慣なし	201 (61.8%)	124 (38.2%)	325 (51.3%)	309 (48.7%)
入院歴		P 値 : 0.5476		P 値 : 0.7399
入院歴あり	424 (66.9%)	210 (33.1%)	360 (52.9%)	320 (47.1%)
入院歴なし	171 (64.5%)	94 (35.5%)	199 (54.2%)	168 (45.8%)
就労状況		P 値 : 2.15E-09		P 値 : 2.66E-11
就労あり	526 (70.6%)	219 (29.4%)	418 (61.0%)	267 (39.0%)
就労なし	64 (44.4%)	80 (55.6%)	135 (38.9%)	212 (61.1%)
医療保険の種類		P 値 : 1.30E-14		P 値 : 1.71E-10
国民健康保険	81 (44.8%)	100 (55.2%)	103 (37.3%)	173 (62.7%)
国民健康保険以外	355 (77.5%)	103 (22.5%)	443 (60.0%)	295 (40.0%)
がんの既往歴		P 値 : 0.0471		P 値 : 0.0637
既往歴あり	60 (76.9%)	18 (23.1%)	68 (62.4%)	41 (37.6%)
既往歴なし	535 (65.1%)	287 (34.9%)	491 (52.5%)	444 (47.5%)
世帯構成		P 値 : 0.0065		P 値 : 0.0569
一人暮らし	91 (56.5%)	70 (43.5%)	110 (60.1%)	73 (39.9%)
その他	502 (68.1%)	235 (31.9%)	446 (52.0%)	411 (48.0%)
札幌市のがん検診の認知度		P 値 : 0.0108		P 値 : 0.0283
知っていた	275 (70.7%)	114 (29.3%)	365 (56.3%)	283 (43.7%)
知らなかった	307 (62.3%)	186 (37.7%)	190 (49.1%)	197 (50.9%)

## (2) 大腸がん検診

$\chi^2$  検定の結果、大腸がん検診受診の有無と年齢については、男性の P 値が **0.3940**、女性の P 値が **0.1238** となり、男女とも **95%**の信頼区間で年齢による有意差は認められなかった。

喫煙習慣では、男性の P 値が **0.1353**、女性の P 値が **0.0043** となり、女性では **95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差が認められるものの、男性では **95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差は認められなかった。

飲酒習慣では、男性の P 値が **0.0050**、女性の P 値が **0.5304** となり、男性では **95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められるものの、女性では **95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差は認められなかった。

入院歴では、男性の P 値が **0.7166**、女性の P 値が **0.8527** となり、男女とも **95%**の信頼区間で入院歴の有無による有意差が認められなかった。

就労状況では、男性の P 値が **2.61E-09**、女性の P 値が **0.0003** となり、男女とも **95%**の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。

医療保険の種類では、男性の P 値が **1.64E-15**、女性の P 値が **2.91E-07** となり、男女とも **95%**の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。

がんの既往歴では、男性の P 値が **0.4798**、女性の P 値が **0.2368** となり、男女とも **95%**の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差が認められなかった。

世帯構成では、男性の P 値が **0.0080**、女性の P 値が **1.0000** となり、男性では **95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯構成による有意差が認められるものの、女性では **95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯構成による有意差は認められなかった。

札幌市のがん検診の制度の認知度では、男性の P 値が **0.0001**、女性の P 値が **0.0028** となり、男女とも **95%**の信頼区間で札幌市のがん検診の認知度による有意差が認められた。

これらの結果から、大腸がん検診受診の有無については、就労状況と医療保険の種類、札幌市のがん検診の認知度との間で関係性があると考えられる。中でも、就労状況と医療保険の種類については P 値が十分に小さいことから、肺がん検診受診の有無との関係性が特に強いものと考えられる。

大腸がん検診受診の有無における $\chi^2$ 検定の結果

	男性		女性	
	受診	未受診	受診	未受診
年齢		P 値 : 0.3940		P 値 : 0.1283
40-49	139 (58.2%)	100 (41.8%)	155 (46.3%)	180 (53.7%)
50-59	171 (62.6%)	102 (37.4%)	183 (51.8%)	170 (48.2%)
60-69	224 (57.6%)	165 (42.4%)	160 (44.6%)	199 (55.4%)
喫煙習慣		P 値 : 0.1353		P 値 : 0.0043
喫煙習慣あり	133 (55.0%)	109 (45.0%)	51 (36.2%)	90 (63.8%)
喫煙習慣なし	401 (60.8%)	259 (39.2%)	449 (49.5%)	458 (50.5%)
飲酒習慣		P 値 : 0.0050		P 値 : 0.5304
飲酒習慣あり	362 (62.7%)	215 (37.3%)	203 (49.0%)	211 (51.0%)
飲酒習慣なし	172 (52.9%)	153 (47.1%)	298 (46.9%)	338 (53.1%)
入院歴		P 値 : 0.7166		P 値 : 0.8527
入院歴あり	379 (59.7%)	256 (40.3%)	323 (47.4%)	358 (52.6%)
入院歴なし	154 (58.1%)	111 (41.9%)	178 (48.2%)	191 (51.8%)
就労状況		P 値 : 2.62E-09		P 値 : 0.0003
就労あり	478 (63.8%)	271 (36.2%)	357 (52.1%)	328 (47.9%)
就労なし	53 (36.8%)	91 (63.2%)	140 (40.0%)	210 (60.0%)
医療保険の種類		P 値 : 1.64E-15		P 値 : 2.91E-07
国民健康保険	78 (36.6%)	135 (63.4%)	98 (35.1%)	181 (64.9%)
国民健康保険以外	446 (67.7%)	213 (32.3%)	394 (53.4%)	344 (46.6%)
がんの既往歴		P 値 : 0.4798		P 値 : 0.2368
既往歴あり	49 (63.6%)	28 (36.4%)	59 (53.6%)	51 (46.4%)
既往歴なし	485 (58.8%)	340 (41.2%)	442 (47.2%)	495 (52.8%)
世帯構成		P 値 : 0.0080		P 値 : 1.0000
一人暮らし	80 (49.7%)	81 (50.3%)	89 (48.1%)	96 (51.9%)
その他	455 (61.4%)	286 (38.6%)	411 (47.9%)	447 (52.1%)
札幌市のがん検診の認知度		P 値 : 0.0001		P 値 : 0.0028
知っていた	260 (66.7%)	130 (33.3%)	335 (51.5%)	315 (48.5%)
知らなかった	265 (53.4%)	231 (46.6%)	162 (41.8%)	226 (58.2%)

### (3) 胃がん検診

$\chi^2$  検定の結果、胃がん検診受診の有無と年齢については、男性の P 値が 0.3938、女性の P 値が 0.1792 となり、男女とも 95%の信頼区間で年齢による有意差は認められなかった。

喫煙習慣では、男性の P 値が 0.3530、女性の P 値が 0.0210 となり、女性では 95%の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差が認められるものの、男性では 95%の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差は認められなかった。

飲酒習慣では、男性の P 値が 0.0267、女性の P 値が 0.1063 となり、男性では 95%の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められるものの、女性では 95%の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差は認められなかった。

入院歴では、男性の P 値が 0.0163、女性の P 値が 0.1481 となり、男性では 95%の信頼区間で入院歴の有無による有意差が認められるものの、女性では 95%の信頼区間で入院歴の有無による有意差は認められなかった。

就労状況では、男性の P 値が 1.27E-08、女性の P 値が 0.0088 となり、男女とも 95%の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。

医療保険の種類では、男性の P 値が 2.37E-15、女性の P 値が 0.0216 となり、男女とも 95%の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。

がんの既往歴では、男性の P 値が 0.3475、女性の P 値が 0.0059 となり、女性では 95%の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差が認められるものの、女性では 95%の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差は認められなかった。

世帯構成では、男性の P 値が 0.0009、女性の P 値が 0.4875 となり、男性では 95%の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯構成による有意差が認められるものの、女性では 95%の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯構成による有意差は認められなかった。

札幌市のがん検診の制度の認知度では、男性の P 値が 0.0497、女性の P 値が 0.2030 となり、男性では 95%の信頼区間でがん検診の認知度による有意差が認められるものの、女性では 95%の信頼区間でがん検診の認知度による有意差は認められなかった。

これらの結果から、胃がん検診受診の有無については、就労状況と医療保険の種類との間で強い関係性があると考えられる。



胃がん検診受診の有無における $\chi^2$ 検定の結果

	男性		女性	
	受診	未受診	受診	未受診
年齢		P 値 : 0.3938		P 値 : 0.1792
50-59	188 (69.6%)	82 (30.4%)	180 (51.3%)	171 (48.7%)
60-69	256 (66.1%)	131 (33.9%)	165 (46.0%)	194 (54.0%)
喫煙習慣		P 値 : 0.3530		P 値 : 0.0210
喫煙習慣あり	106 (64.2%)	59 (35.8%)	31 (36.5%)	54 (63.5%)
喫煙習慣なし	338 (68.6%)	155 (31.4%)	316 (50.5%)	310 (49.5%)
飲酒習慣		P 値 : 0.0267		P 値 : 0.1063
飲酒習慣あり	302 (70.6%)	126 (29.4%)	146 (52.7%)	131 (47.3%)
飲酒習慣なし	142 (61.7%)	88 (38.3%)	201 (46.2%)	234 (53.8%)
入院歴		P 値 : 0.0163		P 値 : 0.1481
入院歴あり	327 (65.0%)	176 (35.0%)	253 (50.6%)	247 (49.4%)
入院歴なし	116 (75.8%)	37 (24.2%)	94 (44.3%)	118 (55.7%)
就労状況		P 値 : 1.27E-08		P 値 : 0.0088
就労あり	378 (73.3%)	138 (26.7%)	220 (53.0%)	195 (47.0%)
就労なし	63 (47.0%)	71 (53.0%)	122 (42.7%)	164 (57.3%)
医療保険の種類		P 値 : 2.37E-15		P 値 : 0.0216
国民健康保険	81 (44.8%)	100 (55.2%)	100 (42.7%)	134 (57.3%)
国民健康保険以外	355 (77.5%)	103 (22.5%)	241 (52.3%)	220 (47.7%)
がんの既往歴		P 値 : 0.3475		P 値 : 0.0059
既往歴あり	54 (73.0%)	20 (27.0%)	54 (63.5%)	31 (36.5%)
既往歴なし	390 (66.8%)	194 (33.2%)	293 (47.0%)	331 (53.0%)
世帯構成		P 値 : 0.0009		P 値 : 0.4875
一人暮らし	65 (54.2%)	55 (45.8%)	71 (51.8%)	66 (48.2%)
その他	379 (70.4%)	159 (29.6%)	274 (48.1%)	296 (51.9%)
札幌市のがん検診の認知度		P 値 : 0.0497		P 値 : 0.2030
知っていた	227 (71.2%)	92 (28.8%)	237 (51.0%)	228 (49.0%)
知らなかった	208 (63.6%)	119 (36.4%)	108 (45.6%)	129 (54.4%)

#### (4) 子宮がん（子宮頸がん）検診

$\chi^2$  検定の結果、子宮がん（子宮頸がん）検診受診の有無と年齢については、P 値が 0.2030 となり、95%の信頼区間で年齢による有意差は認められなかった。

喫煙習慣では、P 値が 0.0001 となり、95%の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差が認められた。

飲酒習慣では、P 値が 0.0273 となり、95%の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められた。

入院歴では、P 値が 0.5433 となり、95%の信頼区間で入院歴の有無による有意差は認められなかった。

就労状況では、P 値が 0.0048 となり、95%の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。

医療保険の種類では、P 値が 1.79E-10 となり、95%の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。

がんの既往歴では、P 値が 0.1060 となり、95%の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差は認められなかった。

世帯構成では、P 値が 0.0292 となり、95%の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯構成による有意差が認められた。

札幌市のがん検診の制度の認知度では、P 値が 0.0044 となり、95%の信頼区間でがん検診の認知度による有意差が認められた。

これらの結果から、子宮がん（子宮頸がん）検診受診の有無については、喫煙習慣と飲酒習慣、就労状況、医療保険の種類、世帯構成、札幌市のがん検診の認知度との間で関係性があると考えられる。中でも、喫煙習慣と就労状況、医療保険の種類、札幌市のがん検診の認知度については P 値が十分に小さいことから、子宮がん（子宮頸がん）検診受診の有無との関係性が特に強いものと考えられる。

子宮がん（子宮頸がん）検診受診の有無における $\chi^2$ 検定の結果

	女性	
	受診	未受診
年齢		P 値 : 0.2030
20-29	53 (42.7%)	71 (57.3%)
30-39	112 (64.4%)	62 (35.6%)
40-49	213 (63.0%)	125 (37.0%)
50-59	193 (54.8%)	159 (45.2%)
60-69	138 (38.4%)	221 (61.6%)
喫煙習慣		P 値 : 0.0001
喫煙習慣あり	64 (38.6%)	102 (61.4%)
喫煙習慣なし	646 (54.7%)	536 (45.3%)
飲酒習慣		P 値 : 0.0273
飲酒習慣あり	303 (56.5%)	233 (43.5%)
飲酒習慣なし	409 (50.2%)	405 (49.8%)
入院歴		P 値 : 0.5433
入院歴あり	426 (52.0%)	393 (48.0%)
入院歴なし	286 (53.9%)	245 (46.1%)
就労状況		P 値 : 0.0048
就労あり	516 (55.7%)	410 (44.3%)
就労なし	191 (47.2%)	214 (52.8%)
医療保険の種類		P 値 : 1.79E-10
国民健康保険	124 (38.4%)	199 (61.6%)
国民健康保険以外	584 (57.6%)	430 (42.4%)
がんの既往歴		P 値 : 0.1060
既往歴あり	69 (60.5%)	45 (39.5%)
既往歴なし	643 (52.1%)	590 (47.9%)
世帯構成		P 値 : 0.0292
一人暮らし	120 (46.5%)	138 (53.5%)
その他	588 (54.3%)	495 (45.7%)
札幌市のがん検診の認知度		P 値 : 0.0044
知っていた	410 (56.2%)	319 (43.8%)
知らなかった	291 (48.3%)	312 (51.7%)

## (5) 乳がん検診

$\chi^2$  検定の結果、乳がん検診受診の有無と年齢については、P 値が **6.79E-08** となり、**95%**の信頼区間で年齢による有意差が認められた。

喫煙習慣では、P 値が **3.38E-07** となり、**95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差が認められた。

飲酒習慣では、P 値が **0.2013** となり、**95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められなかった。

入院歴では、P 値が **0.5430** となり、**95%**の信頼区間で入院歴の有無による有意差は認められなかった。

就労状況では、P 値が **0.0028** となり、**95%**の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。

医療保険の種類では、P 値が **1.43E-09** となり、**95%**の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。

がんの既往歴では、P 値が **3.60E-05** となり、**95%**の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差が認められた。

世帯構成では、P 値が **0.8098** となり、**95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯構成による有意差が認められなかった。

札幌市のがん検診の制度の認知度では、P 値が **0.0167** となり、**95%**の信頼区間でがん検診の認知度による有意差が認められた。

これらの結果から、乳がん検診受診の有無については、年齢、喫煙習慣、就労状況、医療保険の種類、がんの既往歴、札幌市のがん検診の認知度との間で強い関係性があると考えられる。

乳がん検診受診の有無における $\chi^2$ 検定の結果

	女性	
	受診	未受診
年齢		P 値 : 6.79E-08
40-59	224 (66.1%)	115 (33.9%)
50-59	204 (57.8%)	149 (42.2%)
60-69	161 (44.7%)	199 (55.3%)
喫煙習慣		P 値 : 3.38E-07
喫煙習慣あり	51 (35.9%)	91 (64.1%)
喫煙習慣なし	539 (59.2%)	372 (40.8%)
飲酒習慣		P 値 : 0.2013
飲酒習慣あり	244 (58.7%)	172 (41.3%)
飲酒習慣なし	348 (54.5%)	291 (45.5%)
入院歴		P 値 : 0.5430
入院歴あり	389 (56.9%)	295 (43.1%)
入院歴なし	203 (54.7%)	168 (45.3%)
就労状況		P 値 : 0.0028
就労あり	412 (59.8%)	277 (40.2%)
就労なし	175 (49.9%)	176 (50.1%)
医療保険の種類		P 値 : 1.43E-09
国民健康保険	114 (40.9%)	165 (59.1%)
国民健康保険以外	471 (61.5%)	295 (38.5%)
がんの既往歴		P 値 : 3.60E-05
既往歴あり	82 (75.2%)	27 (24.8%)
既往歴なし	509 (54.0%)	434 (46.0%)
世帯構成		P 値 : 0.8098
一人暮らし	102 (55.1%)	83 (44.9%)
その他	487 (56.4%)	376 (43.6%)
札幌市のがん検診の認知度		P 値 : 0.0167
知っていた	386 (59.2%)	266 (40.8%)
知らなかった	201 (51.4%)	190 (48.6%)

### 3. 2 性別ごとの各項目とがん検診受診率の関連性（ロジスティック回帰分析）

前節では、 $\chi^2$  検定によって、がん検診受診の有無と関係性の強い項目について分析を行ったが、ここでは、同様の分析をロジスティック回帰分析により行った。

なお、分析を行った指標については、 $\chi^2$  検定と同様に、年齢、喫煙習慣、飲酒習慣、入院歴、就労状況、医療保険の種類、がんの既往歴、世帯構成、札幌市のがん検診の制度の認知度の9つを対象としたほか、これらの指標の分類の仕方についても、 $\chi^2$  検定と同様の内容とした。

#### (1) 肺がん検診

ロジスティック回帰分析の結果、肺がん検診受診の有無と年代の関連性についてみると、P 値は男性で **0.5750**、女性で **0.3490** となり、男女とも **95%**の信頼区間で年代による有意差は認められなかった。

喫煙習慣との関連性についてみると、P 値は男性で **0.9580**、女性で **0.7560** となり、男女とも **95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差は認められなかった。

飲酒習慣との関連性についてみると、P 値は男性で **0.0424**、女性で **0.0873** となり、男性では **95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められたものの、女性では **95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められなかった。

入院歴との関連性についてみると、P 値は男性で **0.0424**、女性で **0.0873** となり、男女とも **95%**の信頼区間で入院歴の有無による有意差は認められなかった。

就労状況の関連性についてみると、P 値は男性で **3.40E-09**、女性で **2.80E-11** となり、男女とも **95%**の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。また、就労なしを **1.0** とした場合のオッズ比は、男性で **3.000**、女性で **2.460** となり、男女とも就労ありでの受診比率が高くなる傾向がみられた。

医療保険の種類との関連性についてみると、P 値は男性で **3.50E-14**、女性で **1.97E-10** となり、男女とも **95%**の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。また、国民健康保険を **1.0** とした場合のオッズ比は、男性で **3.470**、女性で **2.520** となり、男女とも国民健康保険以外での受診比率が高くなる傾向がみられた。

がんの既往歴との関連性についてみると、P 値は男性で **0.0369**、女性で **0.0517** となり、男性では **95%**の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差が認められたものの、女性では **95%**の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差が認められなかった。

世帯構成との関連性についてみると、P 値は男性で **0.0052**、女性で **0.0476** となり、男女とも **95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯での有意差が認められた。ただし、国民健康保険を **1.0** とした場合のオッズ比は、男性で **1.640**、女性で **0.720** となり、男性では一人暮らし以外世帯構成の受診比率が高く、女性では一人暮らしの受診比率が高くなっていることから、判断に悩ましい面がある。

札幌市のがん検診の制度の認知度との関連性についてみると、P 値は男性で **0.0089**、女性で **0.0241** となり、男女とも **95%**の信頼区間でがん検診の認知度の有無による有意差が認められた。また、札幌市のがん検診の制度を知らなかった人を **1.0** とした場合のオッズ比は、男性で **1.460**、女性で **1.340** となり、男女とも制度を知っていた人の受診比率が高くなる傾向がみられた。

これらの結果から、肺がん検診受診の有無については、就労状況と医療保険の種類、札幌市のがん検診の制度の認知度との間で関係性があると考えられる。中でも、就労状況と医療保険の種

類については P 値が十分に小さいことから、肺がん検診受診の有無との関係性が特に強いものと考えられる。

### 肺がん検診受診の有無におけるロジスティック回帰分析の結果

#### 【男性】

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
①年代別	0.953	0.804	1.130	0.5750
②喫煙習慣（喫煙者=1.0）	1.010	0.738	1.380	0.9580
③飲酒習慣（飲酒習慣あり=1.0）	0.745	0.560	0.990	0.0424
④入院歴（入院歴なし=1.0）	1.110	0.821	1.500	0.4970
⑤就労状況（働いていない=1.0）	3.000	2.090	4.320	3.40E-09
⑥医療保険（国保=1.0）	3.470	2.520	4.800	3.50E-14
⑦がんの既往歴（既往歴あり=1.0）	0.559	0.324	0.965	0.0369
⑧世帯構成（一人暮らし=1.0）	1.640	1.160	2.330	0.0052
⑨がん検診の認知度（知らなかった=1.0）	1.460	1.100	1.940	0.0089

#### 【女性】

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
①年代別	0.931	0.802	1.080	0.3490
②喫煙習慣（喫煙者=1.0）	0.945	0.662	1.350	0.7560
③飲酒習慣（飲酒習慣あり=1.0）	0.805	0.627	1.030	0.0873
④入院歴（入院歴なし=1.0）	0.950	0.736	1.230	0.6910
⑤就労状況（働いていない=1.0）	2.460	1.890	3.200	2.80E-11
⑥医療保険（国保=1.0）	2.520	1.900	3.350	1.97E-10
⑦がんの既往歴（既往歴あり=1.0）	0.667	0.443	1.000	0.0517
⑧世帯構成（一人暮らし=1.0）	0.720	0.520	0.997	0.0476
⑨がん検診の認知度（知らなかった=1.0）	1.340	1.040	1.720	0.0241

## (2) 大腸がん検診

ロジスティック回帰分析の結果、大腸がん検診受診の有無と年代の関連性についてみると、P値は男性で**0.7460**、女性で**0.6260**となり、男女とも**95%**の信頼区間で年代による有意差は認められなかった。

喫煙習慣との関連性についてみると、P値は男性で**0.1170**、女性で**0.0035**となり、女性では**95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差が認められたものの、男性では**95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差は認められなかった。

飲酒習慣との関連性についてみると、P値は男性で**0.0041**、女性で**0.4900**となり、男性では**95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められたものの、女性では**95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差は認められなかった。

入院歴との関連性についてみると、P値は男性で**0.6620**、女性で**0.8020**となり、男女とも**95%**の信頼区間で入院歴の有無による有意差は認められなかった。

就労状況の関連性についてみると、P値は男性で**4.37E-09**、女性で**0.0002**となり、男女とも**95%**の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。また、就労なしを**1.0**とした場合のオッズ比は、男性で**3.030**、女性で**1.630**となり、男女とも就労ありでの受診比率が高くなる傾向がみられた。

医療保険の種類との関連性についてみると、P値は男性で**5.62E-15**、女性で**2.62E-07**となり、男女とも**95%**の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。また、国民健康保険を**1.0**とした場合のオッズ比は、男性で**3.620**、女性で**2.120**となり、男女とも国民健康保険以外での受診比率が高くなる傾向がみられた。

がんの既往歴との関連性についてみると、P値は男性で**0.4080**、女性で**0.2000**となり、男女とも**95%**の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差は認められなかった。

世帯構成との関連性についてみると、P値は男性で**0.0064**、女性で**0.9590**となり、男性では**95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯での有意差が認められたものの、女性では**95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯での有意差は認められなかった。

札幌市のがん検診の制度の認知度との関連性についてみると、P値は男性で**0.0001**、女性で**0.0023**となり、男女とも**95%**の信頼区間で札幌市のがん検診の制度の認知度の有無による有意差が認められた。また、札幌市のがん検診の制度を知らなかった人を**1.0**とした場合のオッズ比は、男性で**1.740**、女性で**1.480**となり、男女とも制度を知っていた人の受診比率が高くなる傾向がみられた。

これらの結果から、大腸がん検診受診の有無については、就労状況と医療保険の種類、札幌市のがん検診の制度の認知度との間で強い関係性があると考えられる。



大腸がん検診受診の有無におけるロジスティック回帰分析の結果

【男性】

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
①年代別	0.974	0.827	1.150	0.7460
②喫煙習慣（喫煙者=1.0）	1.270	0.942	1.710	0.1170
③飲酒習慣（飲酒習慣あり=1.0）	0.668	0.507	0.879	0.0041
④入院歴（入院歴なし=1.0）	1.070	0.798	1.430	0.6620
⑤就労状況（働いていない=1.0）	3.030	2.090	4.380	4.37E-09
⑥医療保険（国保=1.0）	3.620	2.620	5.010	5.62E-15
⑦がんの既往歴（既往歴あり=1.0）	0.815	0.502	1.320	0.4080
⑧世帯構成（一人暮らし=1.0）	1.610	1.140	2.270	0.0064
⑨がん検診の認知度（知らなかった=1.0）	1.740	1.320	2.290	0.0001

【女性】

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
①年代別	0.964	0.830	1.120	0.6260
②喫煙習慣（喫煙者=1.0）	1.730	1.200	2.500	0.0035
③飲酒習慣（飲酒習慣あり=1.0）	0.916	0.715	1.170	0.4900
④入院歴（入院歴なし=1.0）	0.968	0.751	1.250	0.8020
⑤就労状況（働いていない=1.0）	1.630	1.260	2.120	0.0002
⑥医療保険（国保=1.0）	2.120	1.590	2.810	2.62E-07
⑦がんの既往歴（既往歴あり=1.0）	0.772	0.519	1.150	0.2000
⑧世帯構成（一人暮らし=1.0）	0.992	0.722	1.360	0.9590
⑨がん検診の認知度（知らなかった=1.0）	1.480	1.150	1.910	0.0023

### (3) 胃がん検診

ロジスティック回帰分析の結果、胃がん検診受診の有無と年代の関連性についてみると、P 値は男性で **0.3490**、女性で **0.1560** となり、男女とも **95%**の信頼区間で年代による有意差は認められなかった。

喫煙習慣との関連性についてみると、P 値は男性で **0.3060**、女性で **0.0160** となり、女性では **95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差が認められたものの、男性では **95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差は認められなかった。

飲酒習慣との関連性についてみると、P 値は男性で **0.0216**、女性で **0.0909** となり、男性では **95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められたものの、女性では **95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差は認められなかった。

入院歴との関連性についてみると、P 値は男性で **0.0130**、女性で **0.1270** となり、女性では **95%**の信頼区間で入院歴の有無による有意差が認められたものの、男性では **95%**の信頼区間で入院歴の有無による有意差は認められなかった。

就労状況の関連性についてみると、P 値は男性で **1.64E-08**、女性で **0.0071** となり、男女とも **95%**の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。また、就労なしを **1.0** とした場合のオッズ比は、男性で **3.090**、女性で **1.520** となり、男女とも就労ありでの受診比率が高くなる傾向がみられた。

医療保険の種類との関連性についてみると、P 値は男性で **8.85E-15**、女性で **0.0176** となり、男女とも **95%**の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。また、国民健康保険を **1.0** とした場合のオッズ比は、男性で **4.020**、女性で **1.470** となり、男女とも国民健康保険以外での受診比率が高くなる傾向がみられた。

がんの既往歴との関連性についてみると、P 値は男性で **0.2850**、女性で **0.0047** となり、女性では **95%**の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差が認められたものの、男性では **95%**の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差は認められなかった。

世帯構成との関連性についてみると、P 値は男性で **0.0007**、女性で **0.4300** となり、男性では **95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯での有意差が認められたものの、女性では **95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯での有意差は認められなかった。

札幌市のがん検診の制度の認知度との関連性についてみると、P 値は男性で **0.0411**、女性で **0.1760** となり、男性では **95%**の信頼区間で札幌市のがん検診の制度の認知度の有無による有意差が認められたものの、女性では **95%**の信頼区間で札幌市のがん検診の制度の認知度の有無による有意差は認められなかった。

これらの結果から、胃がん検診受診の有無については、就労状況と医療保険の種類との間で強い関係性があると考えられる。

胃がん検診受診の有無におけるロジスティック回帰分析の結果

【男性】

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
①年代別	0.852	0.610	1.190	0.3490
②喫煙習慣（喫煙者=1.0）	1.210	0.838	1.760	0.3060
③飲酒習慣（飲酒習慣あり=1.0）	0.673	0.480	0.944	0.0216
④入院歴（入院歴なし=1.0）	0.593	0.392	0.896	0.0130
⑤就労状況（働いていない=1.0）	3.090	2.090	4.570	1.64E-08
⑥医療保険（国保=1.0）	4.260	2.950	6.140	8.85E-15
⑦がんの既往歴（既往歴あり=1.0）	0.745	0.433	1.280	0.2850
⑧世帯構成（一人暮らし=1.0）	2.020	1.350	3.020	0.0007
⑨がん検診の認知度（知らなかった=1.0）	1.410	1.010	1.970	0.0411

【女性】

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
①年代別	0.808	0.602	1.080	0.1560
②喫煙習慣（喫煙者=1.0）	1.780	1.110	2.840	0.0163
③飲酒習慣（飲酒習慣あり=1.0）	0.771	0.570	1.040	0.0909
④入院歴（入院歴なし=1.0）	1.290	0.931	1.780	0.1270
⑤就労状況（働いていない=1.0）	1.520	1.120	2.050	0.0071
⑥医療保険（国保=1.0）	1.470	1.070	2.020	0.0176
⑦がんの既往歴（既往歴あり=1.0）	0.508	0.318	0.812	0.0047
⑧世帯構成（一人暮らし=1.0）	0.860	0.592	1.250	0.4300
⑨がん検診の認知度（知らなかった=1.0）	1.240	0.907	1.700	0.1760

#### (4) 子宮がん(子宮頸がん) 検診

ロジスティック回帰分析の結果、子宮がん(子宮頸がん) 検診受診の有無と年代の関連性についてみると、P 値は **0.0001** となり、**95%**の信頼区間で年代による有意差が認められた。また、20 代を **1.0** とした場合の各年代のオッズ比は 30 代が **2.420**、40 代が **2.280**、50 代が **1.630**、60 代が **0.837** となり、**30~50** 代の受診比率が高くなる傾向がみられた。

喫煙習慣との関連性についてみると、P 値は **0.0001** となり、**95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差が認められた。また、喫煙習慣ありを **1.0** とした場合のオッズ比は **1.920** となり、喫煙習慣なしでの受診比率が高くなる傾向がみられた。

飲酒習慣との関連性についてみると、P 値は **0.0237** となり、**95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差が認められた。また、飲酒習慣ありを **1.0** とした場合のオッズ比は **0.777** となり、飲酒習慣ありでの受診比率が高くなる傾向がみられた。

入院歴との関連性についてみると、P 値は **0.5070** となり、**95%**の信頼区間で入院歴の有無による有意差は認められなかった。

就労状況の関連性についてみると、P 値は **0.0040** となり、**95%**の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。また、就労なしを **1.0** とした場合のオッズ比は、**1.410** となり、就労ありでの受診比率が高くなる傾向がみられた。

医療保険の種類との関連性についてみると、P 値は **2.00E-10** となり、**95%**の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。また、国民健康保険を **1.0** とした場合のオッズ比は **2.310** となり、国民健康保険以外での受診比率が高くなる傾向がみられた。

がんの既往歴との関連性についてみると、P 値は **0.0877** となり、**95%**の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差は認められなかった。

世帯構成との関連性についてみると、P 値は **0.0247** となり、**95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯での有意差が認められた。また、一人暮らしを **1.0** とした場合のオッズ比は **1.370** となり、一人暮らし以外の世帯での受診比率が高くなる傾向がみられた。

札幌市のがん検診の制度の認知度との関連性についてみると、P 値は **0.0037** となり、**95%**の信頼区間で札幌市のがん検診の制度の認知度の有無による有意差が認められた。また、札幌市のがん検診の制度の認知度を知らなかった人を **1.0** とした場合のオッズ比は **1.380** となり、制度を知っていた人の受診比率が高くなる傾向がみられた。

これらの結果から、子宮がん(子宮頸がん) 検診受診の有無については、年代、喫煙習慣、飲酒習慣、就労状況、医療保険の種類、世帯構成、札幌市のがん検診の制度の認知度との間で強い関係性があると考えられる。

子宮がん（子宮頸がん）検診受診の有無におけるロジスティック回帰分析の結果

【女性】

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
①年代別	0.844	0.774	0.919	0.0001
②喫煙習慣（喫煙者=1.0）	1.920	1.380	2.680	0.0001
③飲酒習慣（飲酒習慣あり=1.0）	0.777	0.624	0.967	0.0237
④入院歴（入院歴なし=1.0）	0.929	0.746	1.160	0.5070
⑤就労状況（働いていない=1.0）	1.410	1.120	1.780	0.0040
⑥医療保険（国保=1.0）	2.310	1.790	3.000	2.00E-10
⑦がんの既往歴（既往歴あり=1.0）	0.711	0.480	1.050	0.0877
⑧世帯構成（一人暮らし=1.0）	1.370	1.040	1.790	0.0247
⑨がん検診の認知度（知らなかった=1.0）	1.380	1.110	1.710	0.0037

子宮がん（子宮頸がん）検診受診の有無と年代のロジスティック回帰分析の詳細結果

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
20代	1.000			
30代	2.420	1.510	3.880	2.43E-04
40代	2.280	1.500	3.470	1.12E-04
50代	1.630	1.080	2.460	2.11E-02
60代	0.837	0.553	1.270	3.99E-01

## (5) 乳がん検診

ロジスティック回帰分析の結果、乳がん検診受診の有無と年代の関連性についてみると、P 値は **1.59E-08** となり、**95%**の信頼区間で年代による有意差が認められた。また、**40**代を **1.0**とした場合の各年代のオッズ比は **50**代が **0.703**、**60**代が **0.415** となり、年代が低いほど受診比率が高くなる傾向がみられた。

喫煙習慣との関連性についてみると、P 値は **4.04E-07** となり、**95%**の信頼区間で喫煙習慣の有無による有意差が認められた。また、喫煙習慣ありを **1.0**とした場合のオッズ比は **2.590** となり、喫煙習慣なしでの受診比率が高くなる傾向がみられた。

飲酒習慣との関連性についてみると、P 値は **0.1800** となり、**95%**の信頼区間で飲酒習慣の有無による有意差は認められなかった。

入院歴との関連性についてみると、P 値は **0.5010** となり、**95%**の信頼区間で入院歴の有無による有意差は認められなかった。

就労状況の関連性についてみると、P 値は **0.0023** となり、**95%**の信頼区間で就労状況の有無による有意差が認められた。また、就労なしを **1.0**とした場合のオッズ比は、**1.500** となり、就労ありでの受診比率が高くなる傾向がみられた。

医療保険の種類との関連性についてみると、P 値は **1.48E-09** となり、**95%**の信頼区間で国民健康保険とそれ以外の保険での有意差が認められた。また、国民健康保険を **1.0**とした場合のオッズ比は **2.380** となり、国民健康保険以外での受診比率が高くなる傾向がみられた。

がんの既往歴との関連性についてみると、P 値は **3.90E-05** となり、**95%**の信頼区間でがんの既往歴の有無による有意差が認められた。また、がんの既往歴ありを **1.0**とした場合のオッズ比は、**0.711** となり、がんの既往歴がある人の受診比率が高くなる傾向がみられた。

世帯構成との関連性についてみると、P 値は **0.7470** となり、**95%**の信頼区間で一人暮らしとそれ以外の世帯での有意差は認められなかった。

札幌市のがん検診の制度の認知度との関連性についてみると、P 値は **0.0141** となり、**95%**の信頼区間で札幌市のがん検診の制度の認知度の有無による有意差が認められた。また、札幌市のがん検診の制度の認知度を知らなかった人を **1.0**とした場合のオッズ比は **1.370** となり、制度を知っていた人の受診比率が高くなる傾向がみられた。

これらの結果から、乳がん検診受診の有無については、年代、喫煙習慣、就労状況、医療保険の種類、がんの既往歴、札幌市のがん検診の制度の認知度との間で強い関係性があると考えられる。

乳がん検診受診の有無におけるロジスティック回帰分析の結果

【女性】

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
①年代別	0.643	0.552	0.749	1.59E-08
②喫煙習慣（喫煙者=1.0）	2.590	1.790	3.730	4.04E-07
③飲酒習慣（飲酒習慣あり=1.0）	0.843	0.657	1.080	0.1800
④入院歴（入院歴なし=1.0）	1.090	0.846	1.410	0.5010
⑤就労状況（働いていない=1.0）	1.500	1.150	1.940	0.0023
⑥医療保険（国保=1.0）	2.380	1.800	3.150	1.48E-09
⑦がんの既往歴（既往歴あり=1.0）	0.386	0.245	0.608	3.90E-05
⑧世帯構成（一人暮らし=1.0）	1.050	0.766	1.450	0.7470
⑨がん検診の認知度（知らなかった=1.0）	1.370	1.070	1.770	0.0141

乳がん検診受診の有無と年代のロジスティック回帰分析の詳細結果

	オッズ比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
40代	1.000			
50代	0.703	0.516	0.957	2.51E-02
60代	0.415	0.306	0.564	1.85E-08

## 4. 本調査の結果と他政令市、政令市平均値の受診率との比較

本章では、本調査で把握した各がん検診の受診率について、他政令市の受診率及び政令市平均値との比較を行った。

なお、他政令市の受診率及び政令市平均値は、2019年国民生活基礎調査（厚生労働省）で示される「がん検診受診状況」のデータを用いて算出した。受診率の算出に当たっては、本調査において検診受診の有無が不明なサンプルを除外した上で受診率を算出していることから、他政令市の受診率及び政令市平均値についても、検診受診の有無を不詳とするデータを除外した上で受診率を算出した。

また、札幌市の受診率については、調査手法の違いによるデータの偏り等が生じることも懸念されるため、本調査の結果から算出したデータと国民生活基礎調査から算出したデータを併記した。

### 4. 1 肺がん検診

#### (1) 男性

男性の肺がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**66.1%**となっており、他政令市の受診率を上回り、最も高い水準となっている。

ただし、2019年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**55.2%**にとどまり、政令市の中では**10位**となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

#### (2) 女性

女性の肺がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**53.4%**となっており、千葉市、仙台市に続いて、政令市の中では**3番目**に高い水準となっている。

ただし、2019年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**39.9%**にとどまり、政令市の中では**16位**となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

#### (3) 全体

男女全体での肺がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**59.2%**となっており、千葉市、仙台市に続いて、政令市の中では**3番目**に高い水準となっている。

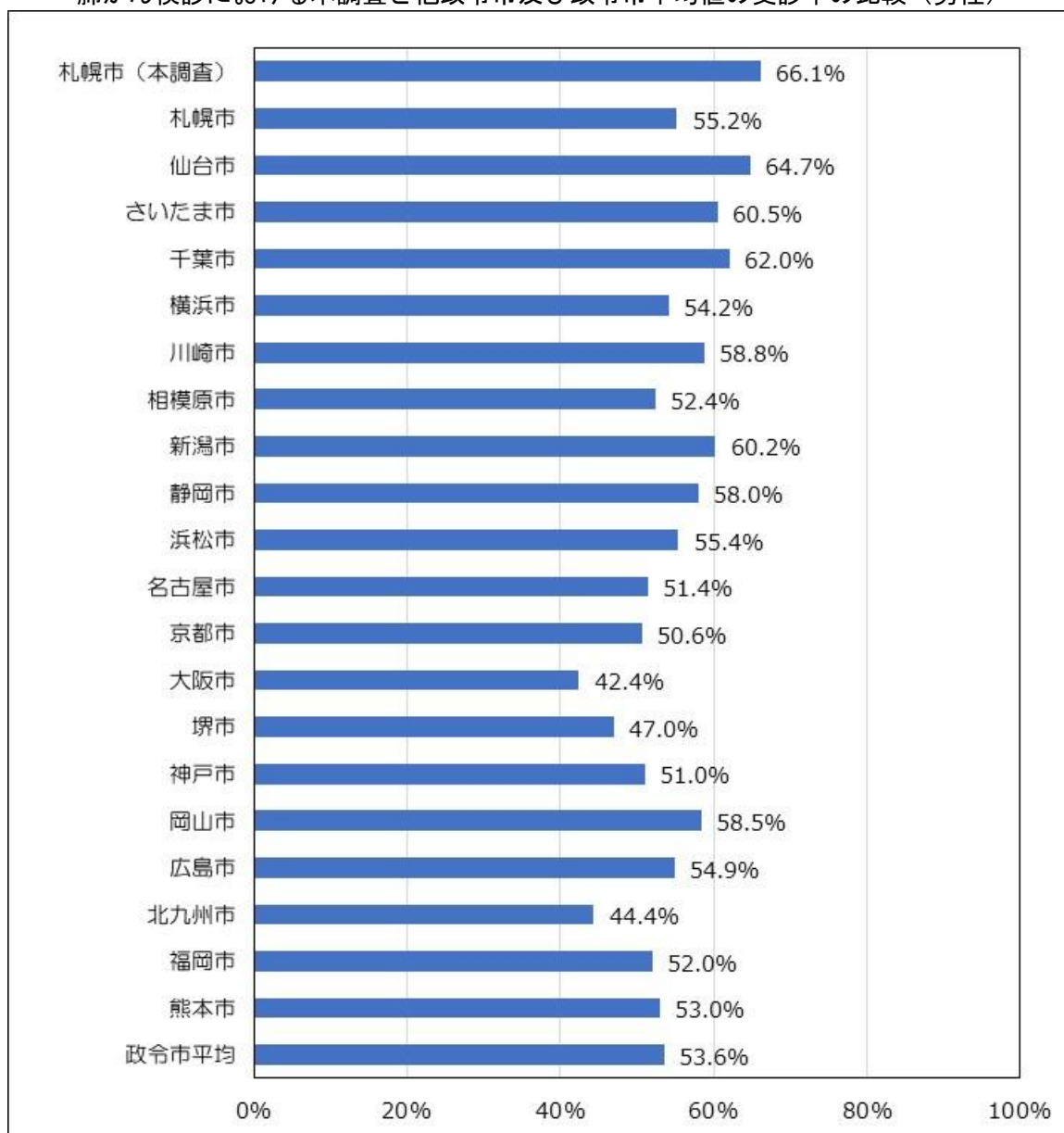
ただし、2019年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**47.1%**にとどまり、政令市の中では**12位**となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。



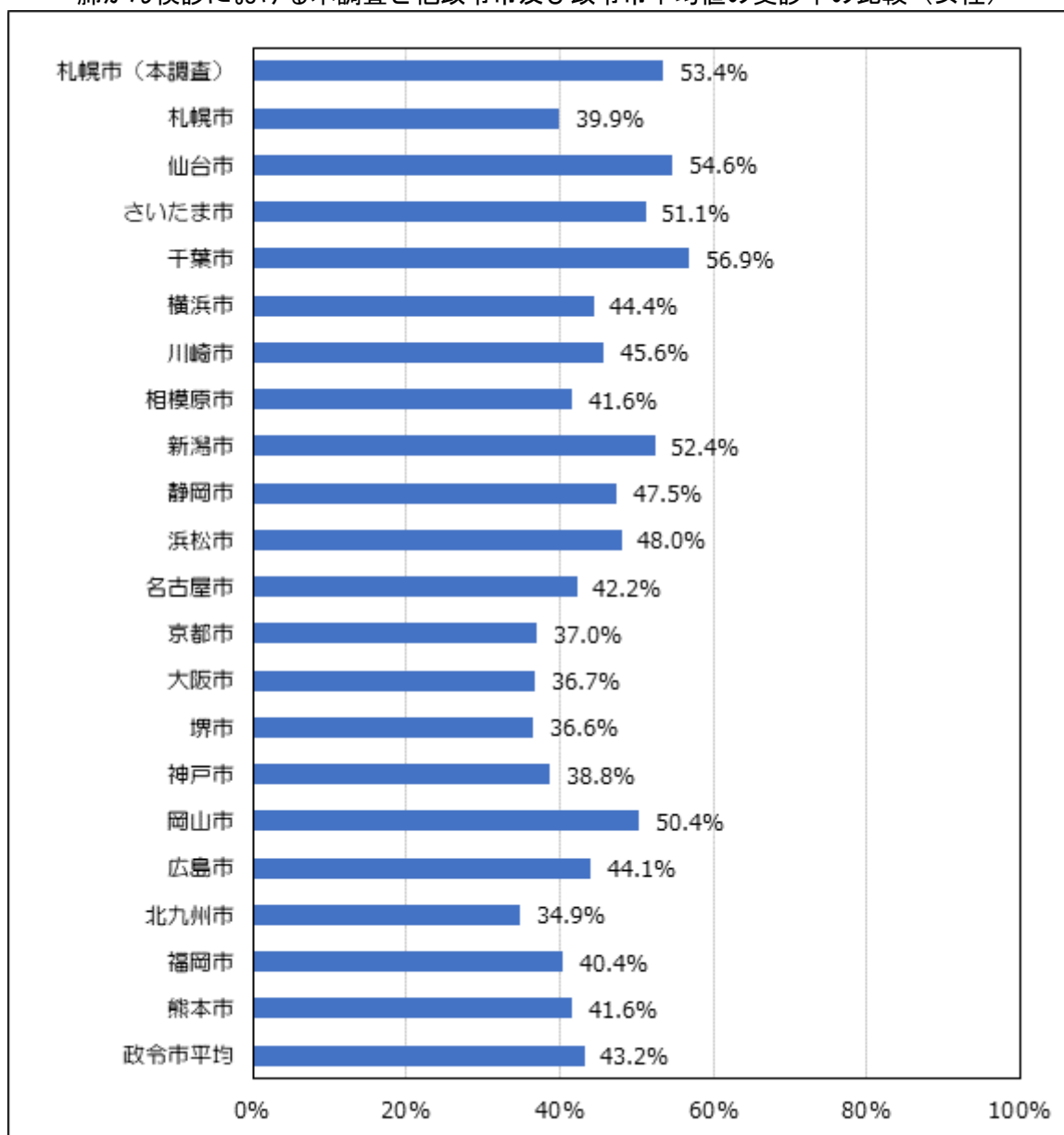
肺がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較

	男性		女性		全体	
	受診率	順位	受診率	順位	受診率	順位
札幌市（本調査）	66.1%	1	53.4%	3	59.2%	3
札幌市	55.2%	10	39.9%	16	47.1%	12
仙台市	64.7%	2	54.6%	2	59.4%	2
さいたま市	60.5%	4	51.1%	5	55.7%	5
千葉市	62.0%	3	56.9%	1	59.5%	1
横浜市	54.2%	12	44.4%	10	49.3%	11
川崎市	58.8%	6	45.6%	9	51.9%	8
相模原市	52.4%	14	41.6%	13	46.9%	13
新潟市	60.2%	5	52.4%	4	56.2%	4
静岡市	58.0%	8	47.5%	8	52.7%	7
浜松市	55.4%	9	48.0%	7	51.7%	9
名古屋市	51.4%	16	42.2%	12	46.7%	15
京都市	50.6%	18	37.0%	18	43.2%	18
大阪市	42.4%	21	36.7%	19	39.4%	20
堺市	47.0%	19	36.6%	20	41.6%	19
神戸市	51.0%	17	38.8%	17	44.7%	17
岡山市	58.5%	7	50.4%	6	54.3%	6
広島市	54.9%	11	44.1%	11	49.6%	10
北九州市	44.4%	20	34.9%	21	39.2%	21
福岡市	52.0%	15	40.4%	15	45.8%	16
熊本市	53.0%	13	41.6%	14	46.9%	14
政令市平均	53.6%		43.2%		48.2%	

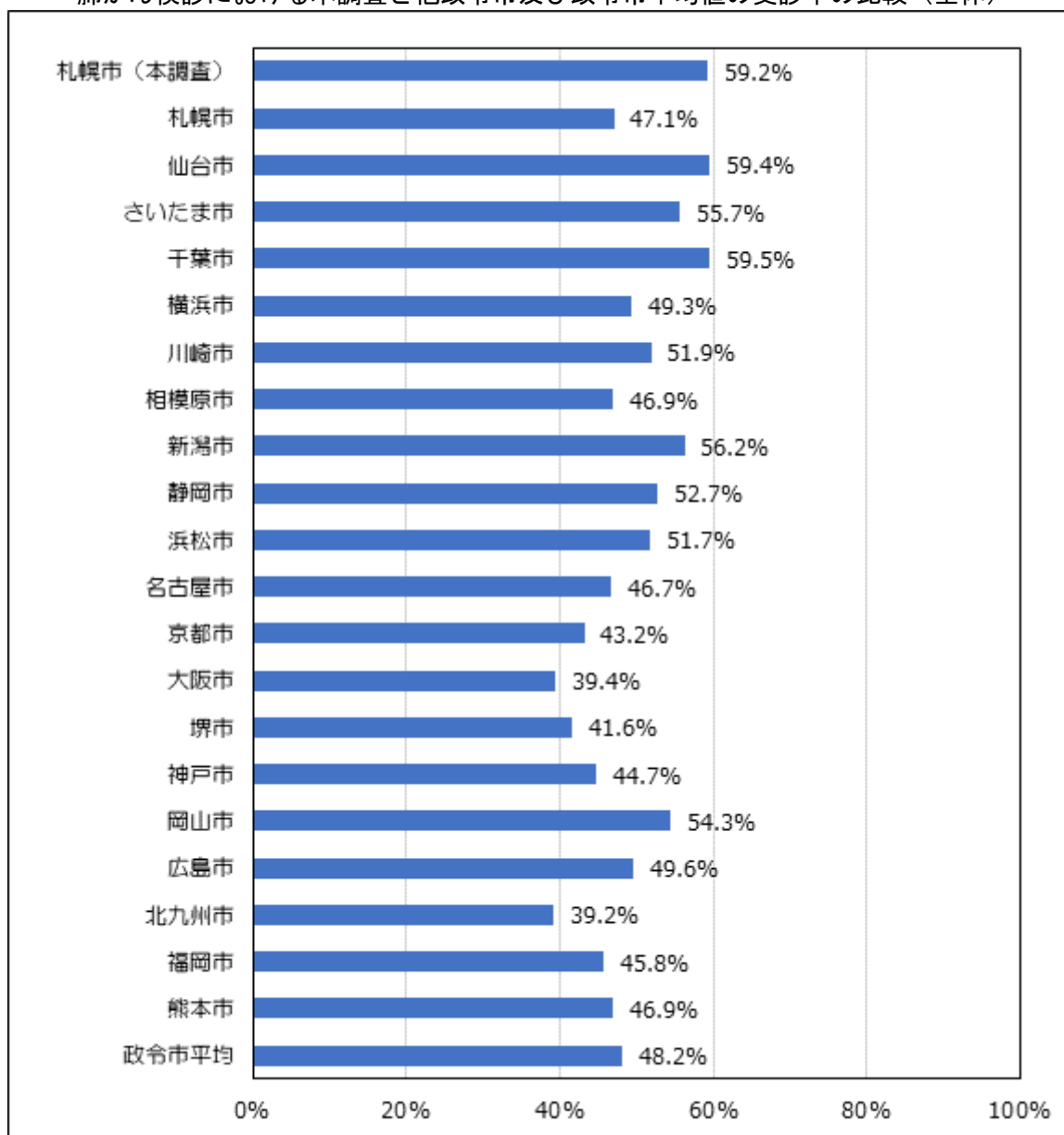
肺がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較（男性）



肺がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較（女性）



肺がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較（全体）



## 4. 2 大腸がん検診

### (1) 男性

男性の大腸がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**59.2%**となっており、他政令市の受診率を上回り、最も高い水準となっている。

ただし、**2019**年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**51.1%**にとどまり、政令市の中では**7**位となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

### (2) 女性

女性の大腸がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**47.7%**となっており、千葉市、仙台市に続いて、政令市の中では**3**番目に高い水準となっている。

ただし、**2019**年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**39.9%**にとどまり、政令市の中では**16**位となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

### (3) 全体

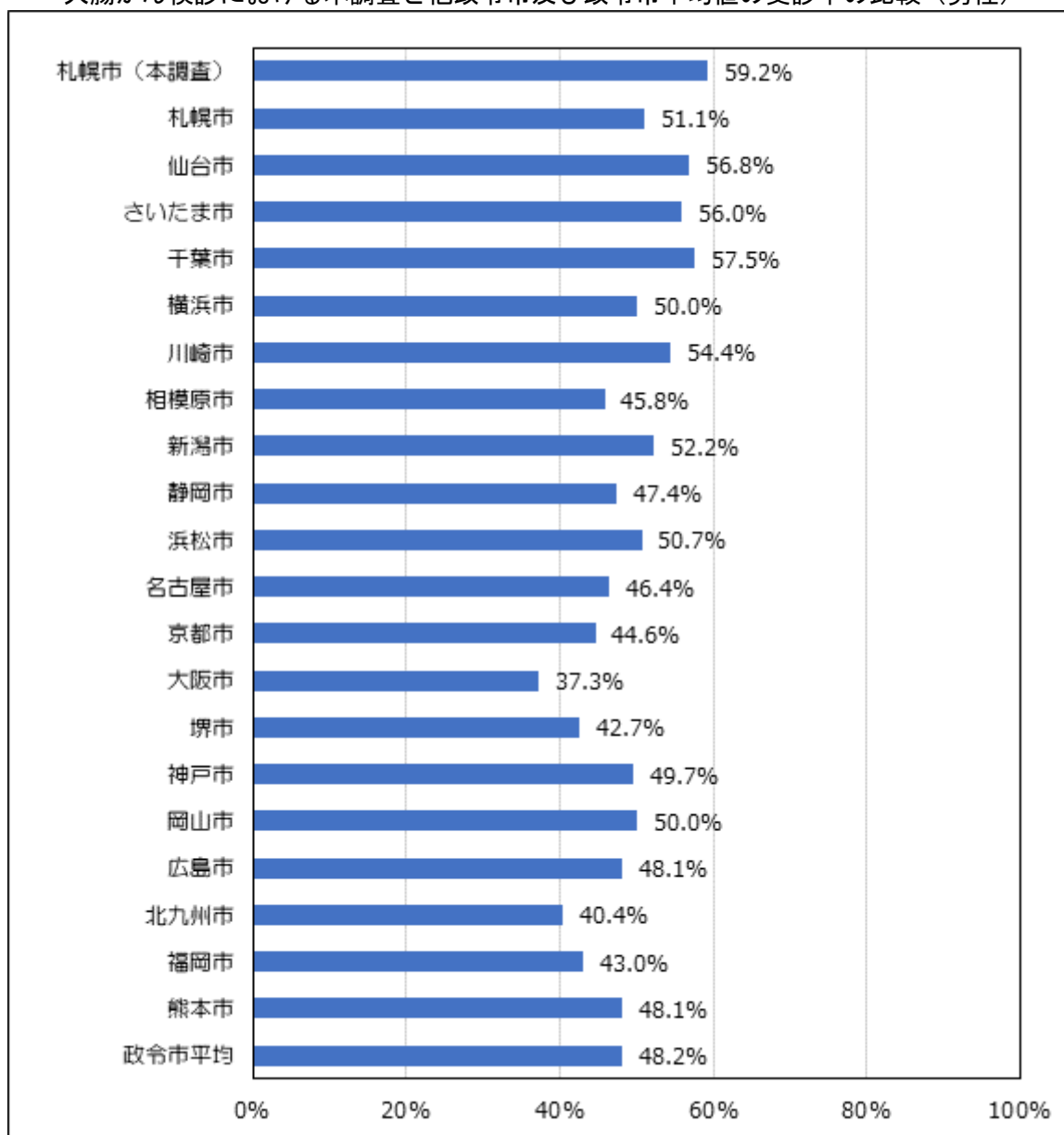
男女全体での大腸がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**53.4%**となっており、千葉市、仙台市に続いて、政令市の中では**3**番目に高い水準となっている。

ただし、**2019**年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**37.8%**にとどまり、政令市の中では**15**位となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

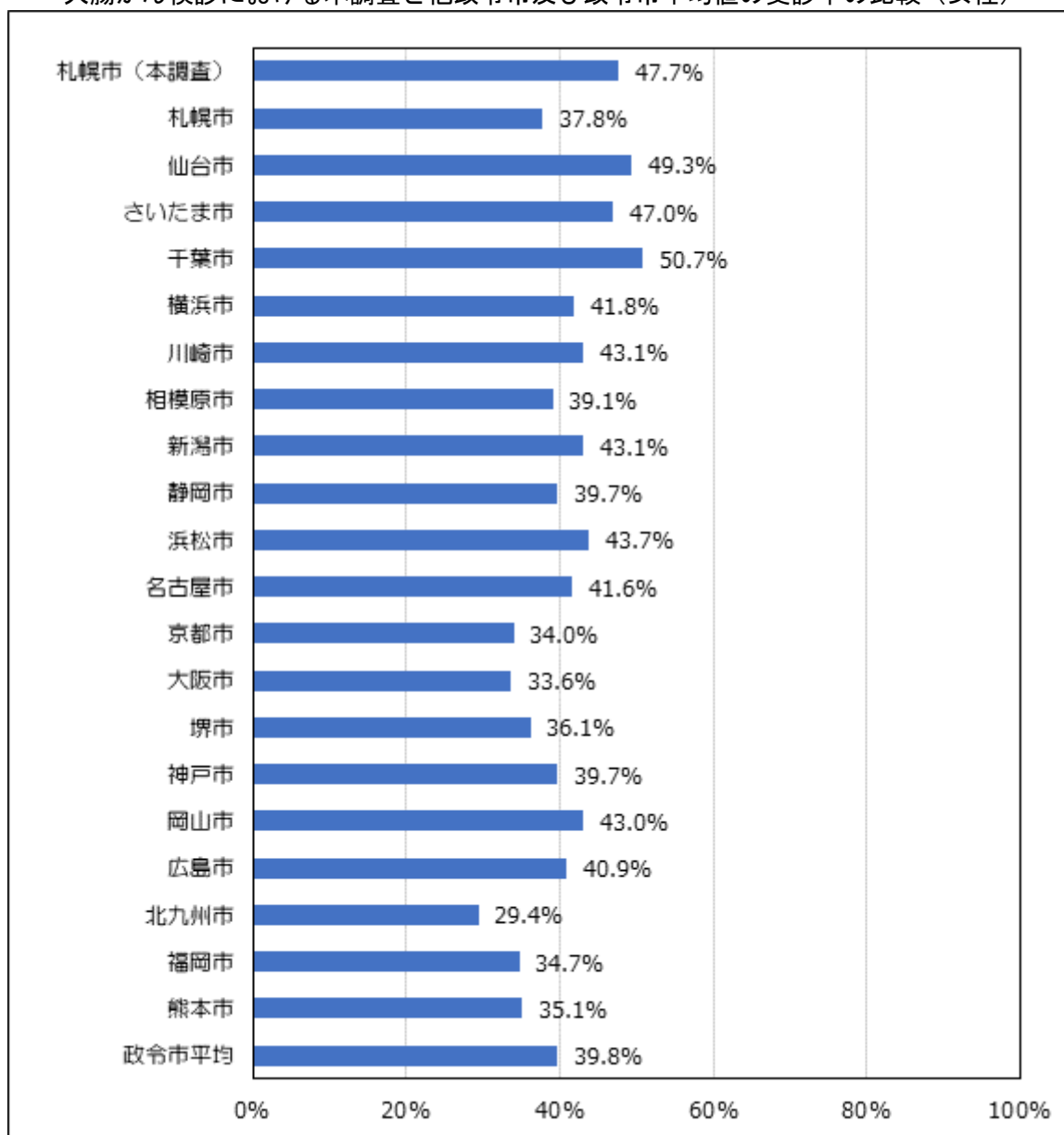
大腸がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較

	男性		女性		全体	
	受診率	順位	受診率	順位	受診率	順位
札幌市（本調査）	59.2%	1	47.7%	3	53.0%	2
札幌市	51.1%	7	37.8%	15	44.0%	13
仙台市	56.8%	3	49.3%	2	52.9%	3
さいたま市	56.0%	4	47.0%	4	51.4%	4
千葉市	57.5%	2	50.7%	1	54.1%	1
横浜市	50.0%	9	41.8%	9	45.9%	9
川崎市	54.4%	5	43.1%	7	48.5%	5
相模原市	45.8%	16	39.1%	14	42.4%	15
新潟市	52.2%	6	43.1%	6	47.6%	6
静岡市	47.4%	14	39.7%	12	43.5%	14
浜松市	50.7%	8	43.7%	5	47.2%	7
名古屋市	46.4%	15	41.6%	10	44.0%	12
京都市	44.6%	17	34.0%	19	38.8%	18
大阪市	37.3%	21	33.6%	20	35.4%	20
堺市	42.7%	19	36.1%	16	39.2%	17
神戸市	49.7%	11	39.7%	13	44.5%	10
岡山市	50.0%	9	43.0%	8	46.4%	8
広島市	48.1%	13	40.9%	11	44.5%	11
北九州市	40.4%	20	29.4%	21	34.4%	21
福岡市	43.0%	18	34.7%	18	38.6%	19
熊本市	48.1%	12	35.1%	17	41.1%	16
政令市平均	48.2%		39.8%		43.8%	

大腸がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較（男性）

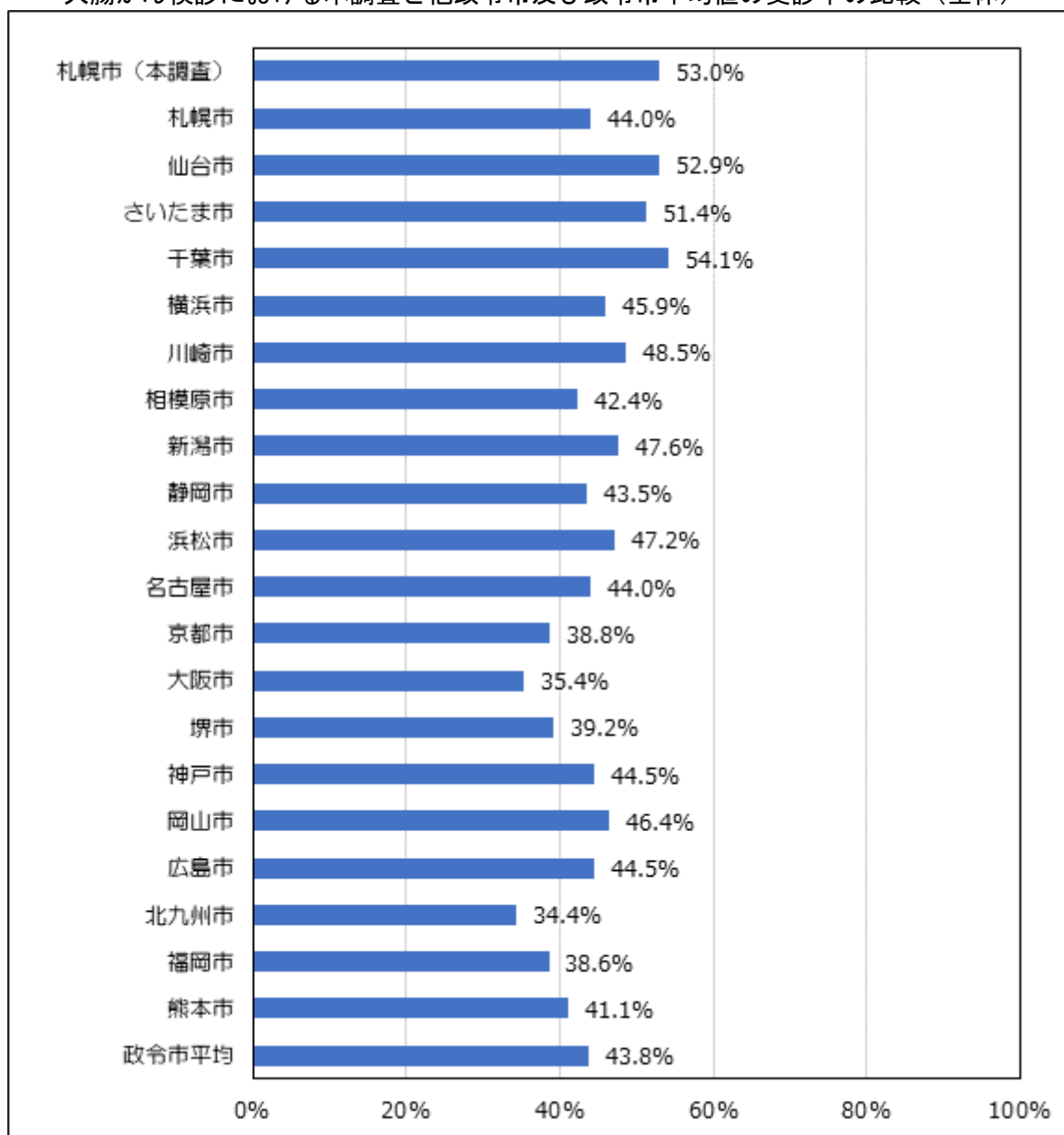


大腸がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較（女性）





大腸がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較（全体）



#### 4. 3 胃がん検診

##### (1) 男性

男性の胃がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**67.4%**となっており、他政令市の受診率を上回り、最も高い水準となっている。

ただし、**2019**年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**58.4%**にとどまり、政令市の中では**8**位となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

##### (2) 女性

女性の胃がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**48.7%**となっており、政令市の中では**6**番目に高い水準となっている。**1**位の仙台市（**57.8%**）と比較すると、受診率は**9.1%**下回っている。

ただし、**2019**年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**43.0%**にとどまり、政令市の中では**14**位となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

##### (3) 全体

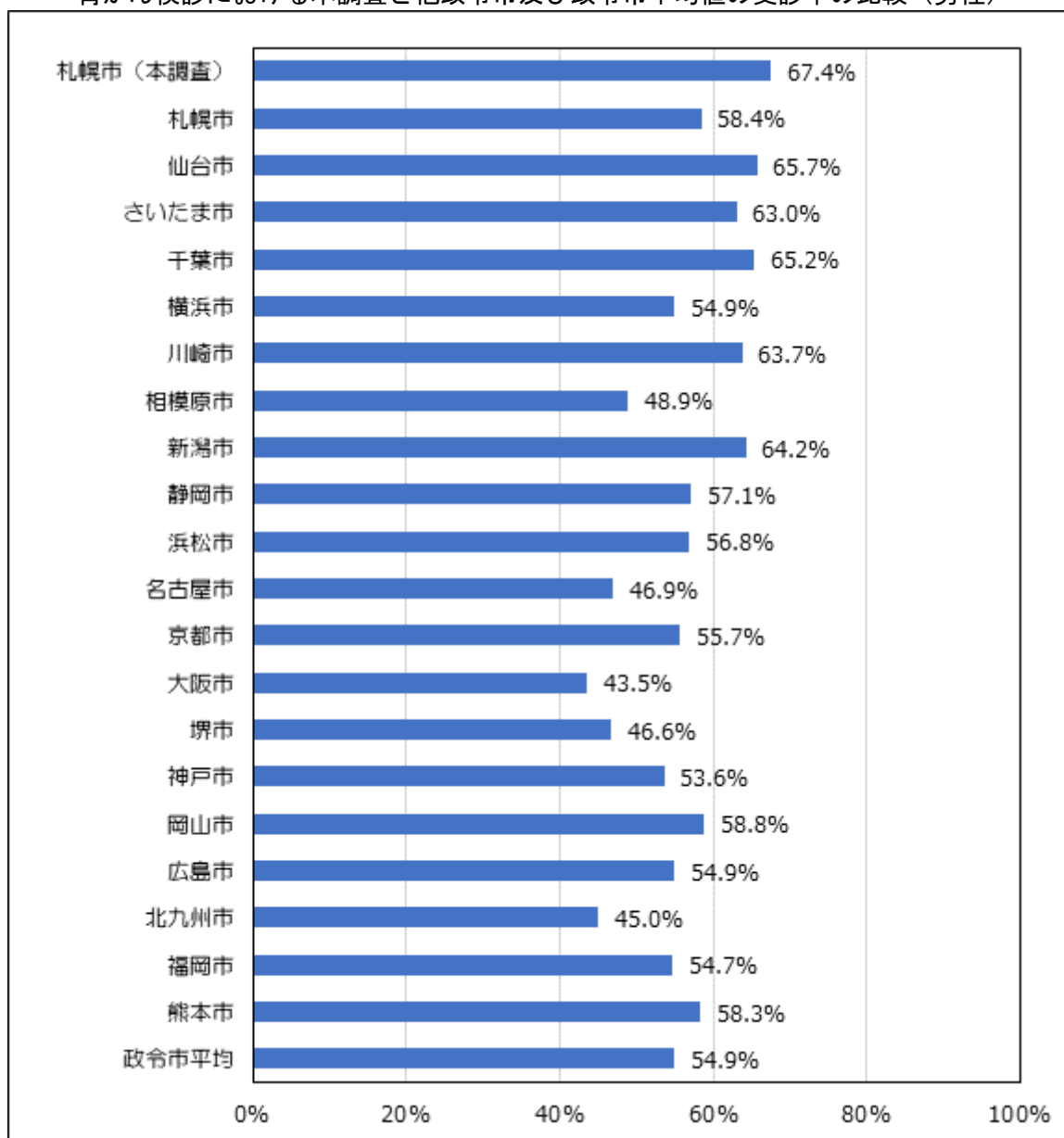
男女全体での胃がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**57.7%**となっており、仙台市、千葉市、新潟市に続いて、政令市の中では**4**番目に高い水準となっている。

ただし、**2019**年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**50.2%**にとどまり、政令市の中では**13**位となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

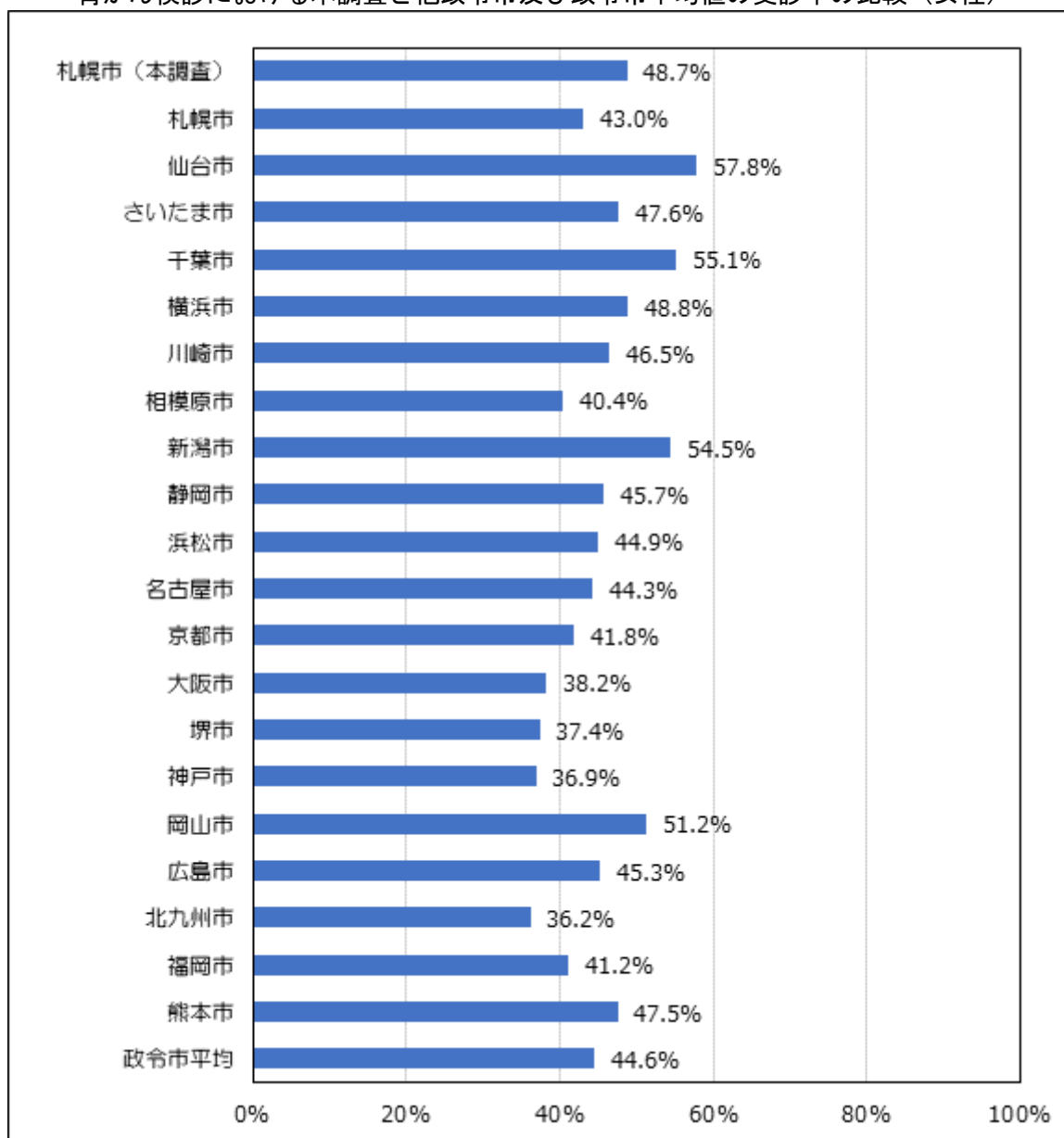
胃がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較

	男性		女性		全体	
	受診率	順位	受診率	順位	受診率	順位
札幌市（本調査）	67.4%	1	48.7%	6	57.7%	4
札幌市	58.4%	8	43.0%	14	50.2%	13
仙台市	65.7%	2	57.8%	1	61.6%	1
さいたま市	63.0%	6	47.6%	7	55.3%	5
千葉市	65.2%	3	55.1%	2	60.1%	2
横浜市	54.9%	13	48.8%	5	51.8%	9
川崎市	63.7%	5	46.5%	9	54.7%	7
相模原市	48.9%	17	40.4%	17	44.6%	18
新潟市	64.2%	4	54.5%	3	59.3%	3
静岡市	57.1%	10	45.7%	10	51.1%	10
浜松市	56.8%	11	44.9%	12	50.8%	11
名古屋市	46.9%	18	44.3%	13	45.6%	16
京都市	55.7%	12	41.8%	15	48.1%	14
大阪市	43.5%	21	38.2%	18	40.7%	20
堺市	46.6%	19	37.4%	19	41.7%	19
神戸市	53.6%	16	36.9%	20	44.8%	17
岡山市	58.8%	7	51.2%	4	54.9%	6
広島市	54.9%	14	45.3%	11	50.2%	12
北九州市	45.0%	20	36.2%	21	40.2%	21
福岡市	54.7%	15	41.2%	16	47.5%	15
熊本市	58.3%	9	47.5%	8	52.4%	8
政令市平均	54.9%		44.6%		49.5%	

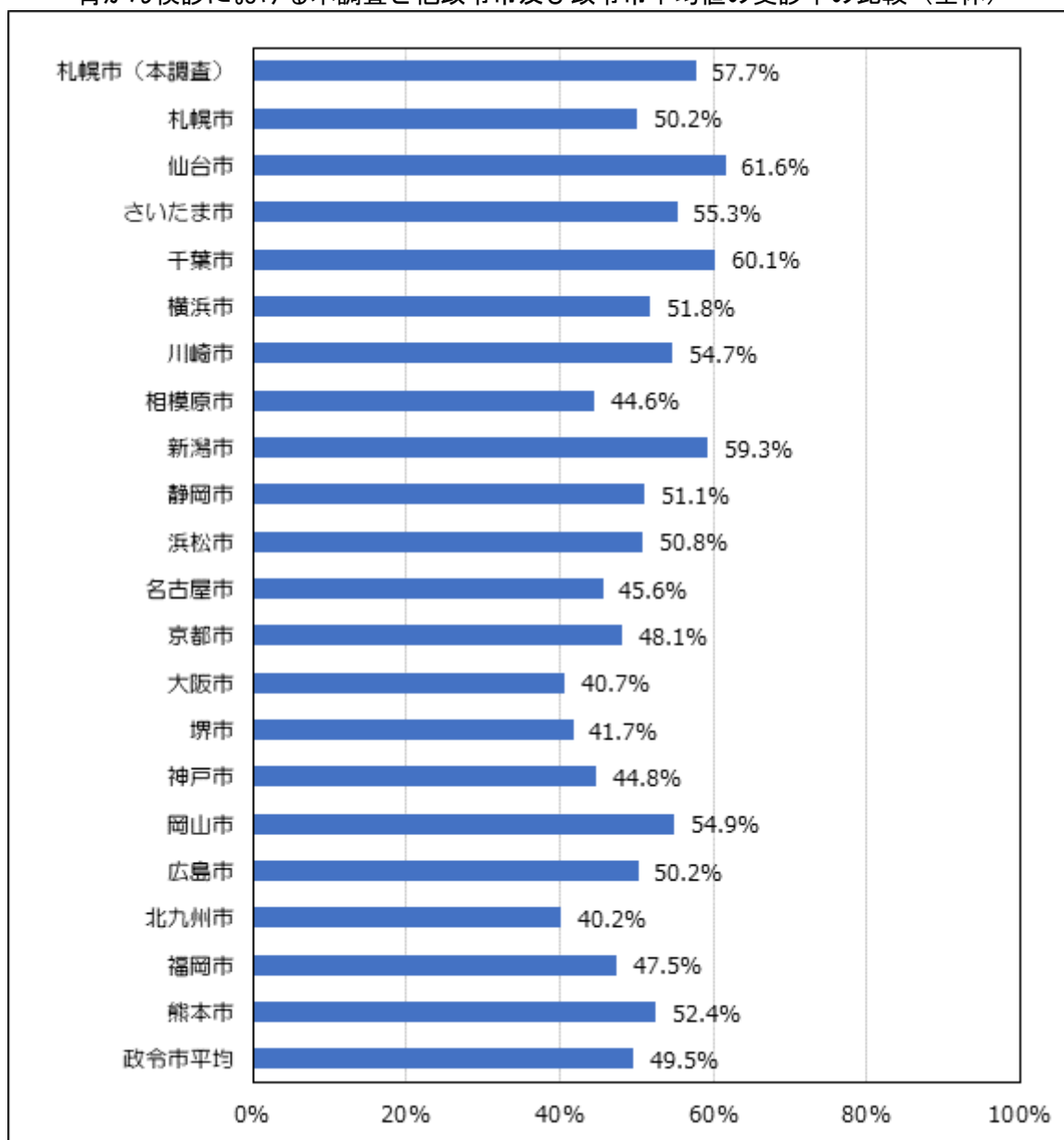
胃がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較（男性）



胃がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較（女性）



胃がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較（全体）



#### 4. 4 子宮がん（子宮頸がん）検診

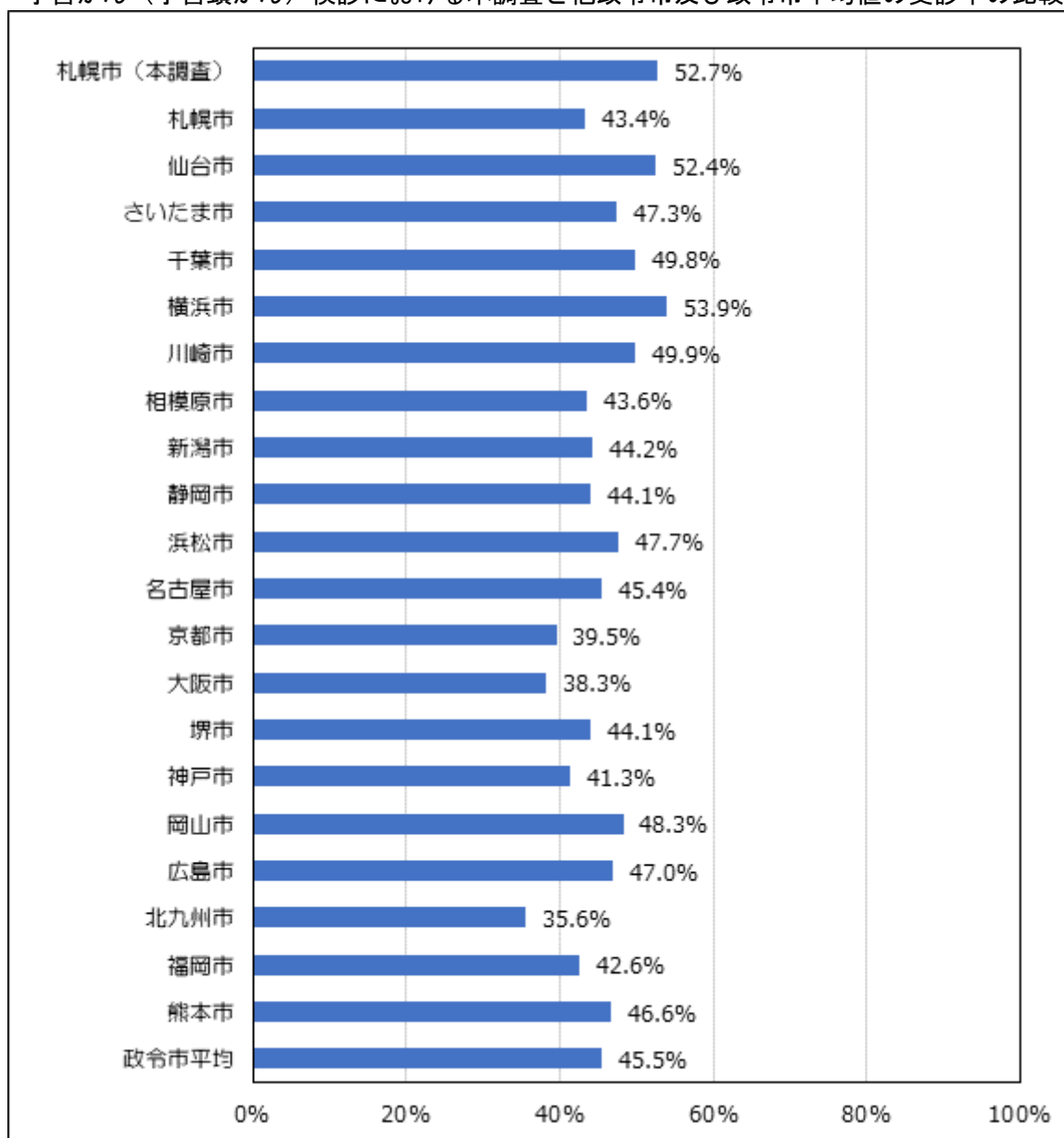
子宮がん（子宮頸がん）検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**52.7%**となり、横浜市に続いて、政令市の中では2番目に高い水準となっている。

ただし、2019年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**43.4%**にとどまり、政令市の中では16位となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

#### 子宮がん（子宮頸がん）検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較

	女性	
	受診率	順位
札幌市（本調査）	52.7%	2
札幌市	43.4%	16
仙台市	52.4%	3
さいたま市	47.3%	8
千葉市	49.8%	5
横浜市	53.9%	1
川崎市	49.9%	4
相模原市	43.6%	15
新潟市	44.2%	12
静岡市	44.1%	13
浜松市	47.7%	7
名古屋市	45.4%	11
京都市	39.5%	19
大阪市	38.3%	20
堺市	44.1%	14
神戸市	41.3%	18
岡山市	48.3%	6
広島市	47.0%	9
北九州市	35.6%	21
福岡市	42.6%	17
熊本市	46.6%	10
政令市全体	45.5%	

子宮がん（子宮頸がん）検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較





#### 4. 5 乳がん検診

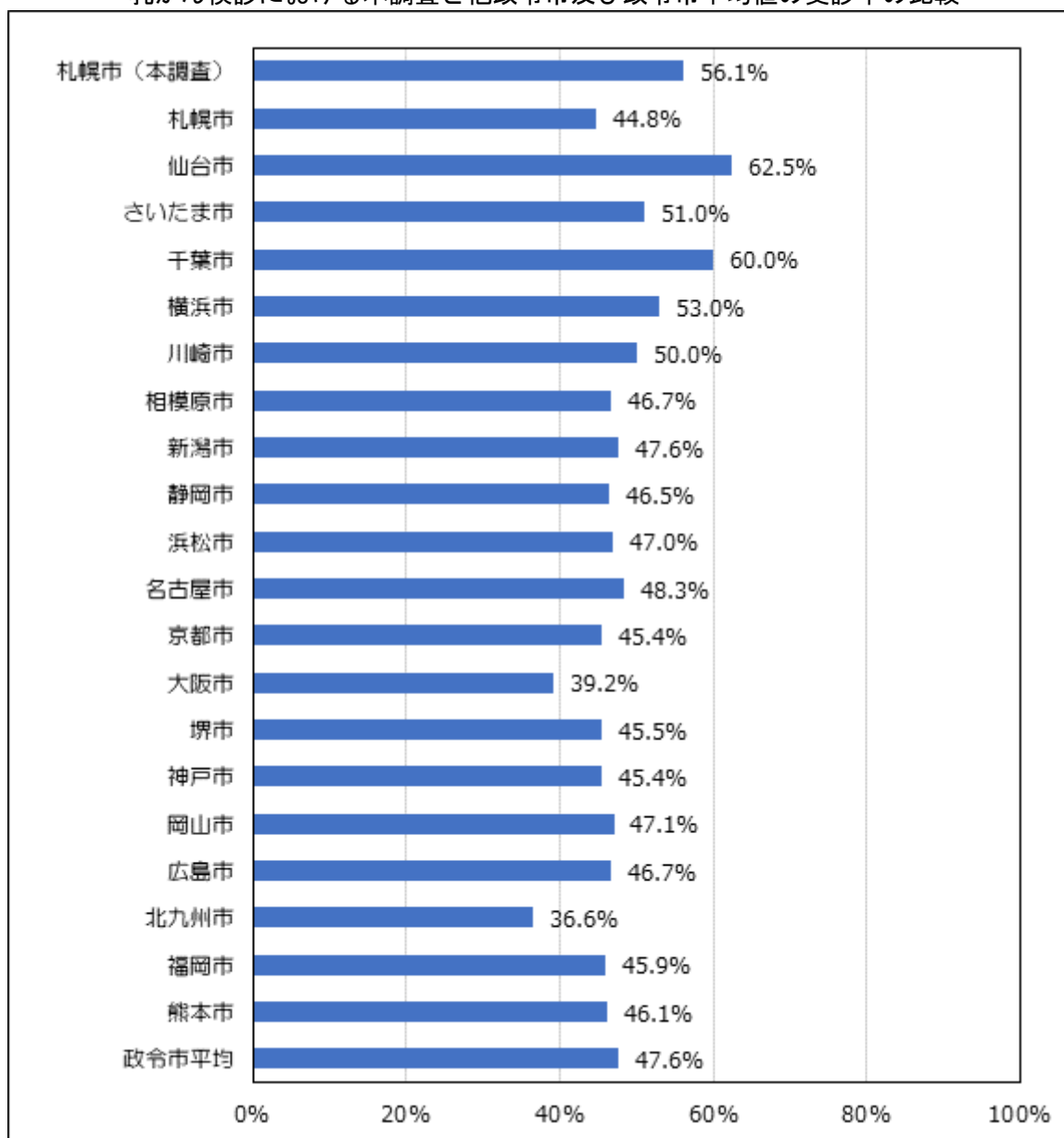
乳がん検診の受診率をみると、札幌市（本調査）の受診率は**56.1%**となっており、仙台市、千葉市に続いて、政令市の中では**3**番目に高い水準となっている。

ただし、**2019**年国民生活基礎調査における札幌市の受診率は**44.8%**にとどまり、政令市の中では**19**位となっていたことから、本調査で把握した受診率が高めに表れている懸念もある。

乳がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較

	女性	
	受診率	順位
札幌市（本調査）	56.1%	3
札幌市	44.8%	19
仙台市	62.5%	1
さいたま市	51.0%	5
千葉市	60.0%	2
横浜市	53.0%	4
川崎市	50.0%	6
相模原市	46.7%	12
新潟市	47.6%	8
静岡市	46.5%	13
浜松市	47.0%	10
名古屋市	48.3%	7
京都市	45.4%	18
大阪市	39.2%	20
堺市	45.5%	16
神戸市	45.4%	17
岡山市	47.1%	9
広島市	46.7%	11
北九州市	36.6%	21
福岡市	45.9%	15
熊本市	46.1%	14
政令市全体	47.6%	

乳がん検診における本調査と他政令市及び政令市平均値の受診率の比較



# 資 料 編

資料編 本調査におけるアンケート集計結果（単純集計）の詳細

(1) 回答者自身について

がんの罹患状況

		実数	構成比
1	かかったことはない	2,067	91.4%
2	現在かかっており、治療継続中である	35	1.5%
3	過去にかかったことがあるが、治療は終了している、または、経過観察中である	160	7.1%
	合計	2,262	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

身の回りで、がんにかかったことのある人（複数回答）

		実数	構成比
1	ご家族（あなたと日常的に同じ家に住んで暮らす方）	663	29.3%
2	親戚（離れて住んでいてもあなたと血縁関係がある人々）	1,306	57.8%
3	親しい友人・知人	647	28.6%
4	その他	129	5.7%
5	いない	275	12.2%
6	わからない	37	1.6%
	サンプル計	2,259	

飲酒する頻度

		実数	構成比
1	ある	1,116	49.3%
2	ない	1,149	50.7%
	合計	2,265	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

喫煙習慣

		実数	構成比
1	喫煙している	409	18.1%
2	禁煙した	784	34.6%
3	喫煙したことがない	1,070	47.3%
	合計	2,263	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

入院した経験

		実数	構成比
1	ある	1,464	64.7%
2	ない	799	35.3%
	合計	2,263	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

(2) 肺がん検診について

肺がん検診の受診の有無

		実数	構成比
1	受けた	1,155	59.2%
2	受けなかった	796	40.8%
	合計	1,951	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診を受けた機会

		実数	構成比
1	札幌市が実施する検診	109	9.6%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	929	81.4%
3	その他	103	9.0%
	合計	1,141	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）	909	79.3%
2	定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）	86	7.5%
3	毎年受けているから・受けていたから	384	33.5%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	11	1.0%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	58	5.1%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	15	1.3%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	35	3.1%
8	医師に勧められたから	33	2.9%
9	勤務先に勧められたから	29	2.5%
10	家族や友人・知人に勧められたから	7	0.6%
11	パンフレットやポスターなどを見て	3	0.3%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	104	9.1%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	1	0.1%
15	その他	15	1.3%
	サンプル計	1,146	

検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	312	39.4%
2	検診・検査の案内がなかったから	163	20.6%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	31	3.9%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	108	13.6%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	219	27.7%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	110	13.9%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	101	12.8%
8	検診に費用がかかるから	138	17.4%
9	検査方法が面倒だから	22	2.8%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	1	0.1%
11	検査内容が怖い・不快だから	23	2.9%
12	がんが見つかるのが怖いから	36	4.5%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	50	6.3%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	70	8.8%
16	その他	66	8.3%
17	特に理由はない・何となく	71	9.0%
	サンプル計	792	

(3) 大腸がん検診について

大腸がん検診の受診の有無

		実数	構成比
1	受けた	1,037	53.0%
2	受けなかった	921	47.0%
	合計	1,958	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診を受けた機会

		実数	構成比
1	札幌市が実施する検診	121	11.9%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	749	73.4%
3	その他	150	14.7%
	合計	1,020	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）	714	69.3%
2	定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）	116	11.3%
3	毎年受けているから・受けていたから	321	31.1%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	14	1.4%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	95	9.2%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	41	4.0%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	55	5.3%
8	医師に勧められたから	63	6.1%
9	勤務先に勧められたから	17	1.6%
10	家族や友人・知人に勧められたから	18	1.7%
11	パンフレットやポスターなどを見て	5	0.5%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	147	14.3%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%
15	その他	18	1.7%
	サンプル計	1,031	

検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	370	40.5%
2	検診・検査の案内がなかったから	138	15.1%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	32	3.5%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	108	11.8%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	251	27.5%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	110	12.0%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	113	12.4%
8	検診に費用がかかるから	133	14.6%
9	検査方法が面倒だから	73	8.0%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	5	0.5%
11	検査内容が怖い・不快だから	67	7.3%
12	がんが見つかるのが怖いから	40	4.4%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	33	3.6%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	58	6.3%
16	その他	106	11.6%
17	特に理由はない・何となく	77	8.4%
	サンプル計	914	

(4) 胃がん検診について

胃がん検診の受診の有無

		実数	構成比
1	受けた	793	57.7%
2	受けなかった	582	42.3%
	合計	1,375	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診を受けた機会

		実数	構成比
1	札幌市が実施する検診	87	11.2%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	508	65.5%
3	その他	181	23.3%
	合計	776	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）	414	52.4%
2	定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）	145	18.4%
3	毎年受けているから・受けていたから	266	33.7%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	4	0.5%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	73	9.2%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	65	8.2%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	40	5.1%
8	医師に勧められたから	70	8.9%
9	勤務先に勧められたから	14	1.8%
10	家族や友人・知人に勧められたから	12	1.5%
11	パンフレットやポスターなどを見て	2	0.3%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	121	15.3%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%
15	その他	20	2.5%
	サンプル計	790	



検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	195	33.7%
2	検診・検査の案内がなかったから	50	8.6%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	12	2.1%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	66	11.4%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	201	34.7%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	62	10.7%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	61	10.5%
8	検診に費用がかかるから	75	13.0%
9	検査方法が面倒だから	37	6.4%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	80	13.8%
12	がんが見つかるのが怖いから	22	3.8%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	8	1.4%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	23	4.0%
16	その他	69	11.9%
17	特に理由はない・何となく	55	9.5%
	サンプル計	579	

(5) 子宮がん（子宮頸がん）検診について

子宮がん（子宮頸がん）検診の受診の有無

		実数	構成比
1	受けた	713	52.7%
2	受けなかった	639	47.3%
	合計	1,352	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診を受けた機会

		実数	構成比
1	札幌市が実施する検診	205	29.7%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	254	36.8%
3	その他	231	33.5%
	合計	690	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）	102	14.4%
2	定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）	208	29.4%
3	毎年受けているから・受けていたから	263	37.2%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	63	8.9%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	133	18.8%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	63	8.9%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	53	7.5%
8	医師に勧められたから	117	16.5%
9	勤務先に勧められたから	11	1.6%
10	家族や友人・知人に勧められたから	35	5.0%
11	パンフレットやポスターなどを見て	7	1.0%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	195	27.6%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	0	0.0%
15	その他	57	8.1%
	サンプル計	707	

検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	174	27.4%
2	検診・検査の案内がなかったから	91	14.3%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	25	3.9%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	52	8.2%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	157	24.7%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	78	12.3%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	76	12.0%
8	検診に費用がかかるから	119	18.7%
9	検査方法が面倒だから	30	4.7%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	93	14.6%
12	がんが見つかるのが怖いから	22	3.5%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	1	0.2%
14	検診・検査があることを知らなかったから	19	3.0%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	35	5.5%
16	その他	128	20.2%
17	特に理由はない・何となく	57	9.0%
	サンプル計	635	

(6) 乳がん検診について

乳がん検診の受診の有無

		実数	構成比
1	受けた	593	56.1%
2	受けなかった	464	43.9%
	合計	1,057	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診を受けた機会

		実数	構成比
1	札幌市が実施する検診	176	30.5%
2	勤務先又は健康保険組合等（家族の勤務先を含む）が実施した検診	244	42.3%
3	その他	157	27.2%
	合計	577	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

検診・検査を受診した理由・きっかけ（複数回答）

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）	91	15.4%
2	定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）	210	35.7%
3	毎年受けているから・受けていたから	233	39.6%
4	札幌市からがん検診の無料クーポンが送られてきたから	70	11.9%
5	年齢的にそろそろ必要と思ったから	126	21.4%
6	健康面で不安があったから・自覚症状があったから	41	7.0%
7	身近な人や知人ががんにかかったから	89	15.1%
8	医師に勧められたから	34	5.8%
9	勤務先に勧められたから	9	1.5%
10	家族や友人・知人に勧められたから	25	4.2%
11	パンフレットやポスターなどを見て	7	1.2%
12	がんは早期発見が大切だと知っていたから	173	29.4%
13	がんに関するマスコミ報道・記事を見て	0	0.0%
14	がんの早期発見や検診に関する啓発イベントに参加して	2	0.3%
15	その他	42	7.1%
	サンプル計	589	

検診・検査を受診しなかった理由・きっかけ（複数回答）

		実数	構成比
1	定期健診の検査項目に入っていなかったから	130	28.1%
2	検診・検査の案内がなかったから	37	8.0%
3	年齢的にまだ必要ないと思っていたから	3	0.6%
4	健康体なので自分には必要ないと思っていたから	46	9.9%
5	心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	138	29.8%
6	健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	58	12.5%
7	健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	62	13.4%
8	検診に費用がかかるから	78	16.8%
9	検査方法が面倒だから	22	4.8%
10	検便などの提出を忘れてしまったから	0	0.0%
11	検査内容が怖い・不快だから	60	13.0%
12	がんが見つかるのが怖いから	20	4.3%
13	検診・検査の申込方法を知らなかったから	0	0.0%
14	検診・検査があることを知らなかったから	6	1.3%
15	検診・検査を受けられる場所・方法がわからないから	28	6.0%
16	その他	58	12.5%
17	特に理由はない・何となく	59	12.7%
	サンプル計	463	

(7) がん検診全般について

がん検診受診を勧める情報を見聞きした経験

		実数	構成比
1	ある	1,932	85.8%
2	ない	320	14.2%
	合計	2,252	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

がん検診受診を勧める情報を見聞きした媒体（複数回答）

		実数	構成比
1	テレビ・ラジオ	1,063	55.5%
2	検診案内のハガキ	734	38.3%
3	広報さっぽろ	790	41.2%
4	医療機関・薬局	658	34.3%
5	札幌市の公式ホームページ	69	3.6%
6	新聞・雑誌	390	20.4%
7	公共施設（役所等）や交通機関（駅・電車・地下鉄・市電等）のポスター	319	16.6%
8	インターネット（札幌市の公式ホームページ以外）	160	8.4%
9	がん検診に関するイベント	122	6.4%
10	その他	90	4.7%
	サンプル計	1,916	

（８）がんにかかった場合の対応等について

がんにかかった場合の勤務継続意向

		実数	構成比
1	働き続けたい／働き続けたかった	1,379	63.8%
2	働き続けたくない／働き続けたくなかった	379	17.5%
3	現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった	404	18.7%
	合計	2,162	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

職場環境

		実数	構成比
1	働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる	718	33.8%
2	働き続けられる職場だと思う・がんにかかった人はいないがそう思う	330	15.5%
3	働き続けるのは難しいと思う	367	17.3%
4	わからない	339	16.0%
5	現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった	370	17.4%
	合計	2,124	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

がんにかかった場合に働き続けることが難しいと考える理由（複数回答）

		実数	構成比
1	がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから	164	45.2%
2	長時間勤務や残業が必要な職場だから	110	30.3%
3	仕事を代わってくれる人がいないから・頼みにくいから	137	37.7%
4	治療・通院のために休むことが難しいから	177	48.8%
5	同僚等に負担・迷惑がかかるから	171	47.1%
6	治療と仕事の両立が体力的に難しいから	210	57.9%
7	治療と仕事の両立が精神的に難しいから	135	37.2%
8	治療に専念したいから	59	16.3%
9	病人が働き続けることが難しい雰囲気があるから	104	28.7%
10	休むと職場での評価が下がるから	44	12.1%
11	休むと退職する以上に収入が減るから	32	8.8%
12	その他	17	4.7%
	サンプル計	363	

がんにかかった場合に希望する療養先

		実数	構成比
1	自宅	469	21.5%
2	大きな総合病院	555	25.5%
3	罹患したがんの専門病院	688	31.6%
4	近隣の病院・診療所	90	4.1%
5	介護施設	6	0.3%
6	わからない	339	15.6%
7	その他	32	1.5%
	合計	2,179	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

自宅療養を考えた場合の不安点（複数回答）

		実数	構成比
1	何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと	1,058	49.0%
2	同居する家族に負担をかけてしまうこと	1,559	72.2%
3	自宅療養にかかる費用負担が大きくなってしまうこと	817	37.8%
4	一人暮らしまたは家族が留守がちで付き添ってくれる人がいないこと	427	19.8%
5	炊事・洗濯・掃除など、身の回りのことを行う人がいないこと	525	24.3%
6	自宅の構造や設備が療養に適していないこと	311	14.4%
7	その他	49	2.3%
8	特に不安に思うことはない	75	3.5%
9	自宅で療養するつもりはない	50	2.3%
	サンプル計	2,159	

(9) がん患者支援に関する質問について

がん相談支援センターの認知状況

		実数	構成比
1	知っており、利用したことがある	29	1.3%
2	知っているが、利用したことはない	214	9.5%
3	名前だけは知っているが、利用したことはない	463	20.5%
4	知らなかった	1,549	68.7%
	合計	2,255	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

札幌市におけるがん検診の制度の認知状況

		実数	構成比
1	知っていた	1,127	50.5%
2	知らなかった	1,103	49.5%
	合計	2,230	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

札幌市のがん検診の制度を知った媒体（複数回答）

		実数	構成比
1	広報さっぽろ	662	60.1%
2	札幌市の公式ホームページ	60	5.4%
3	周知チラシ	145	13.2%
4	がん検診に関するイベント	43	3.9%
5	テレビ・ラジオ・新聞等	103	9.4%
6	札幌市からののがきやクーポン券など	508	46.1%
7	その他	116	10.5%
8	どの媒体で知ったかわからない・覚えていない	57	5.2%
	サンプル計	1,101	

札幌市のがん検診の制度について知っている内容（複数回答）

		実数	構成比
1	検診の対象となるがんの種類	746	67.8%
2	検査内容	385	35.0%
3	対象者の要件	340	30.9%
4	検診にかかる費用	303	27.5%
5	受診間隔	116	10.5%
6	実施医療機関	224	20.3%
7	その他	16	1.5%
8	知っている項目はない	246	22.3%
	サンプル計	1,101	

がんについて知りたい情報（複数回答）

		実数	構成比
1	がんの予防方法	709	33.8%
2	がん検診の種類・費用・受診方法等	1,051	50.1%
3	がん検診を受診できる病院・診療所	770	36.7%
4	乳・子宮がん検診無料クーポンの対象者・使い方	429	20.4%
5	がんに関する相談窓口	535	25.5%
6	がんの治療方法や費用	1,025	48.9%
7	がん治療の副作用・副作用への対処法	641	30.6%
8	がんにかかっても働き続けるための方法	430	20.5%
9	実際にがんにかかった方の体験談など	241	11.5%
10	自宅療養の方法	415	19.8%
11	セカンドオピニオンの受け方	734	35.0%
12	その他	37	1.8%
13	わからない	114	5.4%
14	知りたいことはない	71	3.4%
	サンプル計	2,098	

(10) 回答者の属性

回答者の性別

		実数	構成比
1	男性	906	40.0%
2	女性	1,357	60.0%
	合計	2,263	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

回答者の年代構成（男性）

		実数	構成比
1	40～49歳	240	26.6%
2	50～59歳	273	30.2%
3	60～69歳	390	43.2%
	合計	903	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。



### 回答者の年代構成（女性）

		実数	構成比
1	20～29 歳	124	9.2%
2	30～39 歳	177	13.1%
3	40～49 歳	339	25.0%
4	50～59 歳	353	26.1%
5	60～69 歳	361	26.7%
	合計	1,354	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### 回答者の居住区

		実数	構成比
1	中央区	314	13.9%
2	北区	297	13.1%
3	東区	288	12.7%
4	白石区	234	10.3%
5	厚別区	150	6.6%
6	豊平区	265	11.7%
7	清田区	134	5.9%
8	南区	182	8.0%
9	西区	248	11.0%
10	手稲区	151	6.7%
	合計	2,263	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### 回答者の職業

		実数	構成比
1	会社役員	89	4.0%
2	会社員（正社員・契約社員等）	812	36.1%
3	公務員・団体職員	204	9.1%
4	派遣職員	25	1.1%
5	パート・アルバイト	406	18.0%
6	農林事業者	1	0.0%
7	自営業・自由業	109	4.8%
8	専業主婦・主夫	305	13.5%
9	学生	15	0.7%
10	家事手伝い	6	0.3%
11	無職	223	9.9%
12	その他	56	2.5%
	合計	2,251	100.0%

※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも 100%にはならない。

### 回答者の医療保険

		実数	構成比
1	市町村国民健康保険	539	24.0%
2	協会けんぽ	760	33.9%
3	組合管掌健康保険	540	24.1%
4	共済組合	273	12.2%
5	その他	54	2.4%
6	わからない	42	1.9%
7	加入していない	35	1.6%
	合計	2,243	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。

### 回答者の世帯構成

		実数	構成比
1	一人暮らし	421	18.7%
2	自身と配偶者（夫婦のみ）	687	30.5%
3	自身と配偶者と子ども（夫婦と子）	695	30.8%
4	自身と子ども	100	4.4%
5	自身と親（親と同居）	168	7.5%
6	自身と配偶者と親（夫婦が親と同居）	62	2.8%
7	三世帯同居	57	2.5%
8	その他	63	2.8%
	合計	2,253	100.0%

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%にはならない。